

## 山高帽子

無帽主義を口にしてる僕にとりては山高帽子はかなりかけはなれたる存在である。

別に頭痛持ちといふわけでは無いが、どうも山高帽子の頭ざはりはよくない、どこちない。

僕が山高帽子を冠つた淡い記憶は、日露戦役以前義和團事變の前後に數へる位しか無い。その山高帽子を、春風秋雨ここに四十年の星霜をへだてて、胡麻鹽頭にのせようといふのである。

昭和十三年の紀元節には建國祭が行はれる、更に今年は憲政五十年の記念當日とありて、帝國議會の記念式典には秩父宮殿下、御名代の宮として親しく御臺臨あらせられる。

たまたま昨冬僕は大日本體育協會の會長に就任した。體育協會は中央教化加盟團體の一つである。加盟團體の代表者は、先づ九段靖國神社の社頭に參列して式典をあげる。次で二重橋外に行進して宮城を拜し、次で明治神宮に參拜する事になつてゐる。

十一日の朝九段の式典に參列すべく仕度にとりかかつてると、ふと中折帽子ではどうであらうかといふ氣持が浮んだ。まさかシルクハットにも及ぶまいが中折よりも山高の方がふさはしいのではあるまいか、大勢の群集ではあるが、僕は幾分目立つてゐる存在であるだけに目につきやすい、多分中折でもよからうが、念には念を入れよである、山高に越した事はあるまい。

というて見ても僕のうちには山高帽子が無い、帽子店まで求めに行くには田園調布の住宅地域はかけはなれて時間の餘裕が無い。調布の町のここそこと、心あたりの友人をたづねて漸くに見つかる。うやうやしく四十年振りの山高帽子にめぐりあひ、頭にいただきて門を出る。

憲政 五十年を祝ふ このあした

そらは雲なく 光りかがよふ

建國祭には 山高帽子が ふさはしと

借りにまはるも かしこへここへ

四十年振り 頭にのせし 山高帽子

のせはのせたれど すわりのわるき

満員の 電車に乗りて 見まはせば

山高帽子は 我ひとりなる



九段の軍人會館が足だまりになつてゐる。顔なじみの人たちを心待ちにしてゐるが、僕らのやうな年よりの代表者は稀である。顔なじみの無い人込みの中へ、體協のお仲間である平沼亮三末弘、嚴太郎兩君が見える。一人は中折である一人は無帽である。いづこを見ても中折ばかりで、たまにシルクハットが一つ二つ見つかつたが、山高に至りては遂に我ひとりである。

靖國の 廣前へつづく 行列の

長々しき中に 山高の見えざる

神宮の 參道へよする 人の波に

山高帽子は つひに見ざりき

かへり來て 山高帽子 ぬぎたれば

山の 一とところ くぼみてありけり

今にして 山高帽子 流行の

むかししのべば はるけくもあるか

かへり路にはもはや山高帽子のお仲間がほしいといふ氣持ちよりも、もうかうなればどうか大

東京の今日の數限りなき人出の中に、山高帽子は我ひとりでよい、今日は我ながら珍らしき存在となつた、なまじつか一人二人のおつれは邪魔とばかりに、山高の見つからぬこそよかんめれと、往きとかへりは正反對の心持ちになつて調布の里にもどる。

功成り名遂げ身退くといふ、さうした古い諺を、ここへ引き合ひに出すのをかしたのだが、體協會長となりしばかりに今日は功成り名遂げ身退いて既に久しき山高帽子を、春風秋雨何十年になることやら、はからずも昭和の御代の紀元節といふに、胡麻鹽頭にのせようとは思ひもよらぬ事であつた。誠に御苦勞千萬、恐縮千萬な次第であつたが、山高帽子の身になれば久し振りの外出にさぞや隔世の嘆を深くした事であらう。ここにうやうやくボミを平にし塵を拂ひ、朝鮮林檎をお土産にそへ、帽子の所有主なる古き友のもとへおかへしするに當り、雜文を草して御あいさつを申上げる。(十三、二、十九。永田町。『經濟知識』)



第四篇 時事解説篇

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the title '第四篇 時事解説篇'.

時事解説篇

Main body of faint bleed-through text on the right page, appearing as ghostly impressions of the original text.



## 對支文化工作とことば及び文字

### 一 支那の文化と北京

對支工作には政治に經濟に文化に、その分野も多岐にわかれてゐる。見方によれば政治工作の中に經濟と文化があるとも解されぬ事も無い、經濟は物を主として文化は人を主とするが、もともと人間の肉體と精神の如く、二者一にして二、二にして一、互ひに因果の關係をつくつてゐる。

對支文化工作としても、その肉體の上に重きをおいてある醫藥衛生の事業あり、孤兒養老その他各種の社會政策につき考へられる。殊に我同仁會は北支に濟南に中支に幾多の施設が運ばれてあり、福建廣東二省には臺灣總督府の病院があり、その名の示す如く此の國の人たちに同仁の徳を洽くしつあつた。

その他對支文化事業としては、人文科學研究所、華化産業科學研究所、近代科學圖書館、中日學院等の建設等に力をいたし、留學生を派遣して現地の調査研究にも従事せしめつつあつたが、これら人文的事業としては何としても教育そのものが中心となる。我等は北京が北支否支那を通



じての教育施設の中心地であり、しかも此の度の事變に北京の文化設備が戦禍を免れ、何等の損害をうくる事なくして残存し得た事は、大いに祝福すべき事とおもふ。

北京には大學だけでも、國立大學として、北京——文理法の三學部よりなり基礎的な學理研究をなし學生一千名内外を算して——、北平——日本の専門學校に近く工、醫、農、及び法、商の四學院よりなり學生約一千名——、師範——小學校も附屬し學生五六百名——、法華——米國が團匪賠償金によりて設立管理されてる——等の四大學を初めとし、外國系のものとしては燕京、輔仁、中法、協和の各大學があり、さらに華北、中國、乾陽等の私立大學あり、その他國立の故宮博物院、古物陳列所、圖書館、歴史博物館等、まさしく長き歴史を持てる支那文物は北京にその大觀をつくつてゐる。

## 二 北支に於ける文化工作

學究として上海の研究所に籠城した新城博士の北支視察談のうちに、大學の先生達の北京引上げにつき、

政府に辭表を出すか、家族が病氣か、そのいづれかで無ければ、北支に止まる事を許されなかつたから、北京引上げも無理からぬ。

とあるが如く、大分、先生も學生も引上げてゐる。少數残つてゐる連中も「奥地へ引上げるか、このまま止まるべきか」に迷つてゐる。博士の結論は、

此の際二十萬圓程度の經費を投じて、差當り綜合大學、大學豫科、大學院、傳染病研究所、附屬病院、科學博物館、科學研究所等を急設すべきであつて、此の際強力なる北支文化工作委員會を設立し、戦後差當り豫想される各種の戦争病（發疹チフス、再歸熱）豫防の應急對策から、順次恒久的な文化施設につき具體案を決定すべきであると信ずる。

と説いてゐる。僕はその戦争病にさらに結核と梅毒の二種をつけ加へて、大體賛意を表するものであるが、國民政府の北京の教育機關に費せる國費は年額五百萬元を超え、それは宋哲元が北京の文化補助費として年額七百萬圓を投げるを思へば、二千萬圓でもどうかと思ふが、しかしそれらは程度の論であつて、とにかく、

### 學校と圖書と新聞雜誌

に對する統制指導といふ事は刻下の急務であり、又極めて重大なる工作であるが、これらの問題は新年號の支那關係雜誌類、殊に『支那』等に叙説するところにゆづり、ここにさうしたあらゆる文化工作はもとより、日支間のあらゆる接觸交通の媒介たるべき「ことば」と、「ことば」を現はす文字につき、卑見の一端を述べる事にする。



### 三 臺灣の國語教育

吾等何としても「ことば」と文字とにより、日相互の意思の疏通をはからねばならない。さうした時に日本語はむづかしい語であるといふ事になつてゐるが、それは「ことば」がむづかしいのか、「ことば」を現はす文字がややこしいのか、それらについて今ここに論及する暇がない。只僕は足かけ七年臺灣に在職してゐた爲めに、臺灣の國語教育につきのべて見たい。

臺灣には土着の人として、五百餘萬の支那民族には福建系と廣東系があり、風俗人情を異にするのみならず「ことば」も、同じ福建系でも福州と厦門はちがふ、泉州漳州等、土地土地により十幾通りも差別があるといふ事を聞いてゐた。又蕃族に至りては、十五萬人を算するも、その平埔族乃ち支那民族に同化した熟蕃は之れを除き、山地に割據分立してゐた高砂族は、タイヤル、サイセツト、ブヌン、ツオウ、パイワン、アミ及びヤミの七族に分れ、それぞれ「ことば」を異にしてゐた。

今かりに北支方面としても、ここに精しく説明すべき資料を持たないが、漢民族を中心として滿洲民族あり蒙古民族あり、ことに蒙古民族はその数は少ないが散在してゐるからは、興安、チャハル、綏遠方面によりては、その「ことば」にも差別があるものと見ねばならぬ。此の如く相手方の民族の「ことば」に又文字に、多少共差別があるところへ出かけてゆく日本國民の中には、

朝鮮人が相當な數に上つてゐるといふ事を知らねばならぬ。臺灣の實狀を見るに、さらに日本の内地人にしてが、東北方面から九州方面へと、それぞれに土地のなまりが多く、吾等は「ことば」の教育につき現地土着の人に習熟せしむべく、いかに時を要し努力を費さねばならぬかといふ事を親しく見聞しつつ、又その國語教育にあたる人々が、内地の土地土地のなまりがあるために、思はざる障害や混雜を見るといふ事も経験し、さらにさうした當然の二重の關門をくぐつた土地の人々の國語なるものは、其の數が増せば増すほど、その質が下つてくるといふ事はいなみがた、吾に本島人のみでない、さうした環境の中に生ひ立つて行く在臺内地人の國語の力の劣つてくるといふのも事實である。

### 四 國語教育の困難

たまたま一月十日の『帝大新聞』に植松泰安君が「臺灣と國語」と題せる下に説けるところを見るに、同じやうな事が説かれてある。臺灣の新聞に漢文欄を廢止したのは今回の事變によりて促進されたもので、領臺後、實に四十年の歲月が流れてゐる。尤もかかる事變がなくば漢文欄は猶つづいてゐたかも知れず、又かかる事變が無くとも、支那の本國にて漢字の制限、略字の強制、注音字母をはじめた今日では、臺灣でも當然遠からず止めらるべき運命を持つてゐたといふ事もいふまでもない。



現在臺灣の人口別は十一年末に於て次の如くであるが、

(單位千人)

内地人	二八二	本島人(蕃人をのぞく)	四、九五六
蕃人	一五二	外國人	五九
計	五、四四九		

昭和八年以來國語普及十年計畫を立て、市街庄に國語講習所を設け、十二歳以上二十五歳以下にして國語を解し得ざるものを主として、將來は公學校に通學し得ざるもの、及び成人の男女にも及ぼすはずで、既に四年目には約三十三パーセントに達してをり、今日では五百五十萬人の中二百萬人は國語を解しうる事になつてゐる。

臺灣における國語教育は支那本國における國語教育の上には大いに参考になるべきであるが、もとより臺灣と支那とは同一視はできず、むしろ滿洲國における國語教育はより近くもあり、關係も密接なだけに、此の方からいろいろ参考となるべき資料もある事と思ふが、ここに紹介し得ざる事を遺憾とする。只以上あげたる例により、日本の國語を支那で習熟するといふ上にも、又支那語を日本に於て習熟する上にも、かなりの努力と歳月を要するといふ事が、充分に理解できると思ふ。

### 五 日本漢字の複雑性

更に「ことば」以上に一層面倒な事はその「ことば」を現はす文字である。

支那の文字が漢時代に日本へ移され、日本では主に漢音で通用されてゐるが、その後支那では唐宋といふやうに時代がかはる、發音もかはる、清朝時代の發音が今日の支那で通用してゐる。支那の方は時代によりかはつてしまつたからよいが、日本では現在でもその漢音の外に吳音も唐音も清音も使つてゐる。何等の規則も筋合もなく不規則に亂雜に、支那時代の發音を取り揃へて使つてゐる。だから東京をトウキヤウと音でよみ、横濱をヨコハマと訓でよむ。それはよいとして、東京横濱間の電車で、それぞれケイヒンとかトウヨコとよむはよいとして、その文字が京濱又東横となるから、同じ固有名詞である土地の名であるときはハマとなり又ヒンとなる、或る時はキヤウとなりケイとなる。さらに北京南京のときはキンとも讀む。これは誠に混雜を來たすばかりである。同じ米田といふ固有名詞がコメタ、マイタ、ヨネタといふ。角谷がスミヤといふ、スミタニといふ、カクタニといふ。そこへ普通の音なり訓とかけはなれたアテ字アテよみがある。上海、これはジャウカイとはよまずシャンハイとよんでゐるが、この海をウミとよむほかに、

海鹿	海膽	海豚	海月	海豹	海老	海士
海栗	海嘯	海松	海鼠	海獺	海苔	海部



など讀むに至りては、もともと漢字を心得てゐる支那人にとりては、却つてそのむづかしさ、ややこしさにあきればてさしてしまふ事と思ふ。

支那の文字にはとにかく日本のやうにヨミもアテ字もない、發音も歴代の分を取り揃へてゐない。それでも支那は今や常用字數をうんと制限する、略字を用ゐる、注音字母——支那假名——まで始める世の中に、どうして日本の文字ばかりがかうも難解をきはめてゐるのか、しかも日本はどうしてこれまでの文化をつくり上げたか、教育も向上普及されたのか、日常の所用が辯じられてゐるのかといへば、それはいふまでもなく假名があつたからである。假名があつた、しかもさすがにこの假名だけは讀み方が一つで、假名の發音だけは一定してゐたからである。

## 六 滿洲に於けるカナモジ運動

十二年十月、滿洲國大同學院教授曾恪氏のカナモジカイ稻垣伊之助君に話した談片を、ここに紹介する。

滿洲國成立以後は仁政が布かれて、民衆はその惠澤に浴している。しかし重大問題が取り殘されてい  
ると思う。それは學びやすい文字をもつて教育を普及することでありませう。今の漢字によつて、國民に知識を授けることは容易でない。最近新京で短期間の青年學校を開き、文字を知らない者に教えたが、非常に骨が折れる。やつとおぼえさせて、一ヶ月ほどの後召集して試験すると、ほとんど忘れてしまつ

てるとゆう状態です。もし日本のカタカナのような文字で教えるならばこのなやみが除かれます。それに氣付いて、私はカタカナの發音と、滿洲國語の發音について研究し、カタカナで滿洲國語が書き得ることを突きとめた。唯四つだけ、カタカナでは書けぬ發音がある。例えば北支事變發生地、蘆溝橋の溝の發音は日本の「オ」ではない、それにはオの字に半濁點を附けて、溝の發音にする取りきめをすればよい。四つ増すべきカタカナを私は閩カナと名づけた。閩カナ四つを補助文字として足せば、滿洲國語はカタカナで完全に書き表せます。そうすれば、日滿は同文字になる、日本人は滿洲國語をカナの手引きによつて習い、滿洲國人はカタカナの發音を知つてゐるから、日本語に接近しやすい。つまりそれが日滿親善のつよいクサビになります。滿洲國の文化を高めるにこれほどよい文字はないと信じます。私はこの實現を期したいと熱心に考へています。

我等平素から少なくとも歐米で發音されるc、それからvにd、せめてそれ位の閩カナもあつてよいと思ふが、それはしばらくおいて、今支那で新たにつくられてゐる假名乃ち注音字母は無  
論日本の假名も參酌されてゐる事と思ふ、又自ら相似よりしところも多いから、此の間の連絡調整  
統制といふ事も考へられる。

## 七 北支におけるカナモジ工作

日本の假名は數がきまつてゐる簡單である、もとより一色しか發音できない。それ故、昨年北支



事件發生と共に先づ鐵道の驛などは、

一、支那讀みのままにする。

二、支那漢字とそれへ日本カナ文字をならべる。

それが直ちに日本人をして、土地の名前の發音を知らしめ、ひいて支那の字音に入る手引になる。何よりも支那人をして日本のカナを知らしめる捷徑である。支那の文化工作は先づカナ文字よりといふので、僕が當路の人々にも卑見をのべ、さらに誌上などにも發表した事であつた。

いづれにしても先づ假名文字によるといふ事と、さらに日本と支那と假名文字の調節といふ事が第一に考へられ、さらに急速實現に着手さるべきものと信ずる。 (十三 一、十一。開布。『教育』二月號)

(一) 一面内地に於て支那を知るべく、せめて内地の中學校程度の學校に英語の時間などからふりかへて、支那語の時間を設けるといふ事についても、既に筆にし口にしてゐるが、此の問題と相表裏して攻究さるべきものであるといふ事を附記しておく。猶又滿洲におけるカナモジ運動についてはこの一月九日、東京にて、日本カナモジカイの人達が滿洲協和會の松川平八君を中心とし、座談會を開いたさうであるが『國語運動』二月號に、その記事が見えるはずであるから合せおしらせしておく。)

## 金の循環と節約調整

### 一 貧血と溢血

貧血となると眞青になる衰弱する、結滯すると機關が停止する卒倒する、血液は少なうてはいけない、しかも血液はよく循環しなければならぬ。

一國一家にしても同じ事である、その財政が段々小さくなつては貧血である、家族が増し、國民が殖え、家運國運が榮えてゆく、金廻りがよい金の循環がよい、といふやうにならねばならぬ。

近頃支那事變に伴ひ世の中は跛行的景氣になつて來てる。一方では上景氣であり、一方では不景氣になつてる。そこで節約せよせよといふ聲も高いが、さりとて味喰もクソも一緒にして節約節約も困るといふ。この節約ぶりについて議論がかなりやかましい。何故に節約しなければならないか、何故に節約にも程があるといふのか、これは何も時局に直面しての問題ではない、平常から世間にかく誤解されがちの問題である。ここに節約認識論を筆にする所以である。



古めかしい分り切つた事であるが、先づ「お金」といふものから説明しなければならぬ。

貨幣は價格の尺度といふ。この指環はよろしいといふ、どの位よろしいのか、百圓の「ねぶち」であるといふ。この指環は結構だといふ、どの位結構なのか、五十圓の「ねぶち」であるといふ。その百圓といひ五十圓といふのが尺度であつて、その指環のねぶちは指環の倍であるといふ比率がわかる。

貨幣は交換の媒介といふ。太古では實物交換というて品物同士で交換した、素朴な生活をしてるから、米や麥や芋や大根や柿や蜜柑のたぐひなら、いくつといくつとか、榎目などで交換も出來たらうが、百圓の指環と五十圓の指環を交換するといつても、指環は二つも入用でないといつて一つの指環を半分にはできない、そこで交換の媒介として貨幣の必要がおこる。

その貨幣には金銀などが一番手頃であるといふので、昔は金銀複本位といひ、金と銀の間の歩合を定め双方共制限なく使用されたが、近頃は大體金單本位といふので金一本立になり、取引はすべて金といふ事になつてゐる。しかしそれは國と國との間の差引決済の時にはじめて金が入用なので、一方に輸入品に支拂ふ金高と、輸出品によりうける金高がにらみ合ひ、一方で貿易外の収入支出乃ち他國へおろした資本の利益とか、他國から見えた人たちの落してゆく金とか、船賃とか保険料とか他國へ出稼ぎ人の送金とか、さうした金の差引と總決算し、その差額は金で支

拂ふ事になつてゐる。我國も昨今その國際の差引借り方が多くなつてゐるので、結城前藏相時代から折々金を海外へ現送してゐる。だから輸入品の節約、輸出の奨励、さらに國內の金産出に力を入れてゐるのである。

## 二 金と紙幣と有價證券

しかし國內では一々金で取引するのは智慧の無い話であり、又流通に對應するほど澤山に金はなく、又一々金の取引は面倒であるから、世間で流通する貨幣は紙幣を原則としてゐる。各國では金なり又或る有價證券などの持高の何倍までは紙幣を發行することが出來るといふ事にしてゐる。事實紙幣の方が取扱に便利である。此のほど或る會合で話が出たが、かつて二億の金をロシアの浦鹽から北米へ運ぶのに巡洋艦三隻を要したといふ事である。さうした巨額の金をおくる時は、運賃保険料などで何十萬圓とかかる、それは運搬の話である。然るに北米合衆國では只保管するだけでも百數十億の大金であるため、海岸をはなれたケンタッキー州とデンバー州に分け各一個師團の兵隊により護衛してゐるといふ事である。

本位貨幣たるべき金にして猶然り、況んや銀銅に於てをやである。銀とか白銅とか銅貨は補助貨幣といつて、取引には或る制限額を超えては使へない。相手が承知してうけとるのはよろしいが、手渡しする方で銅貨銀貨で何千圓と押しつける事は出來ない。否、銅貨銀貨どころか紙幣で



あつても、十圓百圓の紙幣で何萬何十萬圓といふ取引をするのは容易な事でない。そこで紙幣の代りに、小切手とか手形とかいふ一本の信用狀で用をすます事になつてゐる。その又小切手手形も只一つの銀行から振出したものばかりでないから、手形交換所なるものをつくり、加盟の銀行はめいめいに手持ちになつた小切手手形を持ちよりて交換し決算する。だからいかに金の流通、血液の循環といふ事が肝要なのが分る、又それだけに貧血になつても結滯しても困るといふ事も明らかである。

### 三 事變と跛行的景氣

そこで吾々農家なり商人なり工場主であつて見れば、農産物が賣れるからそのもとでになる肥料なども求められる、雇人にも給料を與へ自分たちのくらしも立つてゆく、商人も商品が賣れるからもとが仕入れられる、工場主も原料の購入なり職工への給料がまかなへる、役人も會社員も職工も勞務を提供するから報酬をうける。そこでその賣上げ代金なり報酬なりが少なくなるのが貧血である。賣上げがなくなる仕事なくなる、それでは結滯になるのである。商賣が繁昌する、豊作で値がよく賣れる、地位が高くなつて収入が多くなる、さらにその収入から支出を差引いてその純殘餘の金を十分に生かして使ふ、農商工それぞれに仕事の手をひろげる、又はその純殘餘の金は銀行預金なり郵便貯金に預ける、株券を求める土地家屋を買ふ、そして利子をとる配當をとる地代家賃を得る、一方で銀行も政府も會社もその金をそれぞれに活用する、それが血液の循環の妙であり健康の瑞祥である。もし浪費したり、さらに元本へ喰ひ込むなどは論外であるが、たとひ純益を得てもそのまま箱の隅へ藏めておくだけでは、之れは血液の一部の結滯となるのみである。

今や時局は擴大して毎月數億の金がばらまかれてる。その中には滿洲や支那でまかれる金もあらう、又外國の製品或は外國よりの原料を購入するため、外國に遁げて行く金もあらう。しかし大部は國內へおちるものと見ねばならない、殊に重工業方面では追つかけて追つかけて、注文が殺到して、手が足りなく天手古舞ひをしてゐる。之れに反して直接支那と取引を業とせし者とか、時局に縁の無い仕事殊に多少贅澤品に屬する仕事に關係してゐる階級、その他興行物とか料理屋とか旅館とかいふところは著しく景氣がわるい。之れが跛行的景氣といふので、節約も程々にしてほしいといふ聲の起るゆゑんであり、又そこには戦争がすむと景氣の回復するものと、回復しないものと、此の機會に新たに發展するものが出来るのである。

京都の西陣はバツタリだといふ、恐らく十萬人以上は不景氣の餘波をうけてゐるであらう。觀光旅館などはてんでお客がよりつかないといふ。芝居なども興行度數は減る入場料は下がる、それぞれに下廻りの連中から下女下男風呂焚木戸番、さては出入り商人などみな上つたりになる。



かかる際に結婚式を控へ目にするといふが如きは當然すぎる事であるが、洋服も作らない、いや年賀状も廢止だとなると大分事態が重大になる。一體どの邊まで節約するのか、その手加減が問題になつてくるのである。

#### 四 血液の循環率

われわれは何としても相當の節約をして、今後來るべき公債に應じなければならぬ。公債で金が集まらなければ戦争はできないのである。飛行機も軍艦も大砲もタンクもガソリンも石油も衣服糧秣も、みな金がなくては得られないのである。しかしその公債に應ずる爲めには、商業者が賣上げがなければならぬ、勞務者も仕事が無くてはならぬ、失業しては駄目である、農産物も賣れ行きがよくなければならぬ。もし不景氣となり節約が度を過ぎて、工場の製品も店先の商品も市場へ送つた農産物も賣れ行きがしぶる、就職率は下つて失業者が増す、それでは公債に應じたくも先づ自分達の鼻の下の建立が問題になる。これが痛し痒しである。

そこで考へられる事は、一國の中で流通する貨幣なり又小切手手形株券の類なり、さうした血液が豊富でしかもその血液の循環がよくなければならぬ。今日日本銀行では十二年十一月の統計として、

兌換券發行高 十七億二千五百萬圓

此の準備として、

金貨及び地金塊 八億

保證準備 九億二千萬圓

内譯 公債 五億四千萬圓

證券 一億八千萬圓

手形 二億萬圓

となつて居り、此の外、東京と大阪の組合銀行では、

預金總額 五十五億二千萬圓

貸付總額 四十五億九千萬圓

此の差額九億三千萬圓中、現金在高が二億四千萬圓、その残りが今の手形や有價證券類といふ事になつてゐる。

かうした貨幣又は貨幣の代役をするものが、如何に循環してるかといふ事が問題であり、一方で政府の信用薄くして保證準備以外に、無闇に紙幣を濫發すれば物價の暴騰となり、溢血で卒倒する事になる。というて貧血では衰弱する、適度の血液がくるくと循環して結滯しない、さうするには節約というても自からその間にいろいろの筋道がある事と思ふ。



## 五 衣食住の節約加減

先づ第一に時局により在來より景氣の善くなつた家庭では、爲めに増加した収入は、時局收拾後反動の來る事を覺悟して、在來通りに引きしめてゆく事である。これは前に精しく述べた事があるから省略する。

第二には日本人は歐米人よりも富も所得も少ない、それにも拘らず二重生活、無駄な生活をしておる、かかる機會に思ひ切り簡易生活化する事である。

衣服についていへば平時又非常時を考へると、シャツ、筒袖、ズボン、割烹着、非常時上<sup>は</sup>つ被<sup>は</sup>り、モンペーなどが考へられる。禮装その他幾通りもの常備服を新調するものもなからうが、一方で政府からは禮服の簡易化を執行する。又我等は幾通りもの常備服は之れを處分し、あまれば出征家族慰問とか公債應募などにむける。

食事については、獻立の多い濫い料理よりも、胚芽米とか半つき米とか榮養食に留意する。非常時食糧の選擇なり貯藏なりも研究しておく。共同炊事などによりて時間及び勞力の節約をはかる。

住宅については非常時の防空も大事だが、我々の住宅には平素ガラクタが多すぎてかなり場所をとつてゐる。之れも相當處分するによい機會である。家屋の簡易化さらに又一朝事あるときは、家を持ちて遁げられぬから、あわてずに失火せぬやう又消防に力をつくす事である。

第三には、輸入品を避け、軍需品を節約する。

毛織物類はステープルファイバー混織にするとか、金屬類革ゴム類の消費節約とか、舶來の飲食料品、化粧品、化粧品の禁止とか、石油瓦斯石炭電氣類の節約などに留意する。

## 六 物も物だが何よりも人間

かりに以上の諸項目だけ見ても、相當節約すべきものがあるが、これらは平時にありても決行さるべきである。しかしさうした節約が度を過ぎては血液の循環がわるくなる。洋服も新調を見合せるといつても程度の話で、必要なら新調するがよい、それにはステープルファイバーの混織を使ふ。化粧も婦人の身だしなみである、只舶來品はやめにする。よく僕が話題にのぼすゴルフのボールとか安全剃刀である、舶來品はやめる、しかし鬚をそるな、運動を止めよとはいはぬ。だから國産の剃刀なりボールを使ふ。そのうちに國産でも舶來品に負けないよい品ができるやうになる、しかも値段も安い、今まで輸入を仰いだものが今度は逆に海外への輸出品になる事もで



きる。

さうした意味から現在或る舶來品は輸入を禁止してゐる。それらは時局收拾後一年間に禁止解除となるはずだが、相當國産品が一人前に育ち上がるまでは、そのまま禁止を繼續する事も必要と思ふ。同時に國民は舶來品に對抗する、國産品はなるべく之れを愛用する。節約節約とケチケチいうて共倒れになつてはよろしくないのである。

ことに私の心配してゐるのは人間そのものである。

事變に伴ひ一番働き盛りの中堅の人たち、これから第二世を澤山あとへ残してゆかねばならぬ血氣盛んな人達が、戦場で斃れ傷つき、又病を獲て歿し又は後送される。それだけ一國の人口の増加率は下がる事になる、それだけ國民の體位が低下することになる。

だから贅澤なものを喰へといはぬ、多食せよとはいはぬ。しかし國內銃後の多數の工場などに働く人は、平時より時間外に餘分に働き、婦人や少年まで之れに参加してゐる。それだけに運動や給養に注意しないと、結局能率の退化となり體位の低下を促進する。ことに戦地から後送される人々による内地病毒の傳播といふ事も大いに戒心すべきである。

故にお互ひの心身の健康といふ事にはケチケチ節約などいつてはをられない。健康の爲めには

許すかぎり物惜しみはできない、國民あげて肉體にも精神にも朗らかであり健全でなければ、長期の事變に當る事ができない。いつもいふ事だが、興奮しすぎない事である。息切れしない事である。悠々と一步一步大地に足を踏みしめて進む事である。

(十二、十一、十八、九日。調布。「婦人公論」一月號)

折にふれて

日本語で 日本の島に 日本人は

みな氣負ひ立ち ののしりあへり

息づまる この人のむれ ひたむきに

外へはむけず さざえがらのうちに



## 國家總動員法

### 一 小引——白紙委任狀

國家總動員法が今次の議會に提案される事となつた。

まだ議會で論議されてゐない、かりに論議されて總動員法の成立を見る事となつても、工業動員法に相當する條項の外は實現されない、いはば白紙の委任狀のやうな法律だから、今すぐにようかうと我等日常生活にさしたる影響を來たさない、又來たとしてもそれは主として男子活動の舞臺の話であつて、婦人の分野にふれるところは比較的に少ない。

しかしこれから毎日のやうに國家總動員法、國家總動員法と筆に口に評判に上るからは、どうしたものなのか、その大凡の理解だけは分つてゐる方がよい。だから問題は提出される國家總動員法の逐條解釋ではなくて、一體國家總動員法とはどんなものか、どうしてここに提案を見るに至つたのか、その概念を説明するにとどめ、さうした概念を頭に入れて本法の内容を知り、議會における論議の経過につき検討し理解し批判されるがよいかと思ふ。

### 二 近代戦に戦線なし

國家總動員法制定の理由は國家總動員の必要から起つてくる。それは戦争は次第に戦線は廣く長期に亘り、國民あげての精神的に物質的にあらゆる協力活動をまつ事になつて來た。よく「近代戦は全體戦である」とか、「近代戦に戦線なし」などといはれるが、戦場には野戦の第一戦線がある。しかし今日の戦争は質に量に時間に空間に著しく擴大せられ、特に空軍の發達は第一戦線を乗り越えて、いづれの國のいづれの地も空襲によりて戰場同様の危険にさらされる。國內には敵國の宣傳戦が行はれる、無電の發達が世界を狭くし一丸となし、世界列國あげて無形有形に直接に間接に戦争の渦中にまき込まれてしまふ。だから國民も全智全能をあげ國防に當らなければならぬ。つまり無限に人と物と資源を必要とし、兵器戦、思想戦、經濟戦等々が綜合されねばならぬ事になつたのである。

### 三 歐洲大戦と總動員

それで軍部當局は國家總動員について次の如き定義を下してゐる。

交戦に當り軍事の要求を完全に充すとともに、一般國民の生活を確保しつつ戦争の遂行に向つて國家の全能力を發揮するため、國家全體を平時の體制より戦時の體制に移し、國家の利用し得



る人的物的、有形無形、一切の資源を擧げて之れを統制安排し、最も合理的、經濟的に運用する業務をいふ。

かうした總動員の必要を見るに至つたのも歐洲大戰に實地から體驗されたからで、四年半にわたる近代科學戰により、交戦國はいづれも軍需品と食糧の缺乏を訴へる事になつた。ドイツ一ヶ國にても戰役中に使用した砲彈數は五億發に及んだといふ位であるから、兵器の發達に伴ひ砲彈とか石油ガソリンなど、その他軍需品は無限に要求される。そこへ國民の大部は直接間接に戰爭に携る、それだけ農業や水産業から遠ざかる。平素より食糧の自給自足のできる國すらも供給の激減を見る。ましてや、自給自足のできない國は先づ食糧飢饉となる。ドイツの結局敗戦したのも國家總動員の計畫が立つて無かつたからである。彼の戦後財政の收拾にあたりて有名なりし、電氣會社社長のラーテナウは、宣戦後軍需原料の統制を進言し、自から陸軍省の原料課長となつて、工業動員の衝にあたり、之れが生産消費分配の統制に力をつくした。當時フランスも全産業の動員を實施し、英國等も國防省を設ける。北米合衆國も國防會議を設け、戰時産業院をつくつて産業動員を實施したが、いづれも平素より、充分の調査研究をとげ、國力の凡てをあげての連絡統制ある總動員にならなければ、その全能率を發揮できないといふ事が現實に裏書されたのである。

#### 四 國家總動員法提案の理由

そこで日本でも平時戰時の總動員の準備並に實施を圓滑にするため、

- 一、正當なる國防觀念の普及徹底を圖り、
  - 二、國防に關する科學的研究の統制を爲し、
  - 三、總動員に關する平戰兩時の準備、實施機關の整備、その體系改變を行ひ、
  - 四、産業、交通、金融等の組織、整理、改善を行ひ、
  - 五、災害に對する應急準備制度を設定し、
  - 六、總動員に必要な法規の改正、制定、並に戰時法規の準備をする、
- ことの必要を認めてゐたのが、ここに支那事變の勃發と共に將來時局の推移に伴ひ、對日經濟斷交又は第三國の參戰等、さらに重大なる事態の發生することなきを保しがたいので、さうした場合に直面し、泥坊を見て繩はなつて居られない。今にして豫め最悪の場合を豫見し、之れに備ふべく各國立法の事例に鑑み、各方面に互りて動員さるべきものを遺憾なく網羅し、足らざるを補ひ、あげて連絡統一綜合せる單一法とし、高度統制原則確立の必要を見るといふのである。



## 五 綜合統一さるべきもの

海外では前掲のドイツ、イギリス、フランス、アメリカの大戦當時の立法、引續きイタリヤにおける一九二四年六月制定の國家總動員令、フランスにおける一九三五年三月議會提出の國家總動員法案（不成立）、アメリカにおける一九三五年二月米國上院議員クラーク提案のクラーク諸法案、チェコスロヴァキヤにおける一九三六年五月發布の國家防衛法等を参照し、一方では現行法としては先づその根幹法となるべき軍需工業動員法をはじめ、

徵發令

鐵道事業供用令

軍用自動車補助法

資源調査法

軍用電氣通信法

更にその後、滿洲事變以來、準戰時體制下として新たに制定されたる、

軍需工業動員法補強法

輸出入品臨時措置法

外國爲替管理法

臨時資金調整法

馬の移動制限法

米穀應急措置法

臨時肥料配給法

臨時船舶管理法

等、さうした法規を綜合する事となつた。

## 六 新たに規定さるべきもの

併しそれらだけでは不十分であるといふので、新たに幾多の條項が加へられてゐる。ここに一あげたる事は避けるが、今までの「從業員の供用」に加ふるに今度は、

戰時に總動員が必要あるときは帝國臣民を徵用する

といふが如き規定を見る事は重大なる意義を持つてゐる。又ストライキの豫防解決禁止の權限が定められ、更に労働者の使用解雇賃金その他の労働條件につき「他の法令の規定に拘らず」必要な命令を發し得る事になつてゐる。又新聞雜誌類にして一ヶ月二回以上又は引續き二回以上違反のときは、新たに發行停止の極刑を以て臨んでゐる（あとで修正されてゐる）。更に事業界へは會社の設立、資本の増加、合併、目的變更、社債の募集又は第二回以後の拂込につき制限又は禁止を爲し、利益金の處分に關し必要な命令を發し、又は銀行その他金融業務を取扱ふ者に對し、必要な命令を爲すことが出來るとあるから、もろ双の切れ味はとても凄い。

その他、衛生、教育訓練、試験研究、情報宣傳、警備等各方面に通じて至れりつくせりと行き互つて、統制萬能の利劍が揮はれてゐる。詳しくは既に新聞に見えてゐる如くである。さうした權能が此の法律により凡て勅令に委任され、隨時隨處實現しうるといふところにその利便があり、その切れ味の鋭いだけに又危険が伴はれる。



## 七 正宗の利刃

見方によると議會は豫算を議する外、少なくとも國家總動員の發動と共に、立法の權限を全部白紙委任とする氣味があるから、二月一日の或る新聞には次のやうに見えてゐる。

總動員法案に對する政黨側の反對氣勢は極めて熾烈にしてその論據は戰時規定と平時規定を同一法律内に包含した結果、その發動の狀況が不明瞭な事、勅令委任事項があまりに廣範圍に互る事等にあるが、之れに對する政府側の意向は、

一、戰時規定と平時規定は相關聯して平時においても戰時に對する準備的機能を發揮さす必要上、兩者を別個の法律として規定する事は不可能である。

二、勅令に委任された事項は總て戰爭に直面した場合の對策で、これは戰爭の方法、規模、狀況等の變化によつて内容も變化すべきもので、今から一定の方式に固定さす事は出来ない。

三、戰時規定を發動さすべき右勅令制定の場合には、現在の企畫審議機關を新設して之れに付議し、政府獨斷の弊を除去する方法を講ずる。

等の方針を持し、これを率直に表明して反對論を緩和すると共に、政府としてもこれが骨抜き的な修正には斷じて應じない意向であるとの事である。

まだ議會に提案を見ないのであるから、いよいよ提案された時の内容はどうか、又そ

の後の論議の推移は今より豫斷を許さないが、しかしいづれにしても此の法案はとても鋭いにも鋭いにもその切れ味は素敵である。一方で國家が最悪の場合に直面するに至れば、さうした利刃を揮はねばならないが、そこに憲法違反論——少なくとも精神上に——もおこり、又成立するとしてが問題はその利刃の使ひ方にある、鞘をはなれて、振り廻しすぎると、その弊も又大なりである。従つて此の法規を運用するときに、どうした方法により、その濫用をつつしむべきか、審議機關などが問題になる。

今期の衆議院貴族院でも大分壇上の聲となつた事であるが、とかく官僚は民衆に臨むときに民衆は悪いもの不都合なもの白眼視してかかる嫌ひがある、あとで自分達が民間に下つて原告被告その地位を代へて見ると、ハテそんなはずではなかつたがといふ感を深くするのを例としてゐるが、しかしその時はもう既に遅い。それだけに刃の切れ味のよさを見ると、その使ひ手につき考へさせられる。さうなると近頃は文官任用令も問題になつてゐるが、まさしく相まちて此方も此の機會に大きな刷新が期待される。(十三、二、一。朝風莊。『婦人公論』三月號)



## 支那事變と貯金

### 一 日露戦争の思ひ出

なぜ貯金をせねばならぬ？　なぜこの非常時には、さらにさらにうんと貯金をせねばならぬか？

明治三十七八年の戦役あの日露戦争の時には貯金は急に激増しはじめた。當時私は逓信省で郵便貯金事務を受持つてゐたが、その以前は郵便貯金の預金者は差引して減少した年もあつた、増加しても三四十萬人位が關の山であつた。それが戦役後一躍百萬人突破になつた。預金額もそれまでは差引數百萬圓減少した年もあつた、増加しても三百萬圓を超した年は無かつた。それが戦役後七百萬圓を超し次で二千萬圓近くになつた。

之れを貯蓄銀行に見ても戦役前の預金者増は三十五萬人であつたが戦後は六十二萬人に、預金額の増も六七百萬圓より千八百萬圓次で二千萬圓を突破してゐる。今日とはくらべものにならぬ小さな數字であるが、しかし當時にしては從來の増加歩合が一割にも及ばなかつた事が多いのに、

俄かに二割三割四割と増して來た。それはいふまでもなく國運を賭しての日露戦役といふ非常時であつた爲めで、當時軍費の一端にもと國民は相次で金銀類の筭、指環、時計などを日本銀行を経てどしどし獻納された。當時の國民の緊張振りはいはば命がけであつたので、今猶私共の記憶には深く刻まれて忘れられない。

戦争になる金が要るだらう獻金する、間接には郵便局なり銀行なりへ預金もする。さうした事はもはや萬人みな心得てる事で今回の戦局にありても、忠誠なる日本國民の日々の陸海軍への獻金、軍用飛行機への寄附金などの夥しき状況を見ても明らかであり、いづれは貯金の上にも格段の激増を見るに至るべき事は期待されるのである。

### 二 有りふれた貯金の講釋

しかし私は一口に時局の爲めにと簡単に片付けずに、貯金すべき理由を巨細にあげて見たい。くどくとも分り切つた事であつても、齒抜けにならぬやうまとめて話して見たい。

貯金の第一義は自主自立して、人や社會國家に迷惑をかけぬ爲めである。手一杯に収入の全部を右から左へと吐き出してしまつては、病氣になる火事に遭ふ、結婚だ死亡だ、さうした時に手づまる、借金せねばならぬ事になる。又農民であれば牛馬も農具もいつかは代りを求めねばならぬ。工業に従ふ者も工場のボイラーも機械も古くなれば新らしきものとかへねばならぬ。商人の



店先とても建増し模様替もせねばならない。さらに収入の側から見ても農産物も出来がわるい値が下がる事もある。商品も賣れ行きがわるくなり競争に負ける事もある。その上誰しも一年一年と年をとつて行く、健康を害する事もある、働きたくも働けなくなる、働けても職を得ない事がある。子供があり出来がよい、子供が世話してくれるならその親達は任せだが、さうでない老後の餘生をおくる道を平常からつけておかなくてはならない。いやよしんばよい子供達があつて世話してくれるとしても、世話にならねばならぬ事はない。世話になつてもよいが、世話にならずに済むだけの用意がなくてはならぬ、いつ子供があつた世へお先へ失敬するかも知らない。だから平常から収入の一割二割を天引きしてゆく。出来ぬはずがない、現に世の中の生活の様式が千種萬別である、辛抱してできぬ事はない。もし萬民さうした心組で生計を立てたならば、世の中に泥坊などもなくなるはずである。刑務所も養育院も孤兒院も皆空間になるはずである。日々、新聞にあらはれる慾にからんだ人殺しなど、食慾減退の記事はうんと少なくなるはずである、萬民互ひに平和な幸福な生活を樂しみうるはずである。

さらに吾々の此の世に生れて來た心組は何も自分達の一身一家の爲めばかりを標的とすべきではない。そこに社會生活を營む一員として社會の爲め、又國民の一員として國家の爲めに、奉公すべきである、社會奉仕をせねばならない。納税の如き義務に屬するものは別として、猶われわれは餘力あれば、その力相當に公共の爲めに奉仕すべきである。さうした意味からも無駄をせぬ

贅澤な眞似をしてはならぬといふ氣分が近時一層強調される事となつた。

### 三 活かして使ふための金

同時に又節約による貯蓄は郵便貯金に銀行の貯金に又組合の貯金にそれぞれ寄託することにより安全が保證され、利子がつくばかりでなく、その金が政府なり市町村組合なり又銀行等により投資され利殖され、國や地方團體の財政に資するばかりでなく、銀行信託會社等により各種の事業資金として活用される。各自の財布の中で眠つてる金も一個處に集まると何萬何億とまとまつた大金となつて、一かどの仕事ができる事になる。あるときはさうした金によりて財政が息をつぐのである。大きくいへば府縣市町村といはず國家の生計が立つてゆくのである、凌いでゆくのである。今や事實上我邦は支那と戰時状態に入り、しかも時局は簡單に解決できさうもなくなつて來た。此の場合貯蓄の必要が一層急切なるものがあるのである。

日本も非常時の聲が高くなつてから年々赤字公債が募集され赤字の財政がつづいて來た。毎年十億内外の公債が募集される。日本の公債は二十億だ三十億だと言つた時代から駐足で募債又募債とうなぎのぼりで百億突破となつた。利子だけでも年々三億四億と支拂はねばならない時代になつてきた。由來公債増發の結果は公債の下落となり、物價の暴騰となる、いはゆる悪性インフレになるべきであつたが、幸ひにさうした懸念が無くてすんできたのは、一つは圓の爲替が下



つたのと、内地商工業の發達により、良貨でしかも安價な商品がどしどし輸出され、貿易が順調であつた事と、内地の事業界が割合に不振のため、銀行もふくろの口をしめてお金がダブつてゐたからであつた。

ところが廣田内閣の末期になるや物價が俄かにあがり出す、それだけ輸出はにぶつてくる。内地の重工業が非常な勢でのびるから、さうした方面の原料たとへば鐵などの仕入れに見越しの思惑が盛んとなる。そこへ世界的に物價も高くなる、グングン進出したる輸出品が、外國の關稅の障壁や輸入割當などにより、次第に輸出の出先の口々がせきとめられてくる、貿易状態逆調の度を加へてきたのである。

#### 四 支那事變と貯金油

そこへこの事變勃發である。軍需品その他海外からどしどし仕入れねばならぬものが激増する、分量は増す値段がやみくもにあがる、輸入は目ざましく擴大される。そこへ支那への輸出入はパツタリ止まる、支那よりの輸入もとまるが、對輸出の方が更に減退し、ために最近日本の貿易は差引輸入増七億といふ超レコードを見る事となつた。近頃外國と帳尻をあはす爲め、爲替相場の下らぬやう現金を何回となく現送してゐる事は新聞にも見えてゐる。さうした状態のところへ今年で毎年十億圓位づつの赤字公債を募集したものが、一躍今年は三十億以上募集せねばならない事

となつた。先づ荒づかみ例年の三倍である。しかも銀行の方はといふと、今までは遊金がダブつてゐたが、近頃は事業特に重工業勃興でさうした方へどしどし注ぎ込まれてきたから、公債に應ずる餘力が著しく少なくなつてきた。上と下とへの開きで、今までと大きな相違となつて來た。ここに於て貯金必要の度合は、又今までの數層倍になつて來た。貯金が増してくる、その金で公債に應じる、その公債賣出しにより得たる金で支那事變その他いろいろの仕事の費用にあてる。さうするとその金が又あらゆる方面へ散つてゆく、その散つてゆく金が又節約されて貯蓄になる。此の如くにして非常時財政の車の油となり、何回となくなめらかにうまく循環してゆく事が、事變に際して、何よりの重大事であつて、此の循環が大きく且つなめらかであるほど、政府の仕事もより多くより大きく活動できるのである。

今や忠勇なる國民は毎日市をなして陸海軍や飛行機などへの獻金をつづけてゐる。貯金も又さうした奉公の一端になるのである。我々は只ケチケチと爪に火をともしてシマツをせよといふのではない、陰氣な消極的態度では長つづきはしない、息切れがするのである。我々は一面積極的にグングンと活動をつづけ仕事をする収入も大きくする、自から貯金額も多くなる。政府や銀行はその多くなつてくる金をどしどし活用する。それが又めぐりめぐりて國民の懷中を潤ほす事になる。此の如くにしてはじめて時局の大きな車がなめらかに廻轉されるのである。

何も戰爭の時のみに限られた話ではないが、今日は一層痛切に感じられるのである。我々は此



の時局に際會して眼覺めねばならぬ。あらためて一家の生活の上に検討して見る、必ずやさらに新たに節約すべき餘地を見出すであらう、さらにかせぎ出す財源も見出せるであらう。さうした心構へこそ、我々の貯金をさらにさらに増してゆくゆゑんであり、それがまた實に非常時局に於ける日本といふ大きな車をなめらかに動かす油となるのである。

(十二、九、十一、十二日。丸の内、玉川。『内閣貯金銀行パンフレット』)

### 三省貯金會議の思ひ出

日露戦役の當時郵便貯金獎勵の三省會議が屢々大藏大臣官邸で開かれた。大藏省からは理財局長水町袈裟六、課長は永濱盛三に神野勝之助、内務省からは地方局長が初め吉原三郎、のち床次竹次郎、課長は井上友一に清野長太郎、逓信省からは通信局長小松謙二郎の諸君、課長に僕が参加した。今生き残つてゐるのは僕だけになつてしまつた。

## 支那事變と國際政情

### 一 世界異變の波紋

B この前は支那事變の國際關係、それも主として英米についてでしたな。

A さうだつたね。

B 今日はその時の約束で、ソ聯や佛獨伊の情勢を話して貰ふはずであるが……さていよいよ日獨伊防共協定が成立しましたね。

A 成立したね。

B 新聞では、昨年十二月成立したエチオピアに關する日伊基本協定や通商協定問題、それに引きつづいての第三次工作で、初めは單獨な日伊間の單獨協定のやうに傳へられてゐたのが、結局イタリイが日獨の防共協定へ参加して、三國協定といふ形式を採用することに決定したものだ。この日獨伊三國議定書の歴史的調印式は、十一月六日午前十一時(日本時間午後七時)イタリイ外務省たるキヂ宮外務大臣室において行はれた……。



A 君はなかなか精しいね。

B いやこれは新聞の記事をそのまま放送してるのですよ。

A だから、どうしてくれといふのかね？

B 日獨伊防共協定の話も聞きたいし、ソ聯や獨伊の支那事變關係も聞きたいし……。

A いづれも別口の話のやうだが、實はみな一つ話だね。

B 一つ話？

A 地中海の水は日本海、支那海に通じてるよ。

B いかさまな。

A 昔は狭い日本の島の中で武田と上杉や、毛利と尼子が互ひにそれぞれしのぎを削つてゐても關東と中國では互ひにピンとひびかなかつた。今日では世界いづれの地に起つた出來事でも、輕重の別こそあれ、それぞれに影響が波及せずにはおかない。だから日獨伊の防共といふことは、獨伊對佛ソの二樞軸の動きであり、その一面がスペインの内亂にも現はれてをれば、また支那事變にも當然現はれてる。

B それでは……あのスペインの内亂から地中海の怪潜水艦……。

A それからいよいよベルギーで開かれる九國會議……。

B それそれ、防共協定に九國會議などは、ぜひこの際聞いておかないと……。

A 馬鹿に話材は手廣くなつたが、いづれも煎じつめると互ひに結ばれて解けない糸にしぼられてる。

B それでは一つ一つほぐして貰ひませうか。

## 二 地中海異變

A 先づスペインの内亂の話はこの前に解説すみになつてゐるが、その後歐洲列國の神經を尖らしてゐるのは地中海事件だね。とにかく國籍不明の怪潜水艦が地中海に出沒し、スペインの政府軍へ送る兵器や食糧など満載した英佛ソの商船を爆沈する。そこで英國は約百隻の警備艦を出動してゐるが、今度はその警備中の英國の驅逐艦二隻が、怪潜水艦にやられて、ブクブクとお陀佛になる。

B そいつあ英國も泡をくつたでせうね。

A いづれはスペインの反政府軍……イヤそれよりもイタリア側の仕業だとスツカンカンになつてるね。

B 地中海は、まさに歐洲列國の噴火口ですな。

A さうだよ。フランスにしてもアフリカの對岸に植民地がある。イギリスは、ジブラルタルの海峽からマルタ島スエズ運河と固めておかぬと、アフリカへの植民地はもとより、南洋、東洋



などの自國領土への御成街道が不安心になる。なによりメソポタミア……イラク國からベルシャ方面へかけ、石油の寶庫への連絡まで途切れるからな。そこへまたイタリーになつてみると、地中海は自分の内庭くらゐに思つてゐる。

B イタリーは軍隊をどしどしアフリカへ差し向けてるさうですね。

A イタリーは對岸リビヤの植民地には、前後三回の増兵で、もう五萬人にも達したらう。そこで近火とばかりに英佛共にエジプトやチュニスにそれぞれ増兵する。イタリーはスペインへも更に増兵するといふので、フランスはそれならおれの方でも、スペインとの國境ビレニス山脈の監視をやめて、國境を越える義勇兵なり軍需品の輸送を自由にするといふ。いづれにしても次第にツバゼリ合になつて來てるが、どうもフランスの腰が弱い。いつもイギリスへブラ下り、ロシアへ手をつなぎ、事なかれ主義一點張りである。しかし、立つべき時に立つといふ決意がないと、ズルズルと足をすべらすばかりになる。

B フランスは意氣地がなさすぎますね。

A なさすぎるね。現に見給へ。歐洲大戰の時ドイツは無斷で永世中立のベルギーへ兵を進めて荒し抜いた。そのベルギーが、一年前に既に中立へ復歸を宣言し、フランスとの特殊の立場から離れてしまつた。それはフランスと手を握つてゐることは危いからである。更にこの九月、ムツノリーニはドイツを訪問して獨伊相結託した色が濃く寫つてくる、獨伊樞軸の魅力は次第に各國

へ大きな脅威となつてきた。十月十四日には獨白間の不可侵條約が發表されることとなつた。それやこれやのニュースを聞くと、フランスの影は次第に薄くなるやうな氣配が見えるね。

B それもフランスが、ドイツと絶対に相容れざるロシアと同盟したからでせう。

A ロシアと同盟したからますますドイツの感情を鋭くしたことも事實だが、またさうまでしなくてはならなくなつたフランスも氣の毒千萬だよ。

### 三 獨伊對英佛

B しかし、今日のドイツはもう西の方フランスへは眼もくれず、一意東の方ロシアへの一點張りになつてるのでせう。

A 先づさうらしいね。ドイツは東の方ロシアに向ひ、その西南ウクライナ方面をねらつてると専ら噂されてゐる。いづれにしても西のフランスの方は、狭くて人が多くて肉が堅く筋ばつてゐる。ロシアの方が土地は廣すぎる人も少ない肉も柔かい。ドイツとしては對外赤化といふばかりでない、東へのびる方が理詰めだね。だから、イタリーと棒組になつて今日、フランス恐るるに足らずとばかり眼中に入れてない。ドイツは一意イギリスの御機嫌をとつてただけだよ。

B 此の間誰かの話に、イギリスが今度ウンと軍擴を始めたのも、一つはドイツをして兵を起さしめないため、軍擴をしておかないとイタリーのエチオピアのときもニラミがきかなかつた、



この度スペインの内亂、地中海の事件でも一向にニラミがきかない、こんなことではそのうちヒットラーが何をするか分らない、だからどうしても軍擴をしておかないと駄目だと覺つたといふことですが……。

A さうらしいね……だから今支那事變にも、イギリスは如何に支那びいきでも如何に日本が面憎いとて、極東で兵を起さうとまでは考へられない。それはイタリーとエチオピアの時も同じことである。しかし、すべてものにはハズミがある。かつては一九二七年であつたか、支那に排英運動が起り、漢口の英租界占領といふので、この時は英國は遠く一萬三千の陸兵を上海に送り、日本にも共同出兵を求めたことがあつた。今度でも絶対に英國は出兵しないと保証はできない。しかしスペインの内亂や地中海事件など、足元でイタリーののために眼を廻してゐるのであるから、どうしても極東への關心に専らにはなれないね。

B なるほど、さうしてみると、地中海の水が支那海へ通じてることになりますな。

#### 四 支那事變とソ聯邦

A そこへロシアにしても、國內の肅清工作？ といふので、とにかく元帥と肩書のつく人たちを束にして殺す。昨今極東方面でも、西部シベリア地方労働組合中央委員長とか、同地方の北部區執行委員會議長とか知名の人たちを初め、浦鹽の驛長なども含んではや八百餘名が銃殺され

てる。こんな内部のゴタツキがあつては、とても戦争どころではない。そこへドイツがロシアの西部國境をニラんでる。だから表へ立つて我に齒向ふといふことは一寸想像されにくい。

B しかし……。

A しかし、ロシアは、支那事變を長引かしたい、人のふんどしで相撲をとるのだ。支那の方が弱いがイギリスがウント力持ちをしてる、そのお手傳ひをしてなるべく長引かせる。日本ばかりでない、支那もできるだけ深く傷ついてほしい、草臥れてほしい、ヘコタれてほしい。

B 支那もですか……。

A さうだよ。ロシアはかつて一九二三年から二七年まで、國民革命軍と手を握り、莫大な金を投じて現政權の顛覆を計つた。ところが國民黨が南京政府を樹立すると、くるつと寢返つて帝國主義と妥協し、一九三三年まで逆に蔣介石は支那の共産軍討伐をつづけた。同年の暮から、また一脈の微温が通ひ始め、とうとう部分的の和解となり、今や抗日一色の下に手をつなぎ出したが、もともとロシアの方が何度となく支那から煮え湯をのまされてる。だからソ支の不可侵條約はできたが、それ以上とだけ深入りしてるか、全くそれは疑問だね。

B しかし……。

A そのしかしについては、日ソ支の關係につき大分話したいこともあるが、簡単にその要をつくすこと難し、又の折にゆづることしよう。



## 五 國際聯盟と九國條約

B それでは九國條約會議でも……。

A あれは九月中頃の支那の提訴により、國際聯盟は總會、理事會、二十三國諮問委員會、十二國小委員會、六國起草委員會など開かれて、支那に精神的援助を與へ、支那の抵抗力を弱めたり、また事變永續の危険を増大せしむる虞れある處置を差控へることにし、九月下旬の日本空軍の支那都市空爆非難決議となり、更に十月上旬の九國條約會議招集決議となつたね。

B アメリカもドイツも聯盟を脱退して、イタリーは缺席して、そこへ聯盟から脱退して日本に對し、全く犬の遠吠えにすぎませんね。どうです、現地派遣の調査をすといふではなし、日本政府へ問ひ合せるといふではなし、ただ支那のデマ宣傳、泣き落しに乗つて……。

A 空聲だけあげて、つまりは九國條約會議へ遁げたのさ。

B あれは米國抱き込みといふので、とても聯盟連中を恐悦せしめたやうですね。

A さうだよ。十月五日シカゴで米國大統領は日本の空爆を非難し、國際信誼と安全保障の崩壊した無秩序の世界に、超然無關心の態度で安全を期することができない、だから米國人は戰爭を嫌惡し、平和を望み、活潑な平和探求に努力してゐると結んでゐる。これへハル國務長官が裏書する。それとばかりに、翌六日に國際聯盟はアメリカの参加して九國條約會議の招集と、早

いところ尻馬に乗つてアメリカを引きずり込んだのだな。

B 一體、九國條約といふのは？

A 九國條約は、國家の政策の手段としての戰爭を放棄することを誓約し、國際紛争であつても一切平和手段によるほか解決を求めぬ旨を約したものであるが、しかしこれにはチャンと自衛權を制限または阻害せぬことを條件としてゐる。だから帝國今回の行動は少しも侵犯にならない。八月十四日の我が政府は、

支那側が帝國を輕侮し、不法暴虐わが在支居留民の生命財産の危殆に陥るに及んで、暴戾を膺懲し南京政府の反省を促すため行動をとるの已むなきに至れる

旨を説き、領土的野心なきことは數次言明してゐる。敢て問題にするに當らずだよ。

B オー・ケー。

## 六 複雑を極める國際關係

A そこで、終りに臨みだね、これまで話してゐる僕の心持ちを聞き分けてほしい。

B 聞き分けて上げようが、どういふのだい？

A 先づ人間でも國でも、喧嘩腰になるのは感心しない、強がるのは禁物である、驕つてはいけない、わざわざ敵をつくるには當らない。しかし、そこには程があつて、いつも引つ込思案に



なり事なかれ主義になると、際限なくすすると後退するばかりになる。さうなると足を踏みしめて立ち直ることができなくなる。

B といふと……。

A 現にフランスである。歐洲大戰に勝つたフランスが、敗れたドイツに一步づつ押され氣味になり、とうとうロシアと握手するまでになつた。國境を接してベルギーがフランスへ背を向けてドイツと手を握つた。ユーゴー國の如きもフランスを袖にしてイタリアと手を握り出した。フランスは明らかに、ザールの人民投票やドイツのラインランド進出の時、ドイツに對し決然立つべきであつたと思ふね。

B それから……。

A それから國情といふものは、とても複雑である。歐洲大戰の時、ドイツは、フランスを攻める道筋にあたるといふので、永世中立を破りてベルギーへ侵入した。そんなひどい目にあつたベルギーが、今ドイツと手を握ることになつた。また、かつて獨逸伊は三國同盟を結んであつたが、そのイタリアが歐洲大戰にはドイツと戦つた。それが今日ではまた互ひに手をつないでゐる。だから國際關係の曲折については、ただ感情一點張りで輕々に批判はできない。現に日本とイタリアについても……。

B イタリアについても……。

A エチオピアと交戦の時はどうだつたかね。當時日本ではかなりエチオピアびいきの聲が高かつた。いろいろのエチオピア同情運動もあつた。僕はエチオピアは氣の毒だが、イタリアの立場も同情されねばならないと、エチオピア問題を滿洲事變に比較して、屢々口にし、また筆にした。世の中は常に動いて止まない。今になつてカレコレ文句をならべるのではない。昨是今非、昨非今是、國際關係は轉々として、變幻きはまりないといふのである。アッサリと感情一點張りでは律しられないといふのである。いづれにしても、國際問題の單純でないこととはうかがはれる。國際關係といふものが如何に錯綜し複雑を極めてるかといふことには、朝野をあげて甚深なる留意が望ましいね。

B オー・ケー。



## 時局はどうなる？

### 一 對英同志會の聲

B 一體この先がどうなつてゆくのですか？

A そりやいつも言ふ通り、神様でなくては分らない。

B それでも大凡の見透しくらゐは？

A それが時々刻々動いてゆく。今日は十一月の二十六日だが、この話は新年號の誌上に現はれる。その頃はどう移り變つていつてるか、實全く分らない。

B しかし問題は、日支でも日ソでもなくて、どうやら日英といふことになつて來てるやうちやありませんか。

A その通りだが……實は、初めから日英なのだよ。

B といふと？

A 支那もかねてから、遠からず日本と戦端を開く覺悟は決めてゐる、着々準備も進めてゐた。

しかし、今少し時日を待つてゐたかつたのであらうと思ふ。それがとうとう爆發したのも、英國の尻押しがあるからであり、また戦局の進むにつれ、英國が根氣よく支那の力持ちをしてゐるが、もし中立の位置に引き下れば、今日ともいはず、とうの昔に兵火はをさまつてる。

B それもさうですね。よくあなたは、日露戦役の時に、英國はかなり日本のために助力した、それは當時列強中に覇を唱へてるロシアが、南下して英國の權益を侵しにかかるからであり、今度は日本が強くなつて英國の權益を侵して來たから、反日援支になつたのだといひますが……。

A その通り……。

B しかし日露の時の日本への助力ぶりより、今度の支那への助力ぶりの方が、ひどいぢやありませんか？

A その通り。それは一つは、上海といふあつた地點が戦火の巷となつてるといふ事情もある。とにかく日露の時よりも、今回の方が大分露骨になつて來てる。それへあの時は日英同盟があつたが、今英支同盟はないのだから、一層怪しからぬ次第だね。

B そこで對英同志會といはず、朝野あげて反英の空氣が濃厚になつて來てますが、日英の間に事端が開かれたら……

A 大變だよ。

B アンマリ反英の運動など、ない方がよいのぢやありませんか？



A さあなあ。しかし先方が非理非法なことをする、これに對して憤慨するのは當然であつて、平氣な顔して黙つてるのをかしたものである。さうした憤慨の空氣は、抑へて抑へ切れるものでもなし、またさうした空氣のあることを知らしむるは、先方をして悟らしめる道であり、またイザといふ時の國民の下つ腹を固めしめる道でもある。

B なかなか強氣ですな。

## 二 日英と九國條約

A 強いも弱いもないよ、物の道理がさうぢやないか。上海の現地では、出合ひ頭に彼我衝突せんとする場合も少なくないらしく聞いている、それはありさうなことと思ふ。また英國の議會で、議員が抗日質問を連發してゐる、それもありさうなことと思ふ。しかし時は十月の二十八日だから、もう一月を経てゐるが、新任香港總督サー・ジョフリー・ノースコートが公開の席上で、非人道的暴虐行爲が東亞のこの一角に演ぜられつつあるに對し、私は積極的にこれを阻止するに努力する決心である。

と豪語してゐる。これはその職掌柄から、また場所柄から見て、不謹慎である、怪しからぬことであると、僕は根に持つてゐるのだよ。

B そんなこと言つたのですか？ 英國人らしくもないですな。

A どうも近頃の英國はをかしいよ。イタリーの對エチオピアの時でも、今回のスペイン内亂にも、頻々と英國は認識を誤つて味増をつけつづけて來たね。

B いや全くですな、九國條約でも……。

A 九國條約など、常識で考へても、はるばると歐洲三界まで日本に出頭せよといふ、それも支那の申請に基いたのであるから、國際聯盟あたりでは、支那の現地につき調べるとかまたは不審書を並べて日本の答辯を求めるとか、一應の手續をなすべきに、それもせず、いきなり日本は不都合だと宣告し、その上ゴテゴテと列國列座の中へ出かけて來いといふ。かりに負けいくさであつてもそんなところへオイソレと出かけられるものでない、そこには面目がある、體裁がある。かうした時にはすべて内輪で、一個國かセイゼイ二個國がコッソリと内交渉をつづけ、それから双方の面目の立つやうな形で手順を運ぶべきである。

日露の役だつて、アメリカへ双方から出かけてゐる。どこまでも五分五分といふ形で媾和會議に臨んだ。それをだね……連戦連勝してゐる日本へ、お前は怪しからぬと宣言の上、出頭を要求するといふのは、どうかしてと思ふね。

B そりやさうですな。いやこんなことは日支時局收拾といふ時にも心得事ですな。

A いつだつて心得事だよ。私人の間でだつてよくあるやつだよ。



### 三 ソ聯と共産系、英と蔣介石系

B そこで……いつ時局が片づきさうですか？

A そりや何度訊かれても分らないといふ外はない、相手次第ぢやないか。松井司令官は、相手が謝つて来ない限り、漢口、重慶までも行かねばならぬと言つてるよ。

B しかし、上海も日本の手中のものとなつては、もう支那の方もあがきはとれなくなつたぢやありませんか？

A そりやさうさ。地をかへて考へて見給へ。支那にはもはや捲土重來などいふ自信は毛ほどもない。まあ英米やロシアが渦中へ入つてくれたらばと、そんなところが頼みの綱だらうぢやないか。

B 『デーリー・ヘラルド』は、特派員エドガー・スノーの記事をかかげてますよ。ソ聯の大量武器輸出について……。

A なんと書いてるのかい？

B ソ聯から陝西省西安へ、爆撃機、戦闘機合計百六十臺を送り、操縦士も多数乗り込んで。また沿海州へ一千五百臺の飛行機を集結し、多数の潜水艦も解體して陸路浦鹽へ送つて、同地で大急ぎで組み立てるといふのですかね。

A そりやそのくらゐのことはあらうぢやないか。英國の方だつて、香港の方から盛んにやつてる。英國としては、ソ聯が渦中に入ることは、日本を負かすといふ上には望ましいし、さりとしてかりにソ聯が勝つてみても、日本の代りにソ聯にノサバラれても困るし、といふところだらう。先づ共産系にはソ聯が援助する、蔣介石系に英國が援助するといふところだね。

B とにかく今日では漢口、長沙、廣東、香港といふ徑路で、香港がすべての策謀の中心になつて来たから、上海の場合と違つて、日英間に一觸即發の危険率が増して来たともとれますな。

A 同感だね。なんとしても、ロシアの方はあまり頼りにならない。ロシアは内輪で軍人も文官も手あたり次第殺してる、フランス大革命のギロチン時代を連想するね。

B 全くですね、スターリンはどうしても疊の上では死ねませんね。

A ロシアには疊がないよ。

B 揚げ足のとりつこはよしませうよ。

A ロシアは西にドイツあり、東に日本あり、しかしそれよりも憂ふべきは、國內の不統一紛糾疑惑であり、そこへ、虚實は知らぬが、もともと共産軍と兵を交へた蔣介石は、ロシアが存外頼みにならぬ、ロシアの中では血で血を洗つてる、だから、ブリュッヘル將軍に獨斷驟起の勧誘をしたとか、ヒットラー總統へ、支那は決してボルシェヴィキと同化し、ソ聯と共同戦線を張ることなし、といふ言質を與へたとかいふので、ソ支の間もシツクリいかないと傳へられてる。と



にかく、溺るる者は藁をもつかむといふ恰好で、いろいろあがいてるね。

#### 四 防共と日本の更新

B つまり今日は防共の日獨伊三國得意の壇場になつて來たのですね。

A 互ひに持ちつ持たれつでね、日獨伊と手をつないでる。そこへスペイン戦争がある、日支事變がある、互ひに睨み合ふ、七分三分のかね合ひになつてゐる。

B そのためでせうね、英國の樞相がドイツへ乗り込みましたのは？

A ハリファックス樞相は、この際ドイツと話し合はなければ、スペインも日支も、このままではすまない、悪くすると歐洲第二次大戦にならぬとも限らない、極東では日本のためにどこまで權益が侵されるか分らない。

B それでドイツには植民地も戻してやるとか……。

A いろいろの條件が新聞に傳へられてるが、とにかく日本内地の九十餘倍、世界の陸地の四分の一を占めてる大英帝國は、現状維持には大骨折りだね。

B 日本がかうまで強いと思はなかつたのでせうね。

A 日本では、五・一五事件、二・二六事件、いろんな事件の突發がつづき、各方面にいろいろな相剋がある、もはや日本興し易しと思つただらうね。なんとしても、我が國體の特色眞價は、

彼等には分りかねると見える。一旦國難に直面すれば、忽ちにして全國民打つて金鐵の一丸となる。この日本民族の特異性は一寸他國の人には腑に落ちないのだね。

B さうなると支那は氣の毒ですね。

A 昨今共産黨の周恩來、毛澤東等は、馮玉祥と共に李宋仁、白崇禧の西南軍と手をつないで、蔣介石及び國民黨と對立抗争をつづけ始めたとも傳へられてる、支那は國內の敵こそ更に憂ふべしだね。

B かうなると、ますます我が國體の有りがた味を感じますな。

A だから我等は、内には時局がどう動いても當局を信頼し、從容自若としてトコトンまでやつてのける、さうした堅忍持久性を要求する。同時に政治の上にも、かなり思ひ切つて革新すべきものがあるから、この機會をはずさず決行する。また吾々の生活にしても、歐米に比して富も薄く所得も少ないが、そのくせ二重三重の生活により相當無駄が多い、費えも多い。さうした生活の更新も斷行する。

#### 五 北支工作と阿片

B 支那の方は？

A 北支工作、北支工作といふが、金の茶釜が轉がつてるのではない。これから資本を投下し



て、根氣よく資源を開発する。また文化の工作によりて、精神的の融合も大事なれば、どしどし満支へ出かけなければならぬ。

B といふと？

A まあ日本内地の學校について見ても、英語科や昔の漢文科の授業時間を減縮し、新たに現代の支那語科に手を染めなければならぬ。

B なるほど……。

A それから、支那の衛生状態の改善……現在のままでは、出征將士はじめ随分病毒に苦しめられてる、またその病毒が内地へ持ち込まれる。

B それは困りますな。

A さうした支那だから、その治安を回復し、今まで軍隊や役人にいぢめられ抜いた民衆を救ふ……。

B 支那の農村問題ですね。

A さうだよ、支那の資源を開発する、衛生状態を改善する……。

B 經濟工作より、衛生工作が大變ですね。

A 全くだよ。

B そこへ日本人が出かけてゆくのでは……。

A その病毒にもいろいろあつてね、阿片といふ、とても根深い病毒がある。

B それそれ。

A 今香港が英國の支那援助の策源地であり、また極東の英國貿易の中心になつてゐるが、あの香港は阿片戦争でまき上げた土地だ。

B さうでしたね。

A 阿片を賣り込むのが怪しからぬと、林則徐將軍が阿片を焚きすてたのがもとになつて、阿片戦争となる。支那から償金をシコクマとる、香港をまき上げる、あれからは大ビラに阿片が支那へ浸潤する。何が支那の受けた害毒というて、阿片が増すものがどこにあらう。四億の民衆は、永久といつてよからう、阿片で活力を失ひ生命をちぢめてる、こんな殺生なことはないと思ふ。

B 全くですな。

A その満洲、支那へ日本人が入り込む、もしいつの間にか阿片に病みつかれたら、それこそ大變だ。

B なるほど一寸見では分らないが、じりじりと擴がると取り返しがつきませんな。

A 日本人の病みつかぬやうに、更に進んでは四億の民衆を煙毒から救ふ。

B いや話は大きくなりましたな。

A そこに大和民族の使命がある。



B それもさうでせうが、さしあたり戦後日本の……。

A それは丁度この次ぐらゐに話さねばならぬことになるかと思つて、まだまだ早いよ。

(十二、十一、二十六。丸の内。『主婦の友』一三年一月號)

ソ聯脅威の時——絶對 彼れが任かけて來た時

相對 彼我の力と國際關係にかんがみて

國內財政策——持久策としては赤字借金に累積は出来るだけ避くべきも税源には限りあり、従つて、

- 1 金の産出奨勵
- 2 貿易統制と國產奨勵
- 3 金の循環
- 4 割増金制度の活用等が考へられる。

(十三年紀元節。『日本及日本人』)

## 南京陥落につづくもの

### 一 陥落につづくもの

B いよいよ南京も陥落しましたな。

A 十二月十七日南京入場式といふ場面が展開されたね。

B 僕等の仲間では、南京はなかなか落城するものでない、まあ上海を確保して、蘇州どころか、あの手前の崑山あたりで喰ひ止めるのだよと、言つてたよ。だから全く夢のやうな話だね。

A 君等ばかりでない、専門家の間にもさういふ話があつたね、全く夢のやうな話だよ。

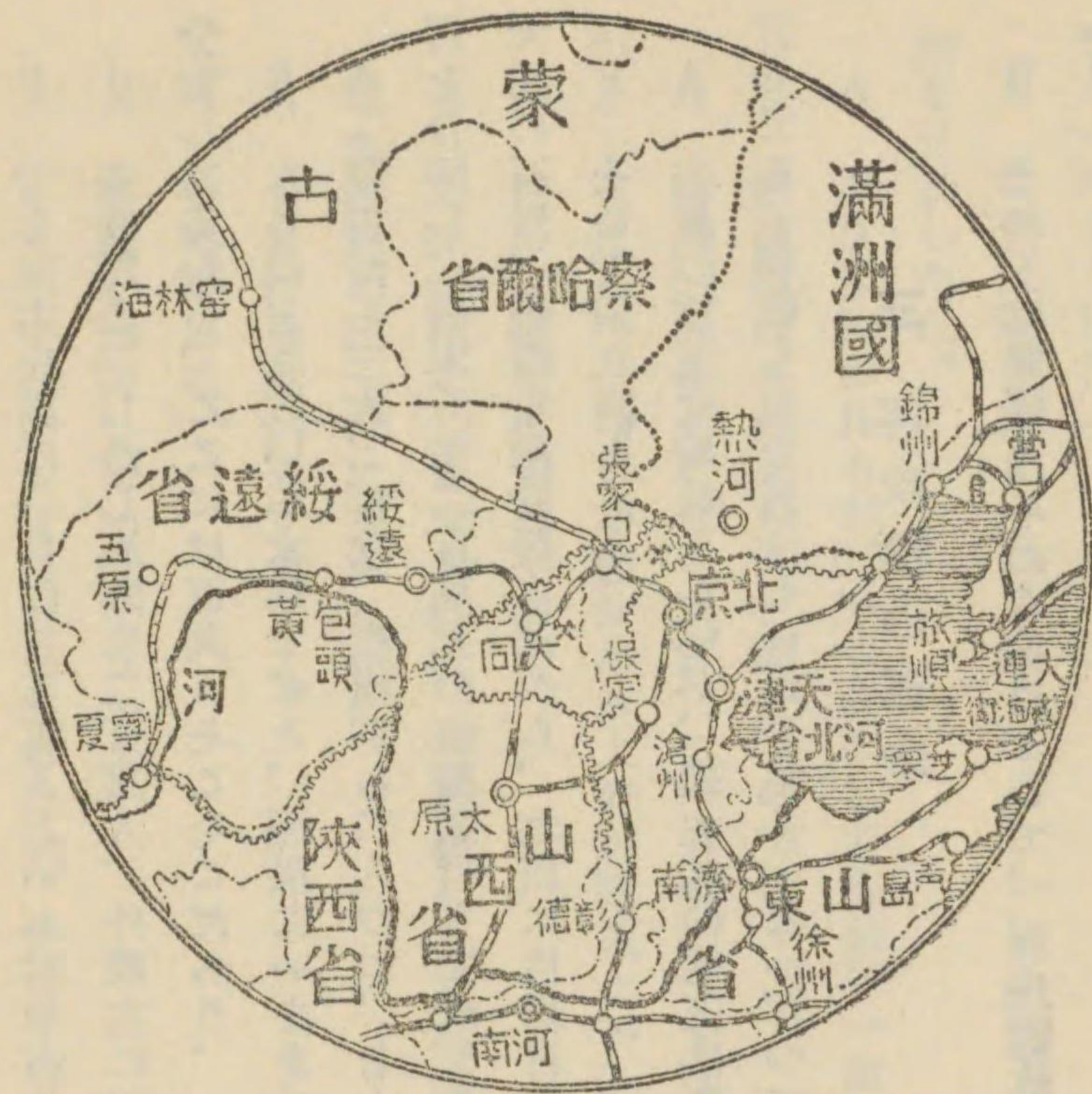
B そこで南京陥落につづくものはどうなりますか？

A 南京陥落が夢のやうな話だといふなら、これからどうなるか、一寸先は闇の世の中だよ、陥落につづくものもまた夢だよ。

B そりやさうだらうが、それにしても何とか見當はつけてゆかなくちや。

A それは勿論さ。先方の出やう一つだが、今我々のニュースとしては、蔣介石は引き下つて、





A それちや先づ地圖を擴げて見給へ。滿洲國の興安南省に西省、それから熱河省とに境した、西部一帶長城以北の地が察哈爾省。それからそのまた西が綏遠省で、これは全部ではない、鐵道の終點包頭の西方五原あたりには例の馬占山が陣取つてる。この二省の南に境する萬里の長城は二重になつてる。この外輪の城と内輪の長城との中にはさまつてる山西省の北部、大同を中心としたところが晉北。この察南十縣、晉北十三縣、蒙古聯盟各旗合作で、そこへ人口はざつと七百萬人、漢人が大部で蒙古人は一割くらゐだらうかな。

かい？  
B 知らんがな、序でにあら筋を聞かしてほしいな。

長期持久戦にとりかかるといふこと、北支では中華民國政府が樹立されたといふことだね。  
B 民國政府ができてみると、蒋介石と手を握ることはもう見込薄ですな。  
A 君も一寸話せるね。片手で民國政府を作り上げるは、片手で日本政府は蒋介石と手を握るは、サア君達はもう引き下り給へ、はらひ給へ、清め給へでは、北支の新政政府の連中はやり切れない、何よりも日本の信義がすたるといふものだからね。  
B だから僕は、あなたの支那分立論がもしろいと思つてましたよ。  
A あの大きな廣々した支那、あの四億の民衆をかかへた支那を、一つにまとめてゆくといふことはなかなか難かしい。順々に片づける、ラチをつけてゆくといふのが一策であり、支那としてもその方がよいとも思ふが、そこには一利一害で必ずしも理窟通りにもできないだらう。そこへまた蒙疆といふ新政権もできてゐるからな。

二 蒙疆政權の全貌

B 蒙疆政權は、あれは獨立國ですか？  
A 副主席の徳王などは、早く獨立國にしてくれと言つてるな。  
B してやつたらどうです？  
A さう簡單にはいかないよ。一體君は蒙疆政府の繩張りなり民族の色別けなりが分つてるの



B でも蒙古民族は一口に五百萬人といふぢやありませんか。  
A さうだよ。しかし滿洲に二百萬人、外蒙古に百萬人、冀察、寧夏、青海などに百萬人と、分散してゐるから、ここには百萬人そこそこだらう。

B なるほどさういふ次第ですと、簡単にいきませんな。

A 蒙古から三人、晉北、察南から二人づつ、七人の總務委員制になつてゐる。在來の三つの銀行を合同し、資本一千二百萬元の蒙疆銀行もできてゐる、一千萬元の紙幣が流通してゐる。龍煙の鐵、大同の石炭、資源も相當豊富だから、立派に自給自立してゆけるだらう。

B そこで獨立國と……。

A 主席の雲王は病氣らしいが、副主席の徳王は蒙古民族を打つて一丸とし、獨立國を作ると言つてゐる。年號も成吉思汗七百三十年？ とか言つてゐるさうだ。

### 三 蔣政權の運命

B それでは蒙疆はそのくらゐとして、新民國政權と蔣政權の割り振りは、どうなるのですか？

A まあ少なくとも津浦線……あの天津と、南京の對岸浦口を結びつけてゐる津浦沿線は、ぶつ通して我が兵力のもとにおかないといかんだらう。

B 濟南から隴海線へ南下するのですな？

A さうだよ、大分日和見をしてゐたやうだがとうとう青島の我が紡績九工場は全部焼拂つてしまつたらしいな。

B 山東は韓復榘と一脈相通じてるとかいふので手をゆるめてゐたらしいが、これぢや全く馬鹿を見ましたな。

A さうも見られるが、いづれにしても皇軍一度動けば草木みななびくよ。

B 津浦線はそれとして、蔣介石の方は？

A 南昌へ引き下るといふが、この方は恐らく持ち切れまい、更に西の方、粵漢線の長沙まで引き下るだらう。南京が長沙なら上海が廣東といふことになるな。

B そこで廣東占領ですか？

A 相手が楯をついてくれば、息の根を止めねばならない。それには廣東を片づけなければ、軍事行動の仕上げにならないな。

B 入口に香港がありますよ。

A 香港がある。

B 英國と衝突しないでせうか？

A そりやするともせぬとも分らない。先方からしかけられたら、黙つてゐないことだけは確



かだらうな。

B あつさりしてますな。

A 外に手がないぢやないか。

B そこで蔣介石が重慶か成都へ引つ越したら……。

A これもなんともいへない。この原稿が印刷される時分には、もう四川の奥へ引上げて遠吠えすることになるかも知れないな。

B さうなると……。

A 英國との手が次第に薄らいで、共産軍の手が次第に強く結ばれる。結局ソ聯邦に引きずり廻されることにならう。

B やり切れませんな。

A やり切れないのは日本だけではない、支那四億の民衆が可哀さうだよ。

B どうします？

#### 四 經濟工作と文化工作

A いろいろと工夫もあらう。手荒いところでは、どうせ南も南だが、北の方ではソ聯と日本とは赤の一点で全然兩立しないから、ハッキリと兵火相交へるといふことも考へられる。

B 今ですか？

A 今かいつか分らない。とにかくそれくらゐの覺悟は、とうの昔から持つてゐるべきで、今度の支那事變も、見方によればその序幕にすぎないよ。

B 強氣ですな。

A 強いも弱いもない、自然の成り行きを話すまでだよ。

B それから内科で手荒くない方では？

A 蒙疆新政權及び北支へできた中華民國新政權下の民族と我等との理解を進めることだな。

B それはどうしてやります？

A 一面に經濟工作で資源の開發、産業の興隆により、また教育、衛生などの施設により、心身共に安居樂業のできるやうにするのだな。

B さしあたり占領地の窮民救済などは？

A それも大事だね、更に大事なことは文化の提携だね。近頃大東文化協會や斯文會などが文敎使節を送つたり、外務省の對支文化事業調査部あたりでも何かやつてるだらうと思ふが、いづれにしても天津の大學が破壊されたが、あとはどうする、北京には閉鎖同様の國立大學である、清華、師範、北平、北京等、及び十指にあまる私立大學はどうする、先生なり學生なり、更に抗日敎科書なりを……。



B 先生や學生は残つてますか？

A 南方へ遁げたのもある、残つてるものもある。ひとり學校だけでない、美術、圖書、音樂、映畫、劇などについてもいろいろ考へられる。

B なるほどね、こりや大變だ。

A とにかく日支の新人同志の俱樂部とか學會とか聯盟とか、さうしたものが活動しなくてはいけないね。

B 何としても彼をしてよく我を知らしめなくちや……。

A 今北支では『友邦軍民接待須知』といふパンフレットを出して日本を知らしめてるが、彼をして我を知らしむると同時に、我もまた彼を知らなくてはならない。

B それもさうですな。

A 日本から海外へ旅をする連中は、とかくお隣りの支那は素通りして歐米へ見物に行く、留學に行く。

B 全くだ……どうかと思ふね。

### 五 同種同文の支那語

A お隣りの語は同種同文とかいひながら、一向に知らぬ存ぜぬで通してゐる。佛語、獨語とな

るとインテリ仲間へはかなり行き互つてる、英語となると學校で猫も杓子もお稽古はしてる、存外實地のおヤクには足らないがね……。

B といふと？

A だつて中學、専門學校、大學と随分長い間英語の稽古はつづけてるが、日常の挨拶もロクにはできないぢやないか。

B それもさうだね！

A だからこの際思ひ切つて英語の時間を切りすて、支那語の時間に……。

B 賛成！ もうどこかやつてますか？

A この間中國から九州への旅行中、新聞で見たが、山口縣の縣會から縣下の中等學校で支那語を教へよとの要望があつた。縣の教授課程では商業學校では外國語、中學校では英語を教授することになつてゐる。

B それで、やることになつたのですか？

A 現に下關商業、同商工、萩商業、柳井商業及び萩の中學校では、隨意科または正科としてやつてるが、更に課程を改正するなり、教員を常置するため考慮中だとあつたな。

B この前、薩摩の果ての何とか學校では支那語も教へてる、毎年四五十人の卒業生は滿洲へ出かけるといふ話がありましたね。



A 穎娃の國民學校のことだよ。

B とにかく、お互ひに理解を進めるには語が通じなくてはね。そして事件が治まる、抗日も止めにならぬと……。

A 當方でも侮支を止めてね。

B 侮支？

A チャンコロあつかひはよくないね。

## 六 五族共和？ 七族共和？

B さうですよ……それから坊さんの方は？

A それも大事だが、日本のお寺はお布施を貰ふことになつて、またどうも外國語をやらうとしない。この際進んで支那語を稽古する、救済もする、さうして支那人を濟度しなければ。

B 天理教の方はどうです？

A 丹波市の天理教本部には、外國語學校がある、海外到るところへ、その土地の語を習熟してから出かける、教化にかかつてるな。

B 支那へも？

A 滿洲には天理教の移民村もできてるが、支那でも北京では佐藤軍記とかいふ人たちが、十

年前から病院の表に立ちて患者を口説くといふ根氣のよいやり口で、三百人の信者ができたといつてゐるね。

B その呼吸、その熱ですな。しかし、何よりその支那語に習熟するのが大變ですな。

A しかも支那語ばかりでないからね……。

B まだある？ さうさう蒙古語！

A 今度の北支に生れた中華民國新政府の國旗を知つてゐるかい？ 五段に染め分けて、赤黄青白黒となつてゐる。一九一二年清朝亡び、中華民國となりしとき制定され、蔣介石の南京政府となつて止められた、あの五色旗だよ。

B どういふのですか。

A 赤は漢族、黄は滿洲族、青は蒙古族、白は回教徒、黒は西藏族と、五族共和を表象してゐるね。

B 新疆からあの遠い遠い西藏まで……。

A 五族共和には回教徒と西藏を除いて、日本人と朝鮮としてもよい。そのままにして九族共和にしてもよい。いづれにしても丈夫その志や大なるべしだよ。今や支那の文化から仕上げた日本から、文化を以て支那へ禮がへしをするのだよ。

B イヤ全く……。



A 命は絶つべし、その志や奪ふべからず。  
B 難かしいことを言ひ出したな。  
A 東亞民族の心を結び合ふ、この仕上げこそ鈍と根でねばりぬかなくてはならない。これが我等民族の尊い使命だからね。

(十二、十二、二十二。調布。『主婦の友』二月號)

折にふれて

己おのが首に 白刃ふるるも 知らなくに

指先のとげに 心とられをり

非常時の 經綸はあらず つぎはぎの

その日しのぎに 一と日一と日を送る

## 新增税と國民の負擔

### 一年收千圓の人と金

B 三億増税といふ聲が高くなりましたな、驚くぢやありませんか。

A 軍事公債が三十億を突破し、十三年度の支那事變費としてこの議會に要求さるるもの五十億にもならうといふ今日此の頃、三億の増税くらゐに驚いてどうするのだい！

B さういへばさうかも知れないが、物價は高くなる、税はかなり重くなつてゐる、その上にまた輪をかけられちや……。

A そりや、嬉しくはないさね。

B もう馬場財政の時から慣れつこぢやないかといふのでせう？

A お手の筋だね。

B 先づ我黨の士は、所得税の免稅點千二百圓が千圓に引下げになつたのが、何よりもこたへるね。



A そりや嬉しくないだらうよ。

B 嬉しくないどころか、大困りですよ。

A 必ずしもさうでもないな！

B どうして？

A 僕はかつて、「租税の負擔の轉嫁と解消」といふ、やかましい題目の下で話したことがね……。

B とことん忘れてるがな。

A それぢや一寸くりかへしてみよう……今日日本の人口は老若男女こぞりて七千萬人を超えてるが、その中で所得税を納めてるもの、つまり年收千二百圓以上の者は何人あると思ふ？

B 知らんがな……。

A 先づ百萬人イヤモウ百五十萬人くらゐになつたかね。

B 百萬人？ それで千圓以上になると？

A 何人ある？

B こつちが訊ねてるのやがな……。

A 御新規約五十萬人といふことになるね。

B さうですか……。

A そこで大藏省のお役人の曰くさ、

所得 千五百圓ノ場合

所得税 國稅八圓ニ附加稅ヲ加ヘテ十圓四十錢

勤勞所得 二割引 所得ヨリ三百圓減

子供一人につき百圓、二人あれば二百圓減、差引千圓になるとね。

B それでも、今度は千圓だと税はかかるがな……。

A ところへ簡易保險に二圓でも三圓でも掛金してるなら、それだけ引けるから、千五百圓の年收の人でも免税になるのだとさ。

B 旨いこと言ひよる……。

## 二 三井、三菱とロックフェラー

A そこで僕の曰くさ、まあ假りにいろいろ差引いても、なほ千圓を割らないとして、それが千二百圓以下ならば、今度は百分の一の税がかかるから十二圓になる。

B 然り君よ……。

A 一年十二圓乃ち月額一圓だが、金額としては必ずしもさうゴテルほどのものがない。しかも納税額少なくて、なほ政府でも手數がかかる、正味の純收は少ないからね。



B 簡単に片付けるね……。

A さうやがな。五十萬人束たばになつても、一人一年の平均納税額十圓と見て、五十萬人でたつた五百萬圓にしかならん……。

B たつた五百萬圓にしか？

A 所得税は超過累進税といつて、今度の改正案では、最低年收千圓以下には、税率は百分の一だが、それから上は所得額の段階を超過した部分につき、順々に税率が百分の二コンマの五、それから四、それから五コンマの五といふ風にだんだんに上り、一萬圓以上の分は百分の十三、十萬圓以上の分になると百分の三十一、百萬圓となるとそれからの超過部分だけに、なんと百分の五十、丁度半分は税にとられる……。

B それはいささかこたへる……。

A だから三井、岩崎、住友などいふところは、分家になつたり、それぞれ分れてゐるところもあるが、まあ五百萬圓の年收所得とすると、百萬圓を超過した四百萬圓の分だけにしても、一口で二百萬圓の税がかかる。

B ヤレヤレ。

A 金持は金持で、またお灸は相當に大きいだらう。

B 大きい……。

A 金持はイヤになつたか。

B 半分とられてもよい、わしや一月でもよい、そんな金持になつてみたい。

A おれもなつてみたい。そんな金持がせめて四五百人あつても、日本の財政は大分助かるが、どうしてまだ數へるほどしかない。アメリカなどと比べたらまだまだお話にならない。

B アメリカでは？

A 丁度日本と比べて頭株のところで一桁違ふな……。

B 一桁？

A 此の間九十八歳で亡くなつたロックフェラー翁は、生前既に二十億近い寄附金を、アメリカは愚か世界中へバラまいたが、それでまだ第二世に引きついだ遺産が換算して約四十億圓。一寸日本一の金持の十倍になるな。

B 僕にその四十億の、十分一の四億圓の、そのまた十分一の四千萬圓の、そのまた十分の一の四百萬圓の……。

A ナニ言つてるのや？

B ホシイといふのだが、それにしても億となると一寸見當がつかないね。

A つかないよ。まあ君等のやうな月收百圓の先生が、食はず飲まず百圓をソツクリ使はずにため込むとして、利息を勘定に入れないと、四十億圓になるまでには三百三十三萬年かかるよ。



B 三百三十三萬年！

A だから、ロックフェラー翁あたりになると思ひ切つて、長い浮世に短い命だ、まあ遠慮なく自由に飲むし食ふし、氣樂に一生すごし給へ清め給へ。それにアメリカでは、最高の稅率も百分の七十五まで上つてゐるから……。

B 百分の七十五？

A フランスなどでは、四十萬フラン以上の超過所得には百分の八十八、それから五十五萬フラン以上の超過所得となると全額だよ！

B 全額！

A 上見てキリなし下見てキリなしかね。

### 三 直接税と間接税の利害

B もうそんな話は、夢に見て豚にへソでも舐めてもらふことにしよう。ところで話は、どこかへ飛んでしまつた。

A 小さい者は束になつてかかつて、比喩ものにならないといふことから、脱線したのだよ。それで小額の納税でも、直接税だから一々調べ上げるのが手数であり、そのうへ年四期に分けて一々取り立てにかかる。納める者も辛くもありうるさくもあらうが、取立てる方も金高は少ない

が手数はかかる。これが直接税の弱點で、そこは間接税だと甚だ始末はよいのだが……。

B 勝手なことばかり言ひさらしよるな。その間接税といふのは？

A 今度の増税には、二割五分の増徴を目的とする所得税、稅率千分の一からコンマ五上げる法人資本税、法人三割、個人二割の臨時利得税の三直接税、外に、間接税には、現行十種目を五九種目に増したる物品特別税、短期四割八分、長期三割五分の増徴を行ふ取引所取引税、一ガロン十五錢に引上げるガソリン税、最高一割の増徴を行ふ砂糖消費税、一石四十五圓を五十圓に引上げる酒税などがある。

B 何で酒や砂糖が間接税といふのや……。

A 砂糖を舐め酒を飲む人から一々税を取る代りに、製糖業者製酒業者から前以てまとめて取立てる、業者は代納した稅額を賣品の値段へつけがける、だから納税すべきお客には間接になるのだ……。

B そりや、まとめて業者から取立てるとすると、取立てる方も納める方もらくだね。

A 名古屋の新聞に見えてゐたが、名古屋の稅務監督局管内では、現在の所得稅納稅者は十五萬一千人その稅額は二千三百萬圓、この免稅點を二百圓下げて千圓とすると一萬人くらゐ増す——八百圓となると五六萬人くらゐ増しになるさうだが——かりに一人平均十圓の納稅として十萬圓にしかならない。しかもこの手数は大變で、手取りの歩合が少ない。ところが同じ管内の酒



造高は約六十萬石で税金が約三千萬圓になる。此の度一石四十五圓の税が五十圓となり、つまり五圓増しになる、數の少ない酒造家の中から、三百萬圓の金は手輕に取れるとあつたな。

B もう分つたよ。それほど面倒がつてまで、わざわざ我等年收千圓組から取立てるには及ばないぢやないか。

A さうだよ。同じことでも間接税だと感じが間接になるから和かだ。どうも直接税は納税の令狀がくる、わざわざ納めに出かけなくてはならない、氣分の上から好ましくないね。

B だからよせばいいぢやないか。

#### 四 免稅點引下げ可なり

A 間接税の方は便利だけに、もうかなり今まで重くなつてゐる。その上に振り合といふことがある。免稅點引下げは馬場財政の時も書き出した、結城財政で引つこめたが、今度だつて前に話したやうな數々の増税がある。それへまた新税に、最低二錢程度の通行税、價格一萬圓以上に一割の住宅新築税、最低二十錢程度より一割の入場料税、百本につき五厘のマッチ税などもできる。だから、年收千二百圓の免稅點も、せめて千圓くらゐに下げたとて……。

B だつて面倒臭いぢやないか……。

A 奉公の一端だよ、千二百圓以上の連中もそれぞれ税率は上るのだよ。非常時局の支那事變

にあたりては、いさぎよくな……。

A まあ早い話が煙草さ。煙草は一昨年暮に一齊に値上げで、朝日も敷島も一箱二錢上げ、御最良さまのバットも一錢上つたが。一日二箱のめばバットでも一年に七圓二十錢、朝日敷島なら十四圓四十錢になる。まして三箱ものめば懐勘定よりも何よりも健康によくない。此の際天の與へる機會なりと節煙なり禁酒にならば、それで納税額ぐらゐは埋め合せがつくといふものさ。おまけに無病息災長命とくりや、アラ目出度やな、ぢやないか……。

B なぞと旨いことゴマかすね……。

A ゴマかすのぢやないよ、まあ物のリクツがさうぢやないか。まして今や時局ますます重大である、零下何度といふ戦地に出征して忠勇なる軍人のことを思へば……。

B もう分つてるよ、分つてるよ……。

A それから、まだ念を押しとくがね。かりにかうした租税によることを止めても、それだけ戦費が少なくなるわけぢやなし、また使ふ戦費は國內へぐるぐる廻つてくる。しかもいつも公債の方へばかりおつかぶさると、公債には利子といふものがつく。ためにあまり増してくると、公債の消化が困難となり、値下りになる。これが悪性インフレのもとになる。さうでなくとも、物價は次第に上つてくる、それもこれも仕方がないが、かりに悪性インフレで物價が倍だけ高くなつたとしたらどうだ。戦争に入用で求める品物とても半分しか手に入らぬことになる。年收千圓



といつても、金の値が今までの五百圓しか値打がなくなる。さうしたことを思へば、我々は物價の騰貴を防ぐためから見ても、また我々分に應じた奉公の氣持からいつても、此の際免稅點の引下げは辛抱すべし。自分の身の廻りや家庭をシサイに見たならば、かかる折に節約してよいふしは、必ずや少くないと思ふね。

B さういへばそれもさうさな……。

A それも此の時局中にかぎるわけではない、むしろ戦が濟んでから後にあるのだよ。

(十三、一、二十七。朝風莊。『主婦の友』三月號)

折にふれて

人見えぬ 荒野はるばると はてなきも

わが日本人は 入れずといふなり

滿洲の 寒さ日本人に 堪へ得じか

そのはるか 北のシベリアに町あり

## 歐洲外交の大轉換

(イーデン外相の辭職)

### 一 バランス・オブ・パワー

B 英國のイーデン外相の辭職は日英間の空氣を和らげ、支那事變に一脈の光明を投げるものであるといふ事ですが、これは是非精しいところを説明してほしいもので……。

A 僕も大いに話したい。しかしこれからの見透しは何分口にしろ、分らないといふのも事實だが、又いうてよい事もあり悪い事もあり、今からさう底を割りたくないといふ……。

B いやさう勿體をつけて、なにも國際外交の前途を占つてくれといふのではない、又さうした話をあなたから聞いたとて、別に本氣にしようとも思はない。

A これはきびしい……。

B まあ何よりイーデン外相辭職の真相を、分りやすくかいつまんで話してください。

A それでは辭職するに至りし原因を話すことにしようが、イーデン外相の辭職は二月の二十



日で、この日は又、ドイツでヒットラー總統が、國會の壇上に立ち、獅子吼して、滿洲國承認を言明した同じ日だよ。

B さうさうその方の話も序でに聞かしてほしいね。

A 精しい事は別に話すとして、それもこれも皆つながりあつてゐるから、先づイーデン外相の辭職の遠因對ドイツ問題と、近因對イタリー問題について話して見よう。

B 支那問題には關係なしですか。

A おのづから關係する事になるよ。

B それでは先づその對ドイツ問題といふのは？

A 先づ英國はウント持ちすぎてる國であり、世界中に領土があり利害關係がきはめて複雑である。そこで現状維持といふ建前から、勢力均衡バランス・オブ・パワーを國是としてゐる。つまりあまり大きく出すぎる國があれば頭をたたき、それぞれ釣合をとつてゆく。だから歐洲大戰にはドイツを勝たしては強くなりすぎるのでフランス側に味方する。戦がすむ、あまりフランスが強くなる、旨い汁を吸ひすぎる。それへドイツがいぢめられすぎる。今度は政治的に經濟的にドイツ側をたすける、というて現状維持派のフランスとは手を握つてゆく。

B まあうまい事列國をあやどつてゆくのだね。

## 二 英國に於ける親獨の空氣

A そこへイギリスには歴史的に皇室をはじめ貴族富豪華族、それから保守黨側などに親獨派が多い。チェンバレン首相などもその一人である。そこへドイツがだんだん強くなる、イタリーと手を組む、日本とまで手を組む、次第に鼻息が荒くなる。さうなると英獨間の感情悪化は感心しない。又イタリーに對する工作の上からいつても、英國が横合からドイツと親善關係にありたい。さうした心持ちから昨年十一月ハリファックス樞相をベルリンへ特派した。

B さうでしたな……今度イーデン外相の後任になつたのもハリファックスでしたな。

A 中々ねれた人だね。もう六十近い年輩だが、一九三三年以來オクスフォード大學の名譽總長をつとめてゐる温厚の長者である。文相、農相、インド總督、陸相、國璽尙書、樞相、保守黨の院内總務など歴任してゐる。そのハリファックス樞相をドイツに特派してヒットラー總統と會見せしめたが、これがイーデン外相に相談なしで首相の獨斷であつたといふから、その時イーデン外相辭職のうはさが立つてゐたね。

B なるほど一寸裏切られた形ちですな。

A なぜ獨斷でやつたかといへば、つまり首相と外相との政策の方針に喰ひちがひがある。といふのはイーデン外相は千九百三十五年年齢三十九歳で外相となつた新銳の少壯政治家で、ソ聯



邦の外務委員長リトヴィノフなどと親交があり、國際聯盟維持に最も熱心な平和主義者理想主義者であるから、現實主義打算主義を傳統とする保守黨の政策とは根本に於て相反してゐる。それが勢ひイーデン外相を袖にしたハリファックス卿のドイツ訪問となる、とうとう此の度の對イタリア問題でいよいよ爆發したのだね。

### 三 イーデン外相の辭職演説

B 對イタリア問題の衝突といふのは？

A 英伊間の親善強化をいそぐ首相は、イタリアの希望を原則的に認めてから正式會談をはじめ、それから協議の細目にはいらうといふ。イーデン外相はイタリア義勇軍のスペイン撤退問題解決を先決條件とする。この點のくひちがひについては辭職の翌二十一日の下院では、イーデン前外相は壇上に立ちて辭職の經過を説明してゐるね。

B 日本ではあまり聞かぬ事ですか？

A あまりにも何にもためしはないね。イーデンは辭職の翌日議場にてその經過をはなす、次で首相は又所信を披瀝する、とにかくこのへんはハッキリしてゐるね。

B イーデンはイタリア問題につき話したのですか？

A そればかりでないよ、われわれにも心得事だから、その演説の概要を御披露しよう……か

う……つてゐるね。

「強い政治的確信が他の凡ゆる考慮を凌駕せねばならぬ場合がある。我々の究極の目的は平和の維持にあつたし、又將來もかくあらねばならぬ。しかし恆久的な平和は率直な互恵と相互尊敬の基礎の上に打ち建てられねばならぬ。余の辭職の原因となつたものは英伊會談を今直ちにローマで開催すべきか否かの問題であつた。余の確信によれば國際問題就中對英問題に對するイタリア政府の態度は今直ちに右の交渉開始を正當化する程には至つてゐない。交渉の基礎は少しも出來上つてゐなかつた。イタリア政府の反英宣傳は世界中にバラ撒かれてゐる。この敵意ある宣傳が停止されぬ限り對伊交渉を開始せぬとは、余自身議會に誓約した所である。ローマで會談を開始する前に先づスペイン問題の處理を進めることが必要である。英國は豫め何の用意もなく、而も成功を阻害する主なる障害が何であるかを充分知り乍ら、單に相手方がこの機會を逸しては絶対にチャンスがないと指摘しただけで、イタリアと無成算に交渉を開始してはならぬ。近來國際義務尊重の觀念は愈々稀薄となりつつあり、今こそ英國が毅然として起ち、聲高く反對の立場を闡明すべき秋である。余がチェンバレン首相と袂を別つに至つたのはイタリア問題だけの爲めではない。過去數週間にイタリアとは全然關係のない問題で外交政策に關する最も重大なる問題を決定するに際し、余とチェンバレン首相との間に根本的な意見の相違があつた。一般的な見透しのみならず、具體的實行方法に關して意見の相違があつた。政府



間の統一は出来る限り速かに再建せねばならぬ。最後に近頃政府部内には他國が我々と和解せんと欲する以上に、我々の方から進んで他國と手を握らんとする熱心が強過ぎる模様である。我々は絶えず働きかけて来る他國の壓力に對し絶対に屈すべきではない。」

B イーデンの演説のしまひ口のところは日本を指すのぢやないのですか？

#### 四 英新首相の外交演説

A さあどこを指すのか分らないが、その邊かも知れないな。そこで首相は立つて自己の立場につき次のやうに演説してゐる。

「イーデン前外相の辭職は他の閣僚にとつて全く意外で、誰も數日前迄は全然豫期しなかつた所である。國際平和を維持するには一般的原則を定めた丈では不充分である。若し我々が眞に平和を望むならばこの平和を脅威し過去何ヶ月かに互つて歐洲政局を緊張させてきた各種の原因を確め、出来れば之れを除去する爲め絶えざる努力を續けることが必要である。グランデ大使は過日イタリア政府は二月十日以降何時でも英國政府と交渉を開始する用意ある旨を傳達して來た。イタリア側の希望としては會談の範圍は出来るだけ廣汎なものとして、イタリアのエチオピア征服に對する正式承認の問題を含み、且つスペイン問題も亦除外しないで交渉したいとのことであつた。余は平素からエチオピアに於けるイタリアの地位はそれが一般的空氣緩

和の上に基本的な要素をなすことが明瞭になつた場合にのみ、初めて是認され得るものであるとの見解を持して來た。イーデン前外相はイタリア政府が英國政府に對し即時交渉開始を要求し、若し拒絶すれば今後交渉に應ぜぬ旨を傳達したといはれたが、かかる主張を是認すべきものはイタリア政府の傳達中には何處にも見當らない、イーデン氏と余との意見の相違は二月十八日以来初めて顯著となつたのであるが、余の意見ではイタリア政府の提言を一蹴する事は徒らにイタリアの反英感情をあふる結果となり、英伊兩國間に戰爭勃發が避け難くなるやうな事態に立ち至る懼れがある。余は本日グランデ大使に對し英國政府は即時伊太利政府と交渉を開始する用意ある旨通告し、併せて英國政府はスペイン問題の解決を含まぬ協定には同意し難い旨を傳達した。政府は如何なる協定と雖も聯盟に提示してその賛成を求める方針である。伊太利政府は既にスペイン撤退並に交戦權付與に對する方式を受諾した。余は茲に伊太利の過去の行動が余に取つて満足なものであつたと云はんとするものではない。余の關心は過去の問題ではなく將來に集中されて居る。若し英伊交渉が相互に信頼の精神を以て開始されるならば、成功の希望は多分にあると信じて疑はない。余の目指す所は全歐洲の緊張した空氣を緩和するにあり、永續的平和の基礎を確立するにある。」

大分長々しいものであるが、海外に於ける國務大臣振りや議會政治の一面を語るものとして參考にもならうから……。



B いやけつこうです……そこでイタリアとはどうしようといふので……。

### 五 英國の對伊政策

A イタリア駐在のバース大使は二十四日にローマからロンドンへかへる、新外相と打ち合せ  
てローマへ引きかへし、明二十八日から會談にうつるらしい。

B お互ひに近いから便利ですな。

A それだけにいざとなると危ないね。

B いかさま。

A その會談の要件は？

一、エチオピア併合正式承認

二、スペイン派遣義勇兵問題の解決によりスペイン兩政府を交戦團體と認めること

三、エチオピアに於ける政治經濟協定

四、スエズ運河會社定款改廢問題

五、地中海より紅海に至る沿岸諸國の平和保障問題

六、英伊經濟關係調整

七、聯盟改組

八、英佛獨伊四ヶ國協商の可能性

の八項目といふからかなり廣汎なものであるが、結局解決を見る見透しがあり、聯盟改組問題や四國協商問題も結局ローマ・ベルリン・東京樞軸の効果を認める基礎の上に成功する可能性ありとせられ、かくて英伊交渉開始を端緒として、ソヴェトの歐洲政局攪亂政策は敗退し、歐洲の危局は一應緩和される方向を辿るものと觀測されてる。

### 六 四國協商と佛國政府

B 四國協商といふのは？

A 英、佛、獨、伊の四ヶ國……。

B ドイツを眼の敵にしソ聯と同盟してるフランスが、ソ聯ぬきの四ヶ國協商に……。

A そこが外交の複雑性を示してるので、一方でイタリアなどはポーランドを四ヶ國會議に參加せしめたいといつてるね。それだけにソ聯はみな烟たがつてゐるのだな。

B それならばフランスは？

A だからフランスは大騒動だよ。もともと右と左に對立してるフランスであるが、左の方が優勢だからソ聯と同盟するまでになつてゐる。だから今度の英國の新外交方針には之れに追隨するか、それともソ聯との提携をつづけるべきかといふので、二十五日の朝から佛下院は四十八時



間に互つて討論してゐるね。

B 四十八時間！一體何人ほどシャベルので……。

A 左右兩派から六十二名が交互に登壇する。

B あとになると誰も聞き手が無くなるでせう。

A 日本の議會のやうに幹部や大頭オールドマンどころから先に順々にシャベルとすぐ飽かれて打ち切り討論終結となるだらうが、フランスでは先づ左右新進の前哨戦から始まつて次第に大物となり、眞打連はあくまで二十六日になる。それでは民主同盟の首領フランダンなどは、英首相の新方針により四國交渉を開始し、ソ聯とは絶縁せよといふ。一方では共産黨の領袖ペリなどは變節改論なりとし、ソ聯との提携を強化し、デモクラシーの爲めに國際聯盟を擁護し、スペイン（舊政府側）やチェッコスロヴァキアを見捨てるなといふ。

B どちらが勝つので……。

A ソ聯と絶縁とならば内閣はすぐ瓦解する、というて英國の新方針に反すれば英伊獨の間に孤立して行きづまる。

B 右にも左にも立つ瀬が無くなる。

A それでショータン首相は、英國との堅い提携を原則となし、フランスの外交的地位を覆へさぬことを條件として、獨伊との交渉には反對せぬ態度を示す。一方巨大なる陸軍と新たに強化

されるはずの空軍をもつてドイツに無言の威壓を加へ、ソ聯とは内政問題もあるので不即不離の態度を執り、英佛の協調をして事歐洲大陸に關してはフランスを主とし英國を従としようとするものといはれてゐるな。

B 何だかよく分らないが、苦しさをすね。

A フランスはどうしても苦しみ通すばかりだよ。

## 七 歐洲政局の見透し

B さうするとドイツとは？

A ドイツとはドイツの舊植民地返還を條件として會談をすすめる。その内容は矢張り中歐問題四國協定スペイン問題等らしい。新獨外相リッペントロップは英國の皇帝陛下へ御暇乞といふ形式で、前任地ロンドンへ行くといふニュースが傳へられてゐるな。

B そこで支那事變にはどうひびくのですか？

A 英首相就任當時抱いてゐた外交方針については、

一、米佛との可及的接近提携

二、過去二年間の英獨關係悪化を阻止するため、ドイツとの友誼的理解を確立すること

三、イタリアとの了解を深め地中海、アフリカ及び近東における英伊間の軋轢を緩和すること



と

四、西歐安全保障條約を締結して既に死滅化せるロカルノ條約に代らしめ歐洲の安定を圖ること

五、極東の事態を安定せしむるため日本と協定を結び英國の在支權益の安全保障を圖ることの五ヶ條であると傳へられる。

B さうすると日本には好意を持つてるので……。

A さうだよ。チェンバレン首相はかねてから日本とは協調を希望し、一九三四年バーンビー卿一行の對日親善使節派遣の時も、當時藏相として熱心に賛助した一人であるから、支那事變をめぐる今までの不成績にかんがみ、現實に即したるある程度の修正を加ふるであらうといふ事は、最近カー駐支大使の赴任によりても想像されるね。

B さうなると先づどういふ見透しになりますか？

A 四國條約のできるといふ事はその以外の國々の脅威であり不安である。ことにソ聯には大きな打撃であり、フランスも對外に對内に空氣は險惡を増すであらう。しかしとにかく歐洲の諸國が手を握り合ふといふのだから、二十一日の電報であるが、ロンドンのA・P支局は次の如く報じてるね。

一、一般的な戰爭論と激甚な再軍備競争に拘らず、第二の歐洲大戰は近い將來には起るまい。

488

489

一、英國は恐らくイタリーのエチオピア併合を承認しよう。

一、英國は右の代償として地中海に於ける確固たる主導的地位を回復し、イタリーはアラビア人煽動工作中止しよう。

一、英國は中歐政局に重大利害を有せず、ドイツが「西方への進出」を企圖せぬ限り、中歐に政治的、經濟的勢力を伸長することに反対せぬ。

一、フランスは財政難と勞働問題に鑑み英國の赴く所に追従しよう。

一、ドイツは獨逸接近によつて一應の満足は得たが、「國內消費」の見地から植民地問題の解決を依然要求して行くだらう。

## 八 支那事變はどうなる？

B なるほどそれで支那事變は？

A あまりに多く持ちすぎてる英國は、ドイツには植民地問題とかオーストリア等からんだドイツ民族の同化問題、又イタリーにはエチオピアの併合承認とか地中海問題などの手土産をはじめ、スペインのフランコ政權や滿洲國の承認などに及ぶであらう。又イタリーからは蔣政權援助を緩和するやう、英國へ註文するだらうなども傳へられてる。いづれにしても英國の對日對支政策には何等かの變化が見られさうだね。



B それは先づ何より結構ですな。

A 結構だよ。しかし外交といふものは数多い國々を相手にして一日一日と動いてゆく。現に歐洲大戰で互ひに兵火を交へた國々も、今は手をひるがへして互ひに協商せんとする。このほどまで國際聯盟の力をふりかざし、イタリーへ經濟封鎖を強行した英國も、今はエチオピアの併合を承認するばかりか、爲替信用保障局を通じてイタリーの爲めに五百萬ポンドのクレヂットを設定するとまでいはれ、南伊のバリ放送局も二十一日以來反英宣傳放送はパツタリ中止されて、アラビヤ歌手の音樂放送にかはつてゐる。

B なるほどね……。

A ドイツもイタリーも英佛ソ聯などへ對立する強化の一策として互ひに手を組んだ、すぐに日本も仲間へ引き入れた。

B そればかりでもないでせう！

A 無論だよ。主義主張に於て共鳴したのであるが、しかしそればかりでいかない事は現に今四國協約の聲のあがるのを見ても分る。恰かもソ聯あるための日獨提携あるは、その昔しロシアあるための日英同盟あつたのと同じ事だらうね。

B それはさうですね。

A 歐洲の情勢安定を得る、やがて世界平和確立の前ぶれになるとも解釋されるが、血は水よ

りも濃しといふ。歐洲でお互ひの間に安定を得る事が、必ず極東の日本へ都合よくなるのか、それとも却つてわるくなるのか、よしわるしだね。

B さういへばさうですね。

A 昔から昨日の敵は今日の味方、今日の味方は明日の敵といふ諺がある。なにも物好きにも列國を敵にまはす愚を學ぶべきではないが、敵と見て憎み恐るるにも當らぬと共に、味方と見て安心し切つてもならぬ。要は我等の日に進み月に進む自力更生である、彼を知り我を知る不斷の研究努力である。

折にふれて

日の本の 行くべき道は 廣かれど

あまりに廣み 見えわかず有らし



## 世界の地圖はどう變る？

(獨逸合併と之れにつづくもの)

### 一 ヒットラー總統のウイン入り

B 獨逸合併！ えらい事でしたな。

A 七百萬人に近い人口を包容し八萬三千平方キロメートルといふから、我が臺灣九州などにくらべて倍以上ある土地が、更に血ぬらずして一氣にドイツのふところへ飛び込んだのだから、天下これほどボロイ仕事は世界有史以來ちよつと無いだらうな。

B 日韓合併などあつたぢやありませんか？

A あれは日本が日露戦争に勝ち、各國の了解を得た後の話であり、これは歐洲戦争に大敗したドイツによりて仕上げられた不意打の藝當だから、一寸筋合が違つてゐるね。

B イヤ全く鮮かなもので、アツといふ間もなく、一氣に片づきましたね。

A 三月十三日、オーストリア政府は獨逸合併を中外に宣言する。同夜新首相ザイス・インク

アルトはラヂオで、オーストリアはドイツ共和國の一州なり、四月十日満二十歳以上の男女の秘密自由投票により、過半数を以て合邦の可否を決する旨の新憲法を公布したな。

B 國民投票は成功疑ひなしでせうね？

A 武力でぐつと抑へつけてるばかりでない、ヒットラー總統は當日既にオーストリアのリンツ市に乗り込んで。翌十四日獨逸都ウインに向ふ沿道百五十哩は歡呼の聲にあふれ、花束花輪に埋もれ、極度の熱狂のうちにホテル・イムペリアルに到着する。ホテルの廣場に集まる群衆は夕方から夜おそくまで歡呼叫喚の聲を絶たない、ヒットラーは六度までバルコニーに立ちて群衆に呼びかけたとあるね。

B オーストリアともあらう國が、どうしてさうまで熱狂してドイツへ降参したのでせう？

A 降参ぢやない、合邦だよ。

B でも總統は、オーストリアの國軍は余の指揮下におく、全將兵は直ちに余に對し最高指揮官として忠誠を誓ふべしといふので、オーストリアはドイツの一州になつたぢやありませんか。

A そりやさうさ。面積からいつても今はドイツの六分の一、人口からいつたら十分の一といふ落目のオーストリアだ。その上に血は水よりも濃しといふ事であり、このままではどうしても立ちゆかぬといふ事を國民あげてしみじみ知りぬいてゐるからな。



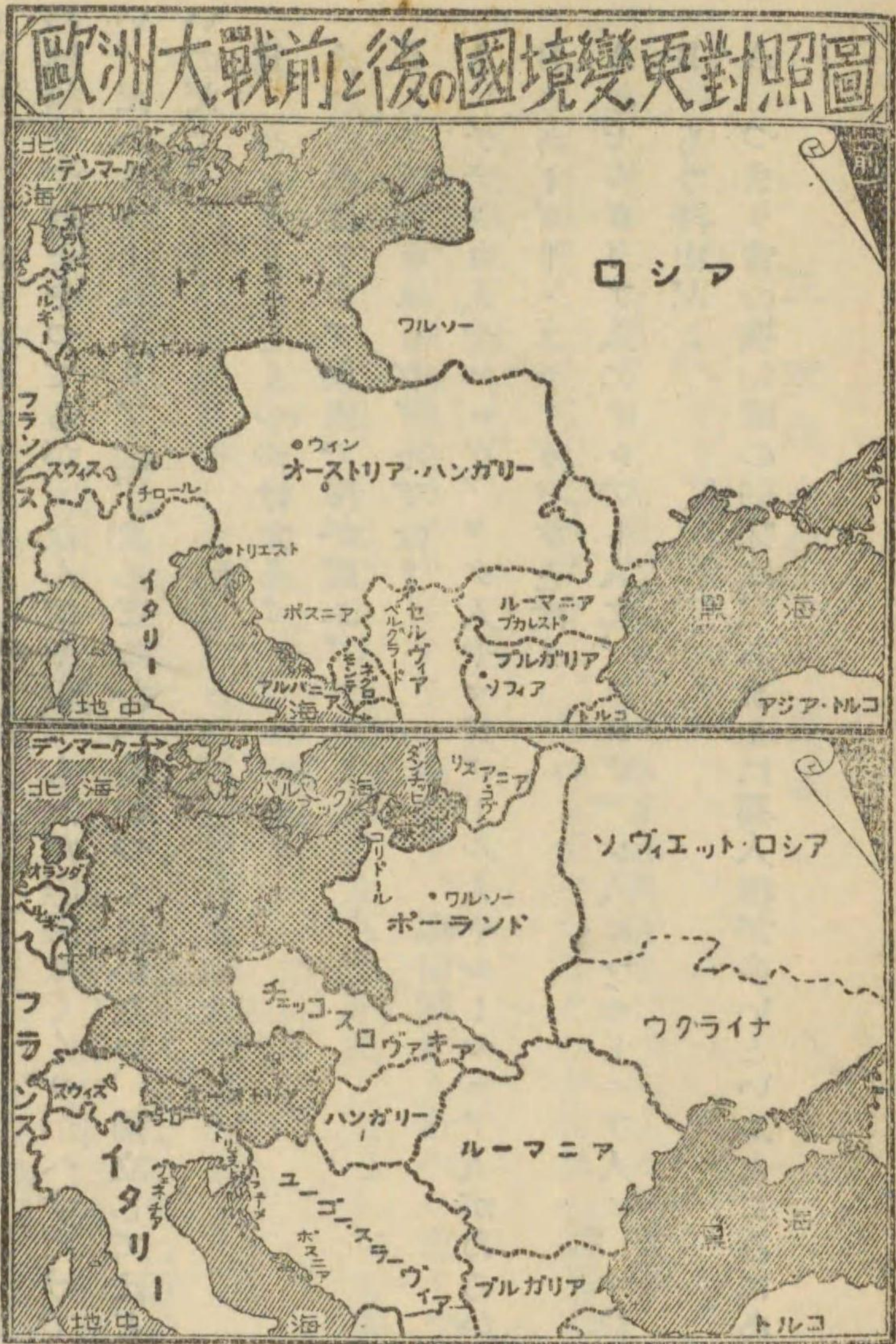
B といふと……。

## 二 オーストリアの今と昔

A オーストリアは昔はオーストロ・ハンガリー、俗に奥匈國といはれ、歐洲に覇を唱へた國であつた。昔の奥匈國は、面積に於て人口に於て今日の約九倍近くもあつたが、それが此の度ズタズタに切り刻まれた。

- 1 先づポーランドへうんと割きとられた。
- 2 資源に富む土地はチェッコ・スロヴァキアといふ獨立國となつた。
- 3 ハンガリーは獨立した(そのハンガリーも半ば以上はこれを割きとつてルーマニアとチェッコへつぎ足した)。
- 4 ボスニア方面の大きな地面はユーゴ・スラヴィアへ割きとられた。
- 5 トリエスト及びフューメ港の沿岸を含むヴェネチアの東北一帯はイタリアに割かれ、海への出口は塞がれた。
- 6 スピス寄りのチロールの一帯もイタリアに割きとられた。

まあよく地圖と引きくらべてください、一目見てもそのみじめさがわかる。人口五千萬を包容した大帝國が六百餘萬人の小國となり、その中に二百萬人を包容するウイン市がある。頭も手も



かといふと、それは微力な今日のオーストリアには及びもつかない。だからどうしても血は水よりも濃いといふ事になる。

足も皆なもぎとられて、ただ胴體ばかりになつて。生産地帯は無くなつて、大消費地のウキンだけが残されてる。これではオーストリアは立つ瀬がない。

B 全くですな

……。

A そこで、もとの割きとられた土地を取り戻せる



B といふと……。

A もともとオーストリアをあまりひどく痛めつけすぎてる。英佛などはオーストリアをこのまま育ててゆかねばならないから、フランスその他現状維持國は金を貸したり、いろいろと榮養の補給や注射をやつてるが、なんぼやつてもただ際限なくくりかへすだけで、金輪際浮ぶ瀬がない。だからオーストリアは、まあどこかへくつつくほかない、獨立してはどうにも世帯が持てないのだよ。

- B ハンガリーをくつつけたら？
- A あれはアジア民族で種が違ふ。
- B チェッコスロヴァキアは？
- A チェッコ人やスロヴァック人やマジャール人やルーマニア人がゐるから……。
- B ユーゴー・スラヴィアとは？
- A セルヴィア人にクロアト人に、スロヴェン人にマセドニア人に、マジャール人に……。
- B もう澤山だよ。
- A つまり昔の奥匈國の弱味は、あまりに異人種が多いといふところにあつたね。

### 三 獨奥合併への道筋

- B それでオーストリア人は？
- A 殆んど全部ドイツ人種だから、人種言語風俗を一つにするドイツ、それも弱ければ相手にならないが強くなつて來てるだけに、それと手をつなぐのが自然の道筋だね。
- B なるほどね……。
- A つまり歐洲大戰後のヴェルサイユ條約で、奥匈國を九分の一近く切りちぢめて、ドイツ人だけのかたまりにした。それでは獨立國として立ちゆかぬ、どうしても同じドイツ人同志手を握れ、といはんばかりのやり口になつたのだね。
- B そのくらゐの見透しを誰も知らないはずはないのですがね。
- A その境遇の中にあるものはどうしてもわからない。僕は極東の遊子として大正十一年歐洲を旅し、歸來筆にした『歐米より故國へ』なる著書に、第百十三節「團體ばかりの國」と題して、チャンとオーストリアのこのままで立ちゆかぬことをハッキリ豫言してある。
- B エライ！
- A まぜかへしてはいけない……だから大戰後いくばくもなく、ドイツ、オーストリアはせめて關稅同盟をしようとしたが、その時は國際聯盟の方で、條約違反である、獨奥合併となる嫌ひ



ありといふので否認してしまつた。

B そんな事もありましたね。

A そこでドイツのナチスに相應じて、オーストリアのナチスが活動しはじめた。一時オーストリアのナチスがぐつと伸びかけたが、時のドルフス首相はこれを抑へつける、それからドルフス首相は殺される。

B そんな事もありましたね。

A 今度シュニツク前首相が、だんだんドイツの力に押されてくるから、もうこのままではオーストリアの獨立は危い。そこで一つ満二十五歳以上の人たちに、オーストリアの獨立を欲するや否やといふ國民投票に訴へて、ここで一つ立て直しにかからうとする。

B そんな事もありましたね。

A 満二十五歳となると、ナチスは二十五歳以下の若い者に多い。ここでそんな事をやるとは、シュニツクと會見した打合せを裏切るものだと、ヒットラーは今イタリーとも握手してゐるから安心して軍隊をオーストリアへさし向ける。……尤もこの前の時は、イタリーが反對して動員までしたので、一時オーストリアのナチスは手を引いた……。

B そんな事もありましたね。

A よくあとへついでくるね

四 アイン・フォルク、アイン・ライヒ、アイン・フューラー

B だつて事實のままを報告されると、そんな事はありませんでしたね、ともいへなからうぢやねえか。

A えらく巻き舌になつて來たね。まあさうしたいきさつで、今度は「アイン・フォルク、アイン・ライヒ、アイン・フューラー」といふ呼び聲で國民投票に向ふことになる。

B そりや何の事かね。

A 一つの民族、一つの國、一つの指揮者といふことだね。

B なるほど、そりやうまいスローガンだ。

A 一つの民族だから異民族はとりのけ、特にユダヤ人は排斥する、そして我々ドイツ人は集まらう、手を握らうといふのだよ。既にヒットラーその人は、オーストリアの小邑ブラウナウの出生だからね。

B そのドイツ人といふのはどのくらゐです？

A 先づ、

オーストリアに

六百五十萬人

チェッコ・スロヴァキアに

三百萬人



スイスに	二百八十萬人
フランスに	百八十萬人
ポーランドに	百三十五萬人
ルーマニアに	八十萬人
ユーゴ・スラヴィアに	七十萬人
ハンガリーに	六十萬人
ダンチツヒ市に	三十五萬人
イタリーに	三十萬人
ルクサムブルグに	二十五萬人
ベルギーに	十五萬人
リシアニアに	十三萬人
その他	百二十萬人

總計約二千萬人のドイツ人がドイツの周圍を取り巻いてる。尤も見方によると、その大部はドイツから割きとられたといつてもよい。

B さうなるとこのままに済まされませぬな。

## 五 獨逸合併につづくもの

A 何よりも問題になるのはポーランドとチェッコ・スロヴァキアだね。殊にチェッコは地圖で見ても、オーストリアもドイツに合併されてみると、チェッコはまるで半島のやうにドイツの腹中へ首を突っ込んでゐる。そこへ千五百万人の人口中三百萬人のドイツ人がチェッコの中にゐるのだから、そりやとても大變だよ。

B 全くチェッコは緊張し恐縮してでせうね。

A ドイツの國防上、また經濟的に見ても人種の上から見ても、このままには済まされぬ。その上ドイツの東方への進出……ロシアのウクライナへ向けて着眼してるといはれてゐるから、對ソ關係からもそのままに済まない。なほポーランドには百五十萬人近いドイツ人がゐる。そこへドイツと東プロシアの中を、コリドール即ち廊下といはれる土地が、ドイツを中斷して長く帯の如くにバルチック海へ進出してる。これも全く不自然極まるものだよ。

B 此の間たしかポーランドはリシアニア國境へ動員したとかいふ……。

A その事も話したい。それから、チェッコ内のドイツ人の結黨になるヘンライン黨、更にチェッコに對する英佛諸國の關心の事情など、話せば際限もないから、この邊で一旦打ち切つておかう。ただ英首相の、



今回の獨逸合併は明らかに歐洲の平和に大打撃を與へたものであり、まことに遺憾に堪へない。わが英國をはじめ歐洲の諸國が、武力に訴へる用意が無かつたため如何ともしがたい。

従つて今は過去は過去として、將來に備へるため軍備の擴張につとめるほかない。

と、悄然としてヒットラー總統の鮮かな藝當を見送るほかなかつたのは、これを裏からいへば、戦うて勝つは善の善なるものにあらず、戦はずして勝ちしヒットラー總統の手並のよさと、血は水よりも濃い、今や相近きもの相似たるものは、互ひに手を握りて立つ外に道がないといふ道理を明らかに裏書してゐる、といふことを一言して……。

B 我が大亞細亞民族に告ぐといふのでせう。

（『主婦の友』五月號）

## 外篇 議會の速記録



## 委員會の片影

- 一、防空法案委員會
- 一、船舶管理法案委員會
- 一、國民保險法案委員會
- 一、入營者職業保障法案委員會

此の書のページが不足してるから急いで補足してくれといふ。既に雜誌社へ送付済の分が少なくないが、まだ刷り上つてゐないので間に合はない。

ここに委員會で話した速記録の中から四種だけ抜き出して見た。いささか樂屋落ちの氣味もあるが、刺身のツマのつもりである。

重複したところは省略した、不明のところ不足のところは訂正補足してある。



## 防空法案委員會に於いて

昭和十二年三月三十日、第七十議會貴族院防空法案特別委員會  
議事速記録中より。

○下村宏 昨日梅津次官から御答辯に與つたのでありますが、私は大體只今海軍當局の御話を伺つても、敵の根據地を衝くべきで、大東京なり、大大阪方面は、無慚に敵機の襲來を待たねばならぬと云ふやうなことは先づないものと存じますが、併し無論大空を横切つて來るのでありますから、數機は來得るし、又來れば、假りに夜燈火管制をしてあつても、河もあり海もあり、又其の大きな都市の何處かへ落せば足りるのでありますから、無論之れに用意が要る。それで襲來された場合に、一體どうすれば宜いかと言へば、其の市民生活に最も重大な關係のあるものに對する特別の擁護の途を執らなければならぬ。之れにはさう云ふ重要な營造物で、其の大阪なり東京には是非置かなければならぬものと、それから置かなくても宜いものがある。最近の例へば熔鑛爐の新設と云ふが如きことは、必ずしも東京なり大阪になくてもならぬものではない、既に日立

とか新居濱とか或は大牟田とか、さう云ふ重工業都市の例もあるのでありますから、是は商工當局に述べるべき希望かも知れませぬが、さう云ふ種類のもは將來地方的に分散して創設する、勿論水利運輸の便とか、或は原料とか或は石炭、其の供給の關係とか、色々な複雑な問題がありますが、併しそれ等の點を考慮して、出来るだけ分散的方法を執ると云ふことが、一面には都市の集中を防ぐと云ふ途にもならうと思ひます、是が第一點であります。

それから第二に其の都市になければならぬもの、或は水源池であるとか貯水池であるとか、或は變壓所であるとか、或は電信、電話局或は中央「ステーション」、或は放送局、斯う云ふ種類のもは其の都市になければならぬし、又どう云ふことで襲撃を受けぬとは限らないのであります。で、無論遞信當局なり其の他には、同じ水力電氣にしても、送電線の切替とか、或は水電に換へるに火力に依るとか、さう云ふ機宜の途は何れも講ぜられて居るものと考へますが、元々空撃と云ふことは、近來痛切に感じて居る問題でありますから、在來以上に是等の點に考慮した應急機宜の方法は講ぜられなければならぬと思ひます。

水源については先程、二荒伯爵が御話になりましたが、私は臺灣に在職中に、上水道の出來た時に、在來の掘井戸は其の儘に埋めずに置いておくこと云ふ方針を執つて居たのであります。それは今日のやうな空撃を豫想した時代ではなかつたのであります。矢張り天災地變に依つて水路に故障を起す、又貯水池に水を引き上げる動力が不足することがあります。私は「ベルリン」で



「ストライキ」があつた時にも経験しましたが、水の止まると云ふことは非常な苦痛である。従つて内務當局で上水道を造つた時には、在來の掘井戸は其の儘に置いて置くと、不淨な水を使ふから、衛生上宜くないと云ふので、總て埋め立てる方針を執つて居つたのか、各公共團體の權宜に任せて居つたか知れませぬが、矢張り何處も掘井戸は兎に角保存させて置きたい、さうして今のやうな水源地の破壊と云ふやうなことがあつた時には、その復舊には應急の途は少ないのであります。是が川にでも沿うて居る町ならば、まあ川の水を運ぶと云ふ方法もありますが、川があつてもなかなか運搬配給が容易でありませぬから、掘井戸は矢張り埋めない、又場合により多少共ある地點地點に新たに掘ることもどうかと思ふのであります。それから假に水道に故障がないとしても、「ビルディング」では、此の間の大阪の風水害のときは其處まで水を運び上げる動力がとまる、爲めに大阪で一時動力の斷られた時にも、總ての電車が止り、省線も電送の方が止つた、更に各「ビルディング」では電燈が止つて、晝でも暗い事務室があり、更に便所などに水が來なくなつて、可なり閉口した。だから自家用の發電機を置くと云ふやうなことが、相當大きな建物には必要かと思ふのであります。さう云ふ點に就ても、兎に角事故の起つた時にはどうするかと云ふことに對する權宜の對策が、それぞれ講ぜられて居るとは思ひますが、尙一層周密な研究を要するのではないかと思ひます。

それから防空の演習も回數を重ねる程結果が良く行つて居ります。唯衆議院の委員會でも席上

應答があつたやうに思ひますが、問題は燈火管制のときに火の氣の見えてはいかぬと云ふことは、無論必要でありませうが、月夜であるとか或は又地形に依つては、大體の見當がつくのであります。愈々眞に襲來を受けた時は、黙つて居つても、可なり興奮して、火も消し、又逃げもしませうが、平時の時は矢張り夜業で仕事を執つて居る者もあり、さう云ふ連中がやかましく燈火管制をさげび、それも可なり口やかましく言ひ過ぎる爲めに、怨嗟の聲がないとも言へないのであります。先程丸山君の英國在留當時の御話もありました通り、爆彈の事故よりも、暗中の混雜の爲めの交通事故と云ふやうなことも考へられるのであります。併し問題は何處まで嚴重に管制するかと云ふ問題の外に、さう云ふ仕事に直接當る人達の態度とか、物腰とか、或は其の言葉つきなどに、多少興奮して厳しく言ひ過ぎる、あまり口穢なく言ふ爲めに、可なり感情の行違ひがあるのであります。是は獨り此の燈火管制などの場合に止らず、平時に於て、例へば警官であつても、多數の中には多少の言葉の強いのもあつて、感情の行違ひが起ることがある。況んや慣れぬ連中になると、多少興味を持ち過ぎると云ふか、緊張しすぎるといふか、關東の大震火災の時の自警團に、多少の實例を體驗したのであります。問題はさう云ふ事故の起つた時に、人心の動揺しないやうに、如何に落着いて、冷靜に、秩序よく一般を靜めて行くかと云ふことが大事でありますから、之れに當る人達自身が餘り興奮し過ぎると、結果が豫定通り行かぬと思ふ。是等の點は無

論十分に注意せられて居ることと思ふのであります。此の方の精神的の訓練が一層大事であ



らうと思ふ。さう云ふ各般の問題が、今回の防空法案が成立し、又中央に委員でも出来まして、色々と各方面から慎重研究を重ねられ、本法の目的が貫徹されることをのぞみます。

以上私の意見も大部混ざつて居り、又殆んど私の申上げるとは當局でもお考へになつて居ることと思ひますが、前申したやうな點に就て、既に何かおやりになつて居るのであるか、又さう云ふ問題に就ては防空委員會或は又特殊のものでも設けて、一層善處せられるのであるか、それ等の點に就て御當局の御意見を承ることを得ますれば、仕合せと存じます。

○國務大臣（杉山元君） 只今お述べになりました事柄は誠に御尤もな御意見でございます。私の關東大地震の際に經驗致しましたことから考へて見ましても、全く下村委員の仰しやつた通りの事柄を實驗致したのであります。ちよつと速記を止めて戴きたい。（以下略）

### 船舶管理法案委員會に於いて

昭和十二年九月八日、第七十二議會貴族院臨時船舶管理法案特別委員會議事速記録中より。

○下村宏 先程から船籍の問題が出て居るのですが、自分の聞いた所では、或る時には、例へば支那船籍であると云ふ爲めに、保険を付けるとか、付けぬとか云ふやうな問題もあつたやうに聞いて居ります。又船主が船を貸して居ると、斯う云ふ場合に、危険發生の時の保険金を餘計得たい爲めに、必要以上の保険を付けたがると云ふ話も聞いて居るのですが、要するに、斯う云ふ場合には矢張り保険が付かなければ荷物が動かないし、又過分に付ければ、矢張りそれだけ積荷貨物の價格が上る事になるので、時局中と雖も貨物が圓滑に動く爲めに、保険を受け付けなどうか、或は必要以上に付けるとか云ふことのないことを期待します。さう云ふ點に就ては現在迄懸念すべきことはないのでせうか。又さう云ふ點に就ての當局の御用意があるならば伺ひたいのであります。



○政府委員（小野管船局長） 保険料に關する色々な統制に就きましては、此の法律は遞信省所管の事項でありますので、此の法律には直接には書いて居りませぬが、從來特に最近に於きまして、保險問題に就きましては商工省と緊密なる連絡を取つて居るのであります。將來共より緊密に連絡致しまして、成るべく「スムーズ」に此の動きが行きますやうに一層努めたいと考へます。

○下村宏 是は希望を添へて大臣のお答を得たいのでありますが、第六條に、「政府は運航業者に對し航路、就航區域又は運送すべき」云々と云ふ規定がある。是は此の間主管局長の御説明に依ると、無論軍事上の必要ある物資の運送であるとか、避難民等の運送の場合を豫想されると云ふことでありますが、之れに關聯して私は希望を添へて質問をしたいのであります。今日北鮮及び滿洲方面への交通系統は、馬關迄汽車で西行し、關釜線で釜山へ又北へ遡つて行くことになつてゐます。併し日本の朝鮮なり滿洲に對する關係はもとより、將來の國際交通路と云ふ上から見ても、どうしても日本海に於ける交通路を十分に充實致さなければならぬ、又現在の北鮮の開拓、或は滿洲に於ける産業又移住民の問題などに觸れても、日本海航路は大いに充實を要するものと思ひます。恐らくは現在でも軍事上より見ても此の方面の航路が充實されて居れば、現状以上に非常な便宜が得られて居るのではないかと迄懸念されます。又是から先の戦局の動きに依ると、此の方面の「ルート」はますます必要が増すのではないかと思ふのであります。故に此の問題は獨り遞信省の問題でなく、鐵道、それから拓務或は朝鮮なり滿洲國なり、各方面と關聯する

ことではあります。丁度此の規定を運用する上に於ても、それから又此の規定を離れても、將來日本の國是の遂行の上に、是非陸運と相俟つて、日本海の航路の上に、斯かる機會に十分活用して充實をはかつて戴きたい、又此の規定を動かす時にも、さう云ふ氣持ちで出来るだけ早く充實の途を講じて戴きたい。大臣はかつて拓務の方にも御關係があつたから、御同感のことと思ひますが、此の機會に希望を述べてお答を願ひたいと思ひます。

○國務大臣（永井柳太郎君） 只今のお尋ねの日本海の航路の重要性と云ふことに就きましては、私は全く同感に存じます。平常でも其の航路の充實には大いに努力する必要があるものであります。此の第六條を適用するに當りまして、其の點に注意をして、其の航路の充實を忘れないやうに取計らふと云ふことに就きましては十分努力致します。



## 國民健康保險法案委員會に於いて

昭和十三年二月二十二日、第七十三議會貴族院國民健康保險法案特別委員會議事速記録中より

○下村宏（前略） 醫療の施設が全國の都市に普及されて居らぬと云ふことが、本法案の出た所であるのですが、一方で都會地には濟生會とか、或は赤十字社とか云ふ所でも、相當の施設がある。それから簡易保險局の健康相談所とか、或は巡回相談所とか色々なものがあるのですが、其の仕事の性質が多少違ふと言へば違ふのであるが、何としても本法が出来て、五十萬圓、百二十個所位の進み方では、聲ばかり大きくつて實が擧げないやうに思ふ。恐らくは官民を擧げて普及を圖る、さう云ふ意味から言ふと、今言つたやうな特殊の施設ともそれぞれ協調し、一面には重複しないやうに、又一面には健康保險の契約者だけで宜いとか、云ふやうな差別をやめて全體の上に協調して行く、成るべく助け合つてこれで普及をはかるべく、何か途を講ぜられたいと思ふのでありますが、之れに對する當局の御意見をお聴きしたいと思いますと思ひます。

○國務大臣（侯爵木戸幸一君） 只今お話の點は全然御同感でありまして、厚生省に於きましても、各地の色々な保險所、又只今お話のやうな健康相談所とか云ふやうな色々なものがありますが、保險所の如きは治療をさせないのでありますが、是等のものに對しても、治療をさせたいと云ふやうな論なども色々ありますが、是等は又一面開業醫との關係其の他の關係もあることでありますから、單純には解決がなかなか困難と思ひますが、厚生省と致しましては、特に國民の體位向上とか、衛生の方面に對しては特殊の任務を以て生れて來た役所でございますから、此の點に就ては十分協調して、重複しないやうに、無駄のないやうにして行かう、是等に就ては醫藥制度調査會などに於ても相當論及せられつつあると思ひますが、其の際は十分御研究を願つて此の仕事に盡して行きたいと思つて居ります。

○下村宏 更に希望を添へて御意見を伺ひたいのですが、過般此の委員會でも小學校の先生が早く其の職を去らねばならぬことになり、それが自然都會へ行くと云ふ、其の氣分が矢張り同じやうに兒童にも移つて行く、のみならず自然都會へ行つて病を得ては農村に戻つて來る、と云ふ點に就て當局との意見の交換があつたのですが、丁度今文部大臣を兼ねておいででありますからお伺ひをいたします。我々が地方を廻つていつも痛感するのは、小學校が其の土地の民度に必ずしも比例せず、可なり物的施設の負擔が重くなつてゐる、其處へ年々學齡兒童が殖えて行くから、職員も學級も増して來る。要するに地方財政では、小學校教育が大きな負擔となり、年々増して



行く、其處へ今各師範學校の卒業生の數が其の需要を超える爲めに、さう云ふ人達に就職の道を開くと云ふこと、それから今の町村の財政が苦しい爲め、教員の俸給の平均を幾分とも下げたいと云ふ氣持ちで、少し給料の高くなつた者は押上げられて罷めねばならぬ、さう云ふことが教員の氣分の安定を缺く。過般長野縣邊りの小學教員の思想問題なども、矢張りさう云ふことが根柢になつて居るのではないかと思ひます。一言すれば小學校の教員になるべき師範學校の年々の卒業生の數と、一方で罷めて行く人との需給の調節と云ふことが相當考へられるのではないか、それが師範教育の方の側であります。今度は健康保險に就ての醫者の方の側になりますと、過般來衆議院でも色々其の點に就て話されて居るやうであります、速記録に依つても醫者の數は昭和二年に四萬七千百人、それが十年になると五萬七千五百八十一人になつて居る。さう云ふやうに醫者は絶對に數は殖えて居りますが、無醫村の數は昭和二年に二千九百九個村であつたのが、昭和九年は反對に三千五百二十七個村になつて居ます。是は在來地方に居つたいはゆる古い方の側の醫者が段々少なくなつて、新しい大學出の人たちは田舎には足が向かぬと云ふやうなことも大きな原因であらうかと思ひます。私が施設につき方針をお聽きしたのは此の意味で、私共地方に參つた實況に依つても、なかなか地方の不便なる處で、醫者に來て呉れと言つても、交通の不便な場所を一々廻つて、それ程の收入にもならず、斯う云ふ所に醫者の普及をはかるには、給與の外に、精神的の何と言ひますか、博愛と云ふか、共助と云ふか、さうした熱がないと實際む

づかしいぢやないか、それで今度の施設に伴ひ、在來の専門學校は醫科大學に昇格して居る、醫學専門學校の方の卒業生が少ないと云ふやうな状態になつて居るのであります、此の際簡易な専門學校程度の施設を増して、さう云ふ方の供給を充實せぬと、醫師の手が足らぬのぢやないかと懸念される。それから無醫村あたりでは、進んで相當の俸給を、安定されるだけ定額を與へる事にでもしないと、醫者の需給が丁度師範教育の場合とは反對になるやうに考へられる。是等の點につき無論當局はお考へになつて居ること考へますが、此の機會に御意見の程を承つて置けば仕合せと思ひます。

○國務大臣（侯爵木戸幸一君）只今御尋ねの點は御尤もなのであります、醫者の數と云ふものが必ずしも全國にうまく分布されないものであります、都會には相當多數の醫者が居りますが、田舎に行くとなかなかさうは行かないと云ふやうな點は、是は強制して此の方面に廻すと云ふことは出来ませぬし、非常にむづかしい點もあるのであります。併し斯う云ふものが普及致しますれば、相當醫療を求める者も手軽に求められるやうになりますから仕事にもなります。又學校の方の事に就きましては、只今お話ししたやうに大體に於て醫科大學の方は却つて多數出ると云ふやうな點もあります。之れは衆議院に於てもさう云ふやうな御議論がありました。さうして或る議員からは農村の子弟を特にさう云つた使命を果させる爲めに教育する方法を考へてはどうかと云ふやうなことも出ました。之れは文部省の關係であります、將來矢張り或る程度専門學校に就



ては考慮しなければならぬと思つて居ります。唯是等は又醫術の方から見ますれば、餘り簡易に見ますと生命をお預りする人間の醫療の低下と云ふことの問題も起りますし、それ等は十分考慮致しまして、斯くの如き缺陷のないやうに將來考へて行きたいと思つて居るのであります。

○下村宏 尙序でありますが、大體仕事が多ければ、報酬が多く、収入も多くなる。無論醫師の場合も同じであります。併し病人が多い方が宜いかと云ふと、是は少ない方が宜いのである。本法案の如き施設が段々出来、更に之れに加ふるに豫防の問題になります。患者が出来たら之れに對する施設が十分に行くと云ふことが必要であるが、第一さう云ふ患者の出来ないやうにする。と云ふことが、厚生省の出来た大きな原因であり、又體力局などの新設を見た所以であると思ひます。それで衛生と云ふ側で、豫防と云ふことが非常に大事でありますから、此の健康保險組合の醫者に限らず、厚生省の息の掛る限り、各方面で豫防に力を入れ患者の出来ないやうに努力せねばならぬ。ところで患者が少なくなると、収入が減ると云ふ意味で、そこに見方に依り一つの矛盾が出来て来る。是は醫者の方の側であります。組合員の側にも同じやうな場合があり得る。過般成績の好い見本として埼玉の越ヶ谷の醫療組合に我々參觀に行つた時でも、町民は純朴で、病氣の数が重なると、醫療をうけることを却つて遠慮する氣味がある。何故遠慮するかと云ふと、一般の人が皆組合の費用を出して居る。病氣にならぬ人は出し損で詰らぬ、病氣になつて居る者は盛んに利用して薬を貰ひ、色々手當を受ける、餘り受けては氣の毒だと云ふ意味で、却つて遠慮するのだと云ふことを、其の場所では聞いたのであります。處が又さうではない、本人は行きたいが、餘り度々行くと、組合費だけ出して利用に與らぬ連中から、寧ろ怨聲を聞くから、已むを得ず遠慮するのだと云ふやうに、批判する人もある、是は見方により色々だらうと思ふ。之れをさらに裏から言ふと、此の組合が出来てから自分は組合の費用を出して居るのだけれども、併し幸ひに健康でお世話にならずに、組合費の出し損だけで済んで居るのは有難いと斯う思へば宜いが、さうではない、多數の組合員の中では、俺はどうも出してばかり居る、只で奉公して居るのだ、そんなことでは詰らぬから脱退するのだとか、又能く世話になつて居る、あいつはうまいことをして居ると云ふやうな氣持になると、ここにも同じやうな似た矛盾が起つて来る。私の伺ひたいと云ふ意味は、何か政府が此の仕事をやつて行く上に、各町村の衛生の状態を調べて、そこに季節に依り流行の感冒があるとか何とか云ふ問題もありませんが、大體に於て其の村の衛生状態が段々良くなつて来た、體位が向上して来た、或は又患者が少なくなつて来た。又さう云ふとき豫防なり治療に盡力をした醫者とか、係の者には、患者が減つて収入が減つても、却つて其の町村としては是は目出度いことだ、良いことだと云ふので、患者の数の少なくなつた成績に對し獎勵金を與へるとか、補助を増すとか、手當を呉れるとか、何かさう云ふやうな方面にも考慮して戴くことがどうかと云ふやうな感じを持つて居るのであります。是は必ずしも大臣

519



でなくつて宜いのであります。當局のお考へがあれば伺ひたい。

○政府委員（進藤誠一君）一應私よりお答へ申し上げます。只今のお話の、衛生状態が段々良くなると云ふことに依つて組合は不利益になるぢやないか、さう云ふやうなことの無いやうにするにはどうしたら宜いかと云ふことでございますが、病氣の罹病率が減つて来れば、其の結果は保険料を引下げると云ふことは是は申上げる迄もないのであります。先づさう致す、さうしますと組合員に致しても其の病氣が少ないことが組合保険料の減ると云ふことの利益を伴ふのでありますから、それは大變好結果があらうと思ふのであります。それから先程御質問ではなかつたかも知れませぬが、病氣に罹らぬ者は損だ、罹る者は、罹らなければ損だからと云ふので罹るやうにする、濫療の嫌がある。それに就きましては一部負擔の現金を出すと云ふことで濫療を防止する、それから病氣しないで醫者に罹らなかつたと云ふことに就ては、是は組合として保険料の一部割戻しをしてやる、斯う云ふことも致して居る例があります。さう云ふことをやらせるやうにしたら大變宜からうと思ふのであります。それから最後に成績が良くなつて行く、保健衛生状態が良くなつて行くと云ふことに就ては、其の組合の努力を認めまして政府と致しましては、之れを表彰すると云ふやうな方法を取つて行きたい、斯う云ふことは考へて居るのでございます。尙御趣旨のある所を、能く又後で研究も致して行きたいと思ひます。一應お答へ申し上げます。

○下村宏 其の表彰と云ふだけでなしに、さう云ふ時の醫者には相當實質的に手當を與へる、それは裏から言ふと、昨日の本委員会でありましたか、健康保険の方で有料患者を澤山拵へたりする可なり不良な保険醫を檢舉して居ると云ふ話ですが、此の健康保険の途を開いた爲めに、今迄醫者に罹るのを億劫がつて、機會を失し病勢を重くし、随分弊害もあつた、それが救はれて居ると云ふ例が非常に多い。多いが又一部では此の制度を悪用して仕事を怠るとか、又大勢の醫者の中には前述べし如き不心得な醫者も随分出來るので、唯表彰と云ふ外に患者を餘計扱つて収入の多いのも宜いが、少なくとも亦相當収入の途を開くと云ふことに就て、考慮を願つて置きたい。それから是はよくは分らないのですが、八百七十六圓の事務費と云ふことで、一人の事務員の月額が三十五圓と云ふやう内わけで、此の仕事をやつて行くのであります。無論段段組合員が殖えて行き、それから年が経て呉れば、初めの時よりも費用の率は減つて來ると云ふことは考へられるが、今日の補助の歩合にしても事務費にしても、端的に言つて物價の騰貴と云ふことが必ず伴つて來る。それから恐らく實施して見ると補助も増さなければ困ると云ふ聲が起るのぢやないか、現在の儘でも相當困難であつた。一體なら産業組合などの在來の施設のある以上は、それでも利用してやる方が早く普及も圖れる、今迄あるものが利用されるのだから、それを擴大して行くと云ふことが宜いのぢやないかと思ふ。又一面に産業組合が殆ど何も彼もどしどしやつて行く、さうして免税とか色々な特權を持つて居ると云ふやうな處から、地方の自治行政



の上にも相當考へられる。此等の利害は複雑であつて、斯う云ふ議論を此處でやるとすれば際限がなくなりませんが、單純に割合に少ない費用で早く普及して行くためには、少なくとも在來の施設を活用すると云ふことが考へられる。ここに大體新たにやつて行くとする、どうも此の豫算は數字に於て少なきに失して居る、是だけではなかなかやりにくい、又延いて此の補助の額も是だけでは濟まない。それだけを覺悟して、更に將來の普及を圖らねばならぬのであります。政府當局には是等に對する御成案があるのか、自分達はどうしても普及と云ふことが主であつた、決して産業組合とか、醫師會とかの意見に拘らないのである。兎に角全國に三千に餘る無醫村があるのでありますから、それ等の點を押切つて普及して戴きたいと云ふ希望を持つて居りますが、それに對する御意見を承りたい。

○政府委員（進藤誠一君）只今の御意見は誠に御尤もであります。経費が是でやつて行けるかどうかと云ふこと、補助金がどうも足らぬぢやないかと云ふ御意見は、衆議院でも外でも随分出るのであります、私共としても傾聴致して居るのであります、今迄私の方で調べた所では、現在の健康保険、それから又國民健康保険の類似組合等の状況から、まあ是でやれるだらうと云ふ見込を立てて居るのであります、御説の通り物價も騰つて來る、將來やつて見て是ではならぬと云ふ聲は或ひは起るかも知れませぬ。それに就きましては成るべく経費を無駄のないやうに節約して行きたい、それで金は掛らないやうにして行く、斯う云ふことは是はもうどこ迄も、幾ら

補助金が増されたとしても、節約に節約を重ねて行くべきものと考へるのでありますから、それで組合の事務所等に就ても新たに建てるとか借りると云ふやうなことは成るべくしないで、産業組合の建物を使ふとか、或は町村役場に使へる部屋があると云ふならば、成るべくそれを利用して、人に就きましては産業組合の職員などを利用して仕事をして行くと云ふやうなことをして、實際に於て経費をかけないやうにして行きたい。それが爲めに既設の團體等は十分利用して行きたい。斯様な考へで居るのであります。

○下村宏 終りに大臣の御意見を伺つて置きたいのでありますが、要するに病氣になつて治療をする、之れに先立つて成るべく病氣も少なくする、それから更に進んで體位を向上して行かねばならぬと云ふので、此の度厚生省が出來、體力局も設けられて居るのであります。先づ省が出來てそれから仕事を始める事になつて居るもの、體力局の豫算が餘りに少ない。現今小學校に入る前の乳兒、幼兒の死亡率が歐米よりも二倍、三倍の高きに達して居るから、母性の衛生知識の普及とか、又積極的に乳兒、幼兒の健康増進につとめる。又學校では運動の設備は事實あります、是も矢張り選手とか、上級の生徒とか云ふ一部に使はれて、なかなか生徒に普及出來にくい、況んや學校以外の者は殆んど運動の設備に恵まれて居ない。是は學校の設備も時間外に、其の土地の學校以外の者にも利用させる、更に又さう云ふ一般の施設を増して行く、それから學校を出たものも、三十臺になつても、四十臺になつても運動を續けるやうに奨勵の途を講じて行く。



「ドイツ」あたりでは十八歳以上三十二歳、三十二歳以上から四十歳、四十歳以上と云ふやうに分けて、それぞれ「スポーツ」の徽章を送つたり或は「アルバイト・デインスト」のやうな運動もあります。厚生省も新たに設置されし所以に鑑みて、是非來るべき年度の豫算或は追加豫算により體位向上と云ふことに就き十分な御考慮を願ひたいと思ひますが、御意見を伺ひます。

○國務大臣（侯爵木戸幸一君）只今お話の通り、厚生省の一面の大きな意味は國民の體位を向上すると云ふことであります。其の意味に於きまして從來衛生局だけでやつて居りました仕事を體力局、豫防局、衛生局と云ふやうな三つの局に迄擴充致しました。お話のやうに病氣になつたものを癒すと云ふよりも一面に於ては病氣の豫防をやると共に、又積極的に體育に依りまして體位の向上をすると云ふことに盡力して行くことになつて居ります。お話のやうに省が出來まして間もなくでありました爲めに、新たに分れました體力局が一番今日は貧弱であります、従つてそれと同時に發展性を持つて居るとも言へるのであります。此の點に就ても十分努力する積りであります。又豫防方面に就きましては最近開設されます公衆衛生委員等に於きまして、豫防方面殊に環境衛生、或は上下水道、汚物の處理と云ふやうな方面に迄漸次研究を進めまして、特に是等の技術員を養成し、それを漸次社會に送り出すと云ふことに依りまして、單に病氣の狭い意味の豫防以上に此の環境等も考慮に容れ、全體から見まして、國民の體位を向上し、衛生を改良して行くと云ふことに努力しようと考へて居ります。

\* \* \*

同上三月一日、第五回委員會速記録中より。

○下村宏 私は賛成の意を表する者であります。大體本法案は一般の社會政策から見、或は又國民の體位向上から見、一日の急を要するもので、林内閣の當時には貴族院で本會議に出る直前に解散となつて成立の機を失し、近衛内閣となり漸く此の通常議會に出て、爲めに約一年延びたのであります。此の内容に就ては可なり意見が多く、私共も政府當局、産業組合、醫師會、貴衆兩院、各方面の有志と、殆んど同時に二つの委員會が出來て、それに私は關係して居ましたから、可なりそれぞれ意見を聞いて居るのであります。慾を言ふと色々の問題があるのですが、さう云ふ小異を捨てても大同に就かなければならない、寧ろ早く實施を見たい。此の意氣で私共も早く出來て、それがどう普及されて行くかと云ふことに關心を持つてゐる。そして實施してからは、成績を餘程周密に公平にしらべる。殊に時局などで後送されるとか、いろいろ特殊の町村もありませうから、其のあらはれた統計の數字も餘程検討に骨が折れると思ふのですが、今から……今度は僅かしか置かないのですが、將來新たに置く候補地などの健康状態などにつき、あらかじめ色々の「テスト」を十分やつておいて、之れを實施してから後の實況をも又能く調べる、その上



事實に即して善處してゆく。議會などで當局の方が色々言はれた、それらの言質に囚はれる必要は少しもないので、どうしたら一番成績を能く擧げ得るか、又どうしたらそれが普及し得るか、と云ふことを標的にし、新たに設置する所も能く調べ、それから更に是から設置せんとする所もよく調べ、前後を對照して行く。さうして出来るだけ改善し普及すると同時に、前から申したやうに體位の向上と豫防と云ふことと相俟つて行く。さうして成績が良ければ費用が助かる、一面には醫者などは収入が少なくなると云ふことになるかも知れぬが、却つてさうなれば結構であるから、それに對しては又相當實質的な報償の途を取る。有らぬ點に依つて國民健康保險法が、どうか所期の目的を達するやうに期待しまして、本案に賛成を表するのであります。

(討論にうつり、上記の意見をのべ、金杉委員からの賛成あり、全會一致にて可決した。)

## 入營者職業保障法案委員會に於いて

昭和十三年三月二十四日、第七十三回帝國議會に於ける社會事

業法案第十回入營者職業保障法案付議の議事速記録中より

○下村宏 此の法案には直接關係は無いのですが、今本委員會が開けて居るので、宜しくお取扱を願ひたいと云ふ手紙を今朝受取つたのですが、それは戦地に於て癩病人になつた出征者の問題であります。許しを得て申上げたいと思ひます。

○委員長(公爵岩倉具榮君) どうぞ。

○下村宏 大阪の「エム・ティー・エル」「ミッション・ツー・レブラ」であります。其處の濱田光雄君から私に當てた手紙でありまして、此處には關屋君を初め癩の患者に對する御理解の深い方が澤山お出でですからよろしくお聞取を願ひます。ありのままを傳へるために大要朗讀致します。

「社會事業法案委員會に於て種々御骨折を頂いて居りますことを承知致して居ります。御多忙



中左記のことを御報告致し、且つ宜しくお取扱を願ひたく存じます。大阪市の陸軍病院には昨年未より今日迄に、戦傷又は發病の爲めに後送されたる癩の患者は五名になつて居ります。其の中二名は既に外島の患者として長島の方へ委託され（一寸申添へますが外島は大阪及び附近府縣聯合の公立療養所で、風水害の爲めに今はなくなつて居つて長島に委託して居る。長島は國立の療養所で岡山の邑久郡にあります）、残る者も近く長島に移されることになつて居ります。話を聞きますと二名中の一名は内地に於ても注射を受けたことがあり、他の者はなかつたものであります。既に癩に傳染して居つたのが、戦地に於ける勞苦の爲めに其の發病の時期を早からしめたものと考へられます。何れにしても私共として最も不幸な方々と思はれますので、出来るだけ慰藉の方法を取りたいものと思ひますが、何分のお力添へを仰ぎたく存じます。

是等不幸なる患者は外島に移る場合は除役をして行くので、他の戦傷者の如くに白衣の戦傷者として名譽あるものとしてでなく、普通の患者と同じやうに送られることは、癩の患者としては言ひ得ぬ悲みに浸つて居るものと思ひます。殊に同情に堪へないのは彼等の親兄弟等が、癩の患者になつたと云ふことを聞いて、氣も狂はんばかりになり、どうか再び戰場へやつて討死さしてやつて下さいと願ふものもあると云ふことであります。是も癩は遺傳でない、傳染病であること云ふことが廣く國民の常識となつて居れば、癩病の筋であるとか、因果が廻つて來たとか云ふやうなことを世間から言はれなくて、唯の傳染病と同じやうに見らるべきであります。まだ世間

では遺傳病であるが如くに考へられますので、此の場合にどうして宜いか、方法が見出せませぬ。せめて是等の病人に對して軍部方面でも相當以上の何か名譽とか體面を興へる方法がないのでありませうか。現状では斯うした後送される人達がどうなつたかと聞かれても、病死とも戦傷とも疾病とも答へることが出来ない、それでは何處に居るのかと問はれても、何處に療養して居るとも答へられない、いつ後送されて來たとも言へないと云ふ境遇になつて居ることは本人、又は家族、親族の爲めに誠に氣の毒の至りであります。既に大阪だけで五人でありますから、他にも相當あるものと考へられます。此の際斯様な出征者に對して生死不明と云ふ取扱を爲すことなく、堂々と公式に傳染病として取扱を爲し、療養所に靜かに療養せしむるやうな取扱をしては如何かとも考へられます。私共には實はどうして宜いか、好い考へが浮びませぬ。何卒御考慮を戴きまするやうに切にお願ひを致します。今の所では唯當人達へ見舞に参りまして、出来るだけ精神的慰安を興へて居るばかりであります。或は療養所の内に、特に名譽ある兵士の家とでも名付ける建物を造ると云ふことも一案かと考へます。若しさうした企てでもある時は、一棟位は我等の方でも建てたいと思つて居ります。」

以上は私の受けた大阪の「エム・ティー・エル」からの手紙であります、少數人の問題であります。此の手紙にある通り非常に氣の毒なことで、名譽ある負傷をして歸つて來ても、行方不明と云ふか、どうにも始末も付けにくいと云ふのであります。さうかと云つてあからさまに斯う



云ふ譯だと言へば云うたで、本人と云はず家族と云はず迷惑すると云ふ状態になつて居るのであります。兎に角斯う云ふ誠に氣の毒な人達が出征者中にはあると云ふことを、皆様にも御承知を願ひ、それから之れに對して一體どうしたら宜いか、私共にしても、名前を假に名譽ある兵士の家とでも言ひますか、まあ特殊な建物を造つて置くのも一策かも知れませぬ。現に長島と云はず方々の療養所に有志が寄附をして寄宿舎を建て、獨身なり又家族だけの、所謂十坪住宅と云ふやうなものを造る例もあります。

本件はまだ陸軍なり厚生省なりには報告が參つて居ないかと存じますが、此の機會に御報告をして、陸軍なり又厚生省で既にお考へでもあるのならば承りたいし、又まださう云ふことが無いと云ふことでありましたら、是はなかなか對策もむづかしいとは思ひますが何分共考慮を拂つて、當人達のみならず其の家族達の慰安になるやう、又世間の信賴を傷つけぬやうに、さう云ふ點に十分の考慮を拂つて戴きたいと思ふのであります。

○政府委員（廣瀬久忠君） 只今癩患者の問題に就きまして伺ひました。實は此の問題は初めて今お伺ひするやうな譯で、又私共の方でも何等報告を受けて居りませぬ。非常に深刻な、重大な問題に存じます。今迄は御承知のやうに此の負傷者が、病氣に就きましては精神病と結核等に對してははつきりとした案を作つて居ります、又性病に對しても案を持つて居るのであります。此の問題に就きましては、まだ案を持つて居らないのであります。併し非常に重大な問題であり

ますから、軍部とも十分打合せを致し、私の方でも十分に研究を致します。現在傷痍軍人に對する豫算も、三千五百萬圓の豫算の中には或る程度のこと考へ得られる點もあらうと思ひますので、又それで足らなければ外のものを考へても宜いのでありますから、早速打合せを致しまして、出来る限りの一つの案を考究致して見たいと思つて居ります。甚だ申譯ないのであります。今所、案を持つて居りませぬ、十分に研究致したいと思ひます。

○田所美治君 下村さんのお尋ねの點で、幸ひ加藤陸軍次官も見えて居りますし、何か是はどうしたら宜いか、出征前に發見出来ないものか、其の邊何かお話を願へば如何ですか。

○政府委員（加藤久米四郎君） 只今下村さんから仰せになりました實例は、誠に同情に堪へないこととございまして、厚生次官がお答になりました通り、實は私共も其の報告に接して居りませぬが徴兵適齡者其他検査の時に、其の症狀が判明致しますれば合格者の中には入れませぬ。併し癩患者が傳染病者であるか遺傳であるかと云ふことの學理上の見解、其の他の取扱に付きましては是は申上げ兼ねますけれども、何れに致しましても症狀が顯著でありますれば合格は致させませぬが、今お述べになりましたやうなものは潜伏致して居りましたか、或は戦地で傳染を致しましたか、或は其の後に他の者から傳染を致しましたか、原因ははつきり致しませぬが、何れに致しましても左様な人々に對して取扱上誠に同情に堪へないですが、戦傷者として取扱ふべき原因のない限り、唯それだけの發病でありますると云ふと、戦傷者として取扱はないのであります。



唯普通の病氣傷病者として取扱ふより致方がないのであります、所謂二等傷として取扱ふ以外には方法は無いのであります。さうして其の罹病の所謂症状が、顯著でありますれば、是は兵役免除に致すのであります。兵役免除に致しまして、仰せのやうに外島の國立癩療養所に連絡を執つて、そこに收容して貰ふより外に方法が無いのであります。お読みになりましたお手紙のやうに、恐らく手續を執つたのでありませうと思ひます。併し左様な場合に遺族の心情と致しまして、世間でさう云ふ忌み嫌ふ病氣に罹つたと云ふことを發表することを、非常に躊躇したことであらうと思ひます。唯行方不明であるとか、或は不日凱旋するであらうとか申したと云ふこともありませんが、それは誠に病氣の毒に堪へませぬけれども、或はさう云ふこともあり得るだらうと思ひます。併し兵役免除に致しまする時に、軍隊に於て兵役免除を祕密にして置くといふことはあり得ないことと思ひます、又祕密にすべきことぢやないと思ひますけれども、遺族の心情から考へますと云ふと、さう云ふことがあり得たのではないかと、私今承つたのであります。けれども、左様に判断を致します。何れに致しましても其の罹病者が、矢張り戦地に参りましたが爲めに發病致しましたか、或は又從來さう云ふ潜伏期の者であつたか、假に之れを遺傳のものでありますると致しまするならば、さう云ふ原因の爲めに發病したのでありますか、それは私はつきり申上げ兼ねますけれども、さう云ふ人々の取扱は一つ研究致して見たいと思ひます。唯平病者と云ふことの取扱では誠に病氣の毒と思ひます。又同時に戦地に参りましたが爲めに傳染病に

罹つた、或は普通の病氣に罹つたと云ふだけで、唯それだけで打捨て置くことは所謂戦役に關しての罹病、或は入營に關しての罹病と云ふことは、綜合して軍としては考へねばならぬと思ひます。もう營外に之れを出るべく解除致したからと云ふので、さう云ふ考へ方はいけないと思ひますけれども、唯法規のある所でありましてから法規の許す範囲内で、今やつて居るのでありますけれども、出来るだけのことを取扱つて見たいと思ひます。

大體是だけのことを申上げて置きます。

○下村宏 今兩次官の御答辯で満足をする次第であります。二三私の方から念の爲めに申して置きます。癩は遺傳ではない、傳染でありまして、今日もう世界何處の學界でも問題にはなつて居ないのであります。それだけに廣く傳染であると云ふことが世間に知れないと、家族、親族が非常に迷惑をする、それで今陸軍次官のお話もありましたが、現に長島に行つて居る一人は名譽の負傷者であります。名譽の負傷者であるから、普通なら名譽の負傷者として凱旋すべきが、それが出来ないと思ふのですから、唯普通の除役になつたと云ふ場合でなく、名譽の負傷者でありながら、隠れて療養所に行かなければならぬと云ふ立場にありますから、特に軍事當局でもお手當を願ひたいのであります。

それから年々兵役で検査される時に癩の患者にして、發病して居る者が相當いつも發見され、それは無論除隊になります。それから其の時に調べても分らなくつて、入營中に發見するのも年



年あります。大體は、其の人の體質に依るが、傳染してから先づ十年前後に發病するのであります。傳染した時期に依つて、丁度入營中に發病して、除役されて居る者も毎年相當ありますが、それが出征中である爲めに、一層同情に堪へませぬ。折角凱旋して來たと云ふのに、非常に痛し痒しであります。家族達も戻つたとも言へず、どうしたとも言へないと云ふお氣の毒な立場になつて居ります。今何が大事かと云ふと、國民全體が、癩は傳染病であると云ふことを、皆が分つて欲しいのであります。今此處で私が申上げて居るのも其の氣持ちなのです。私は何處で講演をしても、書いたものでも、癩は傳染病であると云ふことを絶えず言うて居るのです。しかしまだ世間では筋だとか、遺傳だとか云ふことになつて居る、もとより傳染し易い體質であり、又傳染する機會が多いのですから、自然癩の家に患者は多いのであります。しかし、今日癩の療養所にお出でになれば少しもさう云ふ筋の無い子供達が學校友達などから傳染して、患者となつて入つて居る者が多いのであります。従つて斯う云ふ色々な機會のある時毎に、それを捉へて、軍部當局と言はず各方面で癩は遺傳ではない、傳染であることを明らかにし、其の家族や親族の迷惑を解きたい。今日何處の療養所に行つても、昔は癩の患者は悲觀していぢくれ迫害されてかたくなになつて居つたのですが、皇太后陛下より非常な御同情を下さつて以後、非常に皆和やかな氣持ちになり、彼等は何を言うて居るか云ふと、どうか此の病氣は傳染病であると云ふことを、世間に知らせて欲しい、さうしないと私共の家族が困ると言つて居るのであります。

一方で此の患者を厚生省の豫算で隔離してしまへば、さう云ふ譯だから當然根絶されてしまひます。歐米では無くなりつつある、英國其の他の國では無くなつてしまつた、「ドイツ」や其の他の國は百人内外となり、入院患者が死んでしまへばそれで無くなるのであります。私はかへすがへすも此の機會に、どうか癩は傳染病であると云ふことと同時に、それだけに此の特殊な患者を隔離收容してしまへば無くなつてしまふのであつて、歐米の一等國では今日はもの千人とある所は無い、多くは百人以下、或は五十人以下になつて居る。獨り日本は表て向きは一萬五千、實際を言へば或は倍、或はそれ以上あるかも知れない。皇太后陛下のあつき御思召以來、當局でも年々それぞれ力を盡されて居りますが、今偶々かかる事が起つたのでありますから、何分とも當局の方に此の病氣の傳染病であると云ふこと、それから此の患者を擧げて隔離すると云ふことに、此の上どもの御留意を願ひたいと思ひます。

○關屋貞三郎君 私の上上げようと思ふことは、もう下村委員から段々お話がありまして、全然同感であります。私共も初めて其の手紙の點を承知致しまして、誠に同情に堪へないし、又非常に重大な問題だと思ひますが、それに就て是は或は陸軍には直接關係がないか知れませぬけれども、厚生省としては殊に豫防局の方の側から言へば、肺結核と同じやうに取扱つたらどうかと思ふのです。まあ機會、機會と云ふとをかしいですけれども、一つの機會が出來たのでありますから、此の機會に肺結核と同じだ、戦地で起らうが、何處で傳染しようが、所謂傳染病だと云



ふことを明らかにする方法をお執りになるのが、是は一番宜いことぢやないかと云ふことを、まあ御参考迄に。是は非常にむづかしい問題だと思ひます。併し兎に角法規の上に於て、或はむづかしいのぢやないかと思ひますけれども、併し學理的には傳染と云ふことを厚生省でも仰しやつてお出でになるのでありますから、其の趣旨を如何に爲すつたならば……、是だけの犠牲者が出たと云ふことは非常に残念であるけれども、或は却つて之れに依つて傳染であると云ふことを、政府でもはつきりして戴くと云ふ機會が出来るかと思ふのであります、御参考迄に申し上げます、もう全然下村委員と同じ希望でございます。

○政府委員（廣瀬久忠君） 十分お話の點を研究致します。

## 跋に代へて

北へ？ 南へ？

それは今の遞信官吏練習所の前身東京郵便電信學校の英語の先生が、訪ねて見えたる新卒業生へなげた最初の詞である。

英語の先生は姓は岩村名は透、西洋美術史の講座を擔任して美術學校の教授であつたとおもふ。遞信省の御役人としてその第一步を踏まんとする青年に、英語の先生から、北へ？ 南へ？ といはれた新卒業生は岩村邸を辭してその足で同じ學校でかつては交通汎論や官吏論を教へたる或る老先生のところへかけつけた。老先生は新卒業生の言を聞くと、言下に北へ!! と言ひ放つた。踵をかへした新卒業生はそれから露語の練習をはじめたのである。

この新卒業生は北清事變以前同學校に在學したが、いつも首席を通した俊才で、次で文官高等試験に合格して、遞信省から臺灣總督府を歴任し、滿洲國の法制局長官となり、今は電氣協會の理事長にある三宅福馬君である。明治三十二年頃とおもふ、同君の在學中に僕はとにかく郵便電



信學校にて、同君の先生であつたといふ誇りを持つてゐる。

老先生は姓は下村名は房次郎、自知と號し、長く郷里和歌山に新聞人たり、後東上して遞信省に入り東京郵便電信學校の創設にあたる。後官を辭して再び新聞人となり、雜誌交通を發刊し、三等郵便局長の友となり、その間貯金論、貧富の軋轢に對する救濟策、日本鐵道國有策等の著あり。一面内國生命保險會社、日本臺灣茶株式會社を創設し、さらに日本海航路の開設を唱導し濱田、境、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽の各地を歴訪する事幾度、シベリヤ鐵道完成以前の露都に入る事前後二回。遂に日本海に定期航路の開設を見るに至り、記念像は現に敦賀公會堂の前に建てられてある。その老先生は實にかくいふ私の父である。

北へ？ 南へ？ といふ話は、このほど芝琴平町晚翠軒に開かれし遞信同窓會の座談會席上に於て、當の三宅君から直々に聞いた思ひ出話である。同じ育英の道とはいひながら、かうした學校にして猶この師弟あり、わづか四十年の春秋をへだてて、さりとては世の中はかくもちがつてきたものかと、今更ながら今昔の感に打たれたのであつたが、恰かも新著『物の糧心の糧』の校正を重ねてゐると、そこに簡易生命保險とか、日本海の航路とか、さうした問題にふれた個處が少なくない。かへり見すれば、貯金局時代に簡易生命保險事業にたづさはつてゐる當時は、内國生命保險會社の難局に直面したる父を思ひ出した事であつたが、臺灣總督府時代には臺灣茶會社の事業にふれ、更に朝日新聞社に入りては長く新聞人であり筆の人であつた父をしのぶ事益々濃

やかなるものがあつた。今議會の人となり、簡易保險事業に又日本海航路問題にふれつつあるの時、新たなる冊子のゲラ刷りの校正をつづけてゐると、父を追懷するの情さらに切なるものがある。

拙著第二歌集『天地』の中に父をしのぶ歌が十數首録されてある、その中なる、

ともすれば 父に似たりと 思ふふし

ありと心に うなづく日のあり

といへる一首がふたたび胸によみがへつた。

この一文は三月十九日貴族院にて簡易保險法の改正案の本會議を終り、圖書室に筆を執り『遞信協會雜誌』へ寄せしものである。第三篇のいづれかへ差し加へてよいのであるが、いはば此の書の校正直後感ともいふべきであり、わざと卷末に付することとした。



糧の心・糧の物

部千二刷初



滿洲・朝鮮・臺灣・樺太等の  
外地定價一圓九十八錢

昭和十三年五月十五日印刷  
昭和十三年五月二十日發行

定價一圓八十錢

著者 下村海南

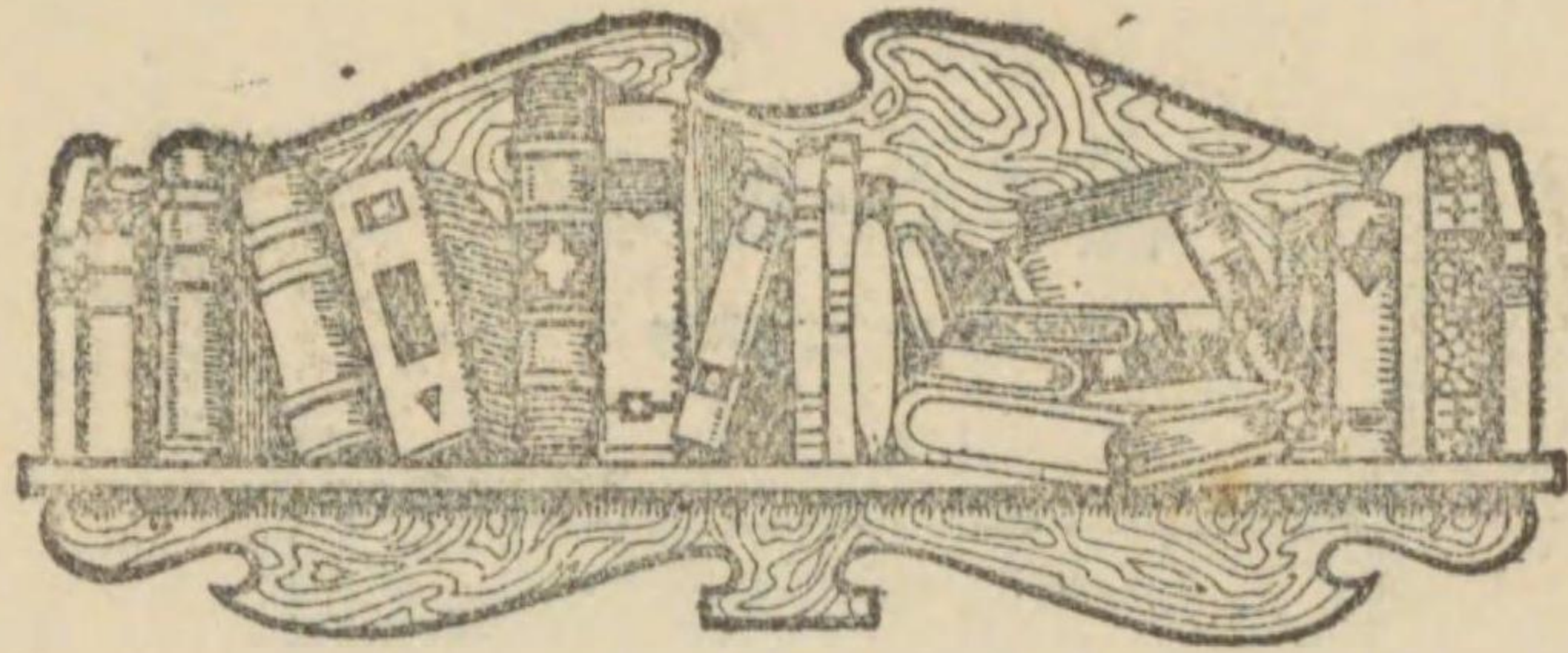
東京市麹町區三番町一  
刊行者 長谷川巳之吉

東京市麹町區三番町一  
刊行所 第一書房

電話九段(一四一五)  
三三四四  
振替東京六四二二三

東京市神田區三崎町二ノ二二  
印刷者 堀内文治郎





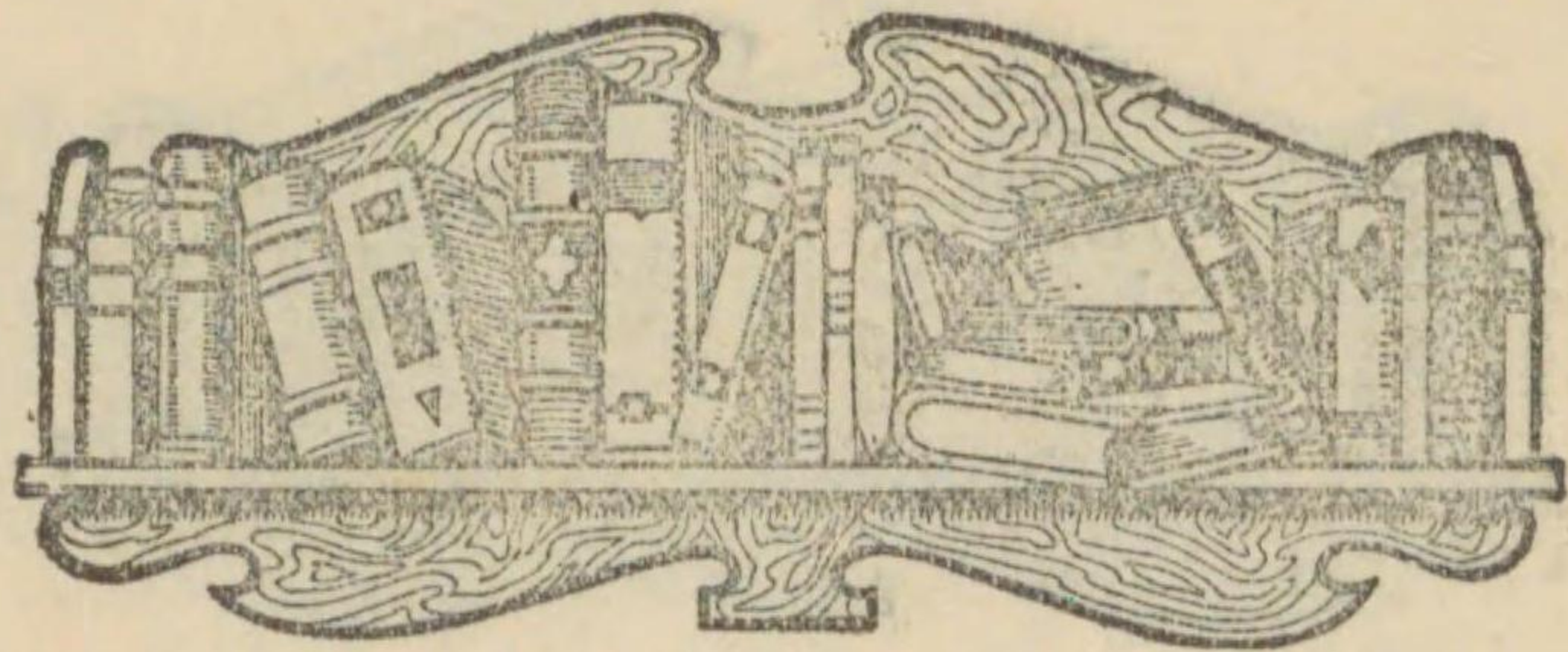
法學博士  
下村海南著 人口一億

四六判五二六頁  
定價一圓八十錢

著者は操觚界の重鎮たる人。本書は曾て公表した諸篇を主として集録したものであり、従つて讀者は其中の一部に就てはすでに舊知の感あるものもあらう。それらを整理して、國策論議篇、非常時放語篇、白雲流水篇、時事解説篇等に包含せしめ、隨筆集と銘を打つてあるが、政治、經濟、教育、社會等あらゆる方面を網羅したる大論文集である。が、併し其の行文は流暢で、肩を凝らさぬ中に自ら襟を正さしむるものがある。その書名たる「人口一億」は劈頭に掲げた文をその儘探りたるもの、即ち著者數十年の持論と稱されてゐる。その教育に對する識見の如き、其の他現代の國民の必讀を勸むべき數多の諸問題が満載されて居る。近頃の快著である、是非一讀を奨めたい。(若溪會推薦)

東西兩朝日新聞紙上に發表された、「人口一億」の他に國策論議、非常時放語、白雲流水、時事解説の數篇に分つて、硬軟甘辛六十五章の論文、時文、批評、偶感、漫語を盛合せ、老若男女、士農工商の誰にても何か一つは讀ませてやらうといふ話のヴァラエテイである。

著者は名にしおふ座談の雄である。古今東西の卑近な例話を引用して、輕い皮肉と諧謔まじりに政治、外交、財政、經濟等を平易に説く、だから聞く者を飽かしめない、本書も亦著者一流の輕妙酒脱な筆に豊富な滋味と深遠な示唆を乗せてゐる。決してお世辭でない。嘘と思召さば一冊買つて讀んで見らるゝがよい。(狩野正夫氏評)



法學博士  
下村海南著 動く日本

四六判五一四頁  
定價一圓八十錢

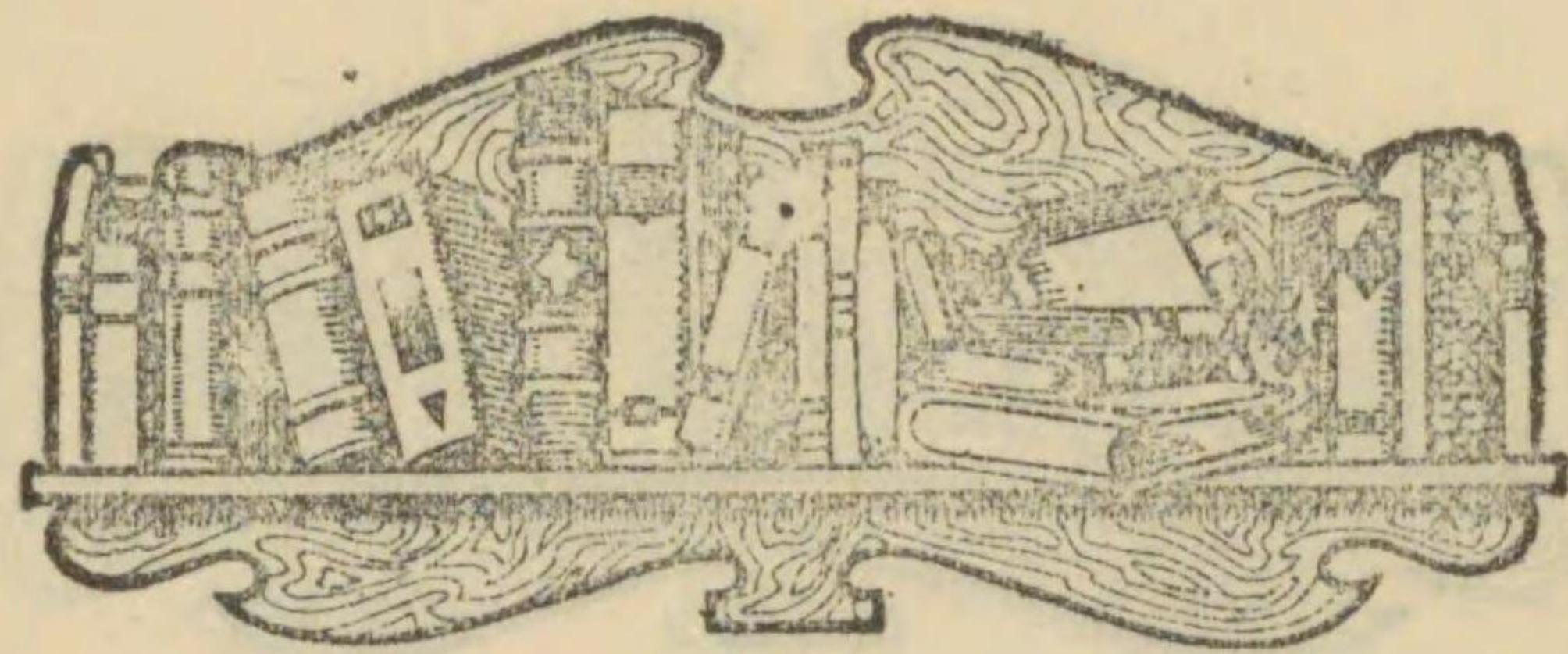
本書は下村博士が最近の勞作たる「人口一億」以後、「東亞の理想」以前に發表せられた時局隨筆論議集である。即ち十一年秋から今年の春へかけて世界列國の動きと共にますますそのテンポを早めた非常時日本を裁斷しあらゆる角度から鋭く論評した名著である。ただ單に時事を論じ問題を解説するばかりでなく新日本の動きを大所高所から擬視して國家百年の大計を遠觀し、更に將來する進路を指標し、眞に腰の据つた腹に底力のある大地を踏みしめた動き方を著者は期待してゐる。非常時下に脈膊つ旺んなる巨人の鼓動は、全篇を生動せしめ老若を問はず讀むもの悉くをより高い知的水準に引上げずには置かない。

法學博士  
下村海南著 東亞の理想

四六判四五〇頁  
定價一圓八十錢

列強瞳目の中に致然として立上る雄邦日本その針路を照らす無數の遠眼、これ正に舉國の指標、肩の凝るほどの理論の書でない。豐穰な常識と高純な詩想とをもつて沁々と語られた時局隨筆である。大は支那事變の見透しから、小は市井の機微に到るまで、説き去り説き來る萬金の饒舌、しかも民族的香りたかき好箇の國民讀本である。味讀せよこのエッセイの王座、把握せよ東亞の大理想。まことにこれ混沌たる現代の燈臺。





前命全權公使 堀口九萬一著 **世界と世界人**

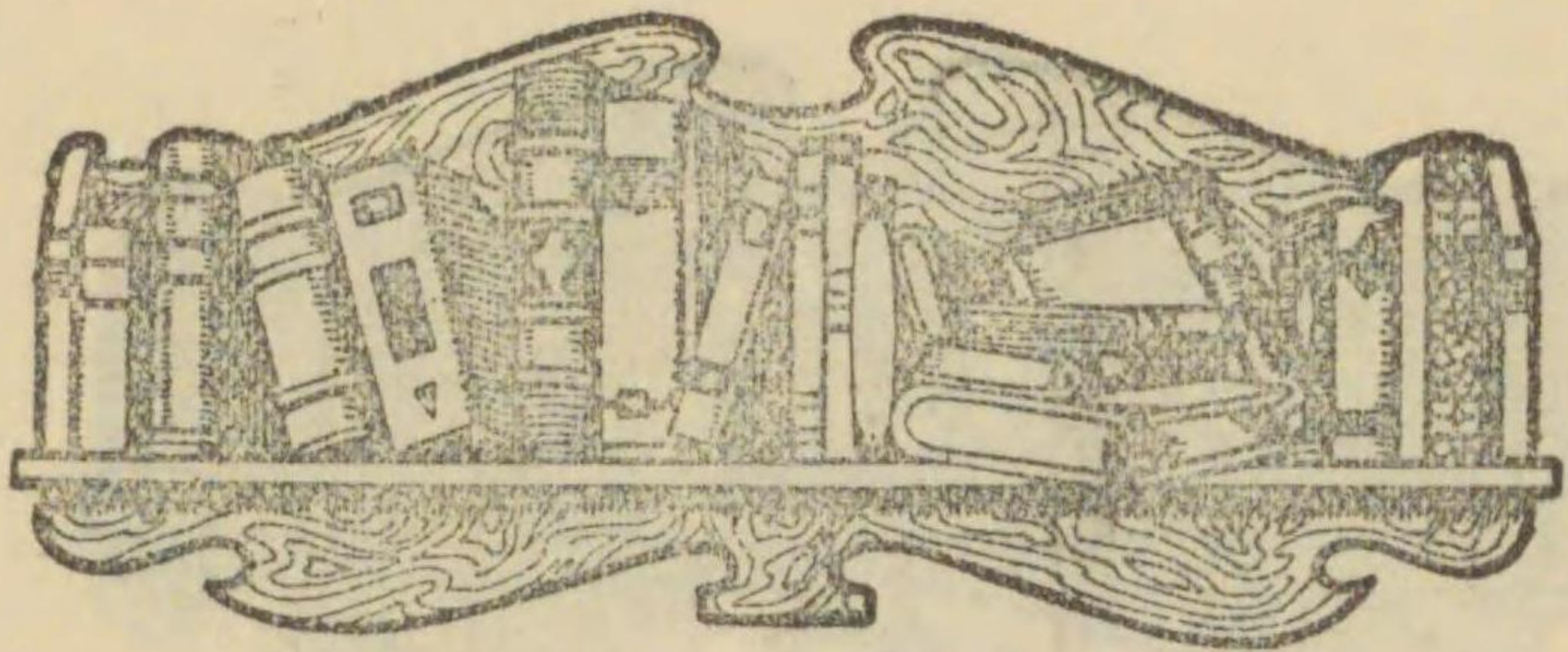
四六判三七四頁 定價一圓五十錢

國際文化宣傳使節として中南米諸國を訪れた堀口氏の新鮮な印象記、見聞記を始めとして最近の筆になるもの四十八章。興味と詩趣とに溢れる好隨筆。堀口九萬一氏の文名は老外交官としての令名にもまさるものであつてその暢達醇雅な筆は今さら云爲するまでもない。今次の中南米訪問は既に氏にとっては數回目のことであり、新しい印象と古くからの知識と相俟つて、ここに明瞭に中南米が語られる。その他の各篇も、永い外交官生活から得た珍らしい豊富な話題と深い文學的造詣から生れたいづれも滋味のある得がたい隨筆ばかりである。

文學博士 長壽吉著 **東西南北人**

四六判三一〇頁 定價一圓五十錢

歴史家たり詩人たる著者が、海外遊學の間に於ける見聞追懐、讀書詩作の時に於ける感興を託した隨筆集。歴史と文學とは、ここに醇雅な溶和の相を示す。著者秘蔵の古銅印の記文に因んだ題名「東西南北人」の音感意味は、ここに收められた文章の各篇に溢れてゐるところのものである。歴史研究の海外遊學の間に於ける該博な見聞記追懐談、廣汎に互る讀書の感興と知識、その他多年に互る旅行記、世相偶感等を収載する。各篇に漲る詩趣は、「畢竟は史學も文學に由りて成る」と云はれる著者の筆端より、自ら湧き出づるものである。



文學博士 得能 文著 **沈黙の疑問**

四六判二九五頁 定價一圓五十錢

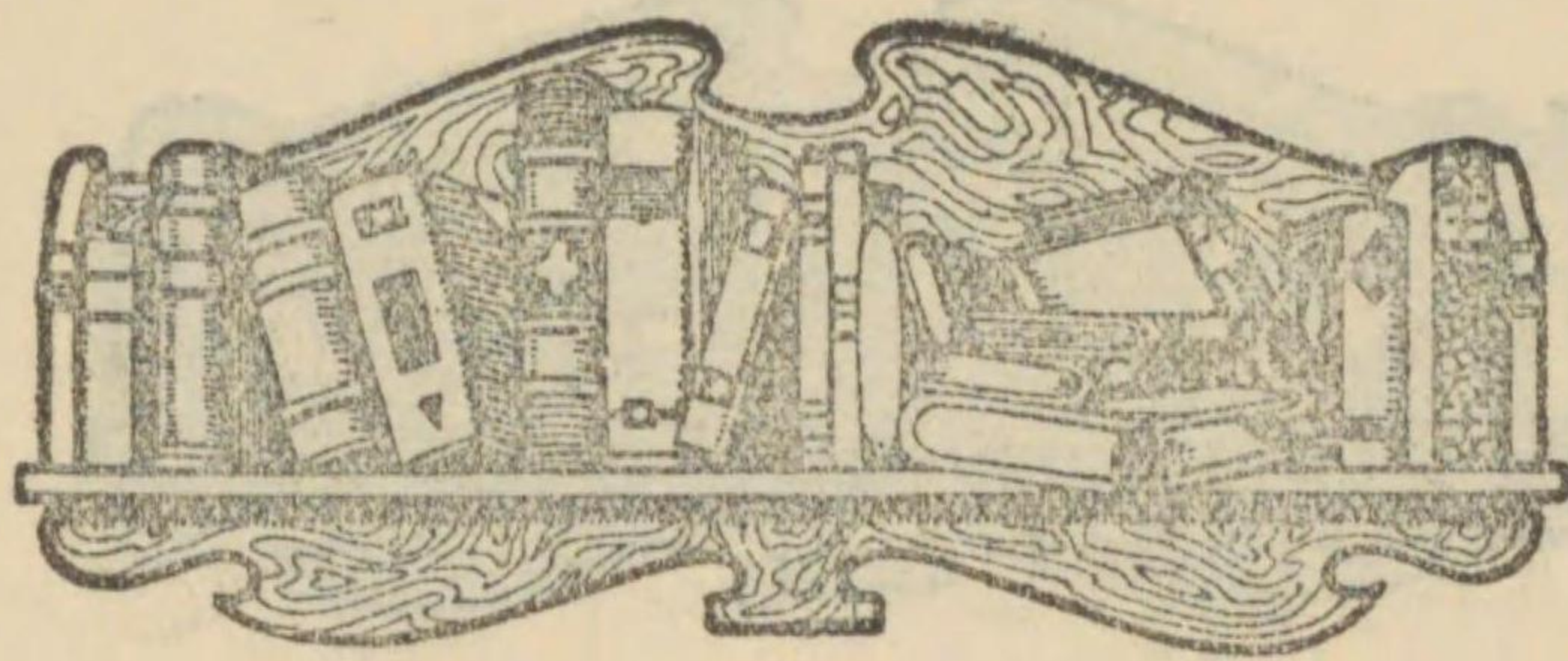
得能博士の隨筆は、深い味ひと豊かな觀照のなかに明るい情感と天稟の思想型の滲み出る點で眞に名筆と評して新鮮だ！凡ゆる思想と感情は生々と沈靜の光りを放つ？この廣大な學苑と、想堂は永遠に星辰ときそふ人間の叡智である。哲學者は由來文藻に乏しい。蓋し想華の深きを尙ぶが、必ずしも文藻の絢爛たるを要しないからである。しかし、哲人は眞に人生を生きるものたる以上、必ずその風格は高く、その想は深く、文藻はまた幽かなるべきである。得能先生はこの稀に見る哲人の境に入るべき人であるが、夙にウナムノを讀みブルウノを繙き、利休に芭蕉に、アミールに味到するに及んで、先生の風懐から離れ得ぬものは自然であつた。讀者は、この離々たる風趣の中に、明治開化期の都市や田圃や大學や交友をこよなき温かさのうちに汲み時るであらう。長谷川巳之吉

文學博士 得能 文著 **淺人零語**

四六判五五二頁 定價一圓

名匠の一筆畫、デッサン等に接すが如く、思はず快心の微笑を禁じ得ない、博士の名隨筆集！「博士は巻頭の一文に基いてこの隨筆集を『淺人零語』と名づけて居られる。この言葉の出所を私は知らないが、多語なるは眞に深き所以ではないといふことにあるらしい。若しさうとすれば、この名稱はこの隨筆集の實の實にあらずともいへよう。多語であるといふのではないが、この隨筆集に語られた言語を通じて、よく語らざる博士の心の沈黙の淵の底が示されてゐるからである。しかし其處に博士の奥ゆかしさがうかがはれる。」見玉蓬童氏評





### 高神覺昇著 眞理を歩む

四六判四〇四頁  
定價一圓五十錢

(茗溪會推薦書)

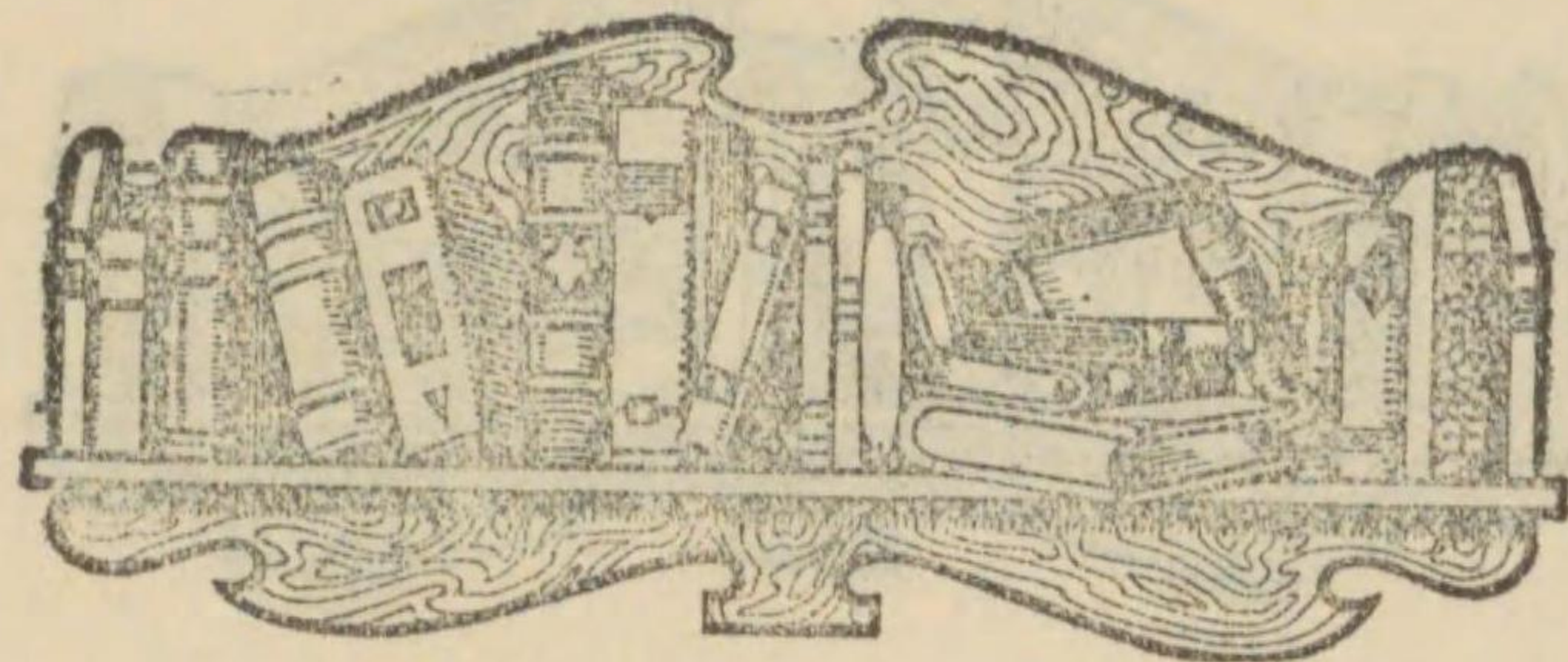
著者の全人的學殖と情緒とが渾然と打つて一丸となつた、宗教隨筆の最高峰  
内容は第一篇思想、第二篇隨筆に分れ、前者は二十七篇の小論を、後者は四  
十三篇の隨筆を納めて居る。思想は總べて佛教徒としての立場より人間を論じ  
社會を論じたもの、隨筆篇には紀行あり、感想ありてとりどりに面白い。佛教  
復興を叫ばれる今日、一讀するも意味なしとしない。

### 文學博士 成瀬無極著 文藝百話

四六判四三〇頁  
定價一圓五十錢

藝文鑑賞の極地を往く説話の類を蒐めた「文藝座談」に「母性思潮十話」を  
収めた好著!!

『文藝百話』は急いで書いた本と違つて、その折の氣持でゆつくり書いた、  
といふやうな感じがして、のんびりした、然し沁々とした心持で讀むことが出  
來た。いかにも平易で、物の性質上特に深刻な、突つこんだ觀察はないし、全  
體が餘りに文藝的な——文藝百話だから、それが當然かも知れないが——とい  
ふやうな感じも受けるが、然し軽い茶話のやうな中に著者のエスプリと詩人肌  
とが一味の光彩を點じ、清癯鶴の如き無極の低い、然し齒切れの良い聲で、得  
意の座談を聴いてるやうな氣がする。老來圓熟を見せて來た著者の文章の中に、  
人間無極の持味が泌み出てゐて、やはりこんなものになると、著者の獨壇場だ、  
といふやうな感じがするのである。(吹田順助氏評)



### 田部重治著 心の行方を追うて

四六判三七六頁  
定價一圓二十錢

眞理の希求に飽く迄も謙虚、その探究に飽く迄も雄々しい、一人の近代的求  
道者の手記!!

(本多顯彰氏評)『心の行方を追うて』を繙いたとき、私は長い荒んださすら  
ひの旅のあとで故都の緑の野に歸つて、來たやうなつかしさを覺えた。この  
隨筆は人生から始まつて、常にその靜かな深い人生觀が各篇すべてに裏附けさ  
れてゐる各篇すべてが人生の緑の野に生じた生きた樹である。

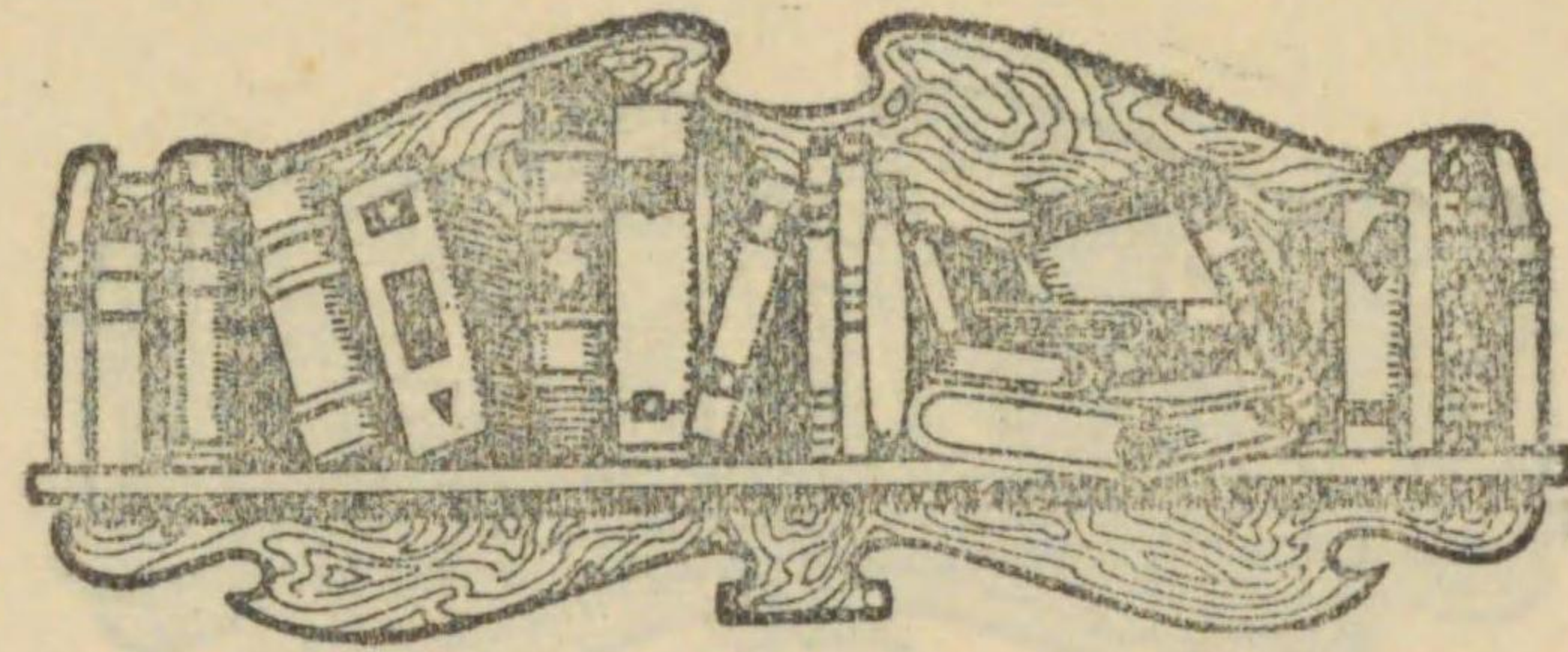
生活においても、研究においても、常に基礎的なものから出發してゆくだ  
けの心のゆとりを示されてゐる著者の態度は、われわれ若輩を深く反省させる。  
だから、この書は、われわれ若輩が批評すべき書ではなくて、それによつて  
反省すべきであると私には思はれる。

### 田部重治著 涯てしなき道程

四六判三四六頁  
定價一圓五十錢

自然に投影した人間性!! 人間社會の中に見出される自然性!! この兩者の  
渾然融和したのが、田部教授の文學である。自然と人生との美しき諧調を聴け  
山を愛し、自然の懷を往家とされる田部教授は、人間生活の中にも、新鮮な  
自然性を見出される。氏の登山記行の中に、温い人間の心臓を感じられる一方、  
その人事隨想の中に、如何にも自然の子である人間の姿が示されるのである。  
時代の歴力文明の煙幕に遮断されがちな、かうした人間の新鮮さを見出すこと  
は現代に於いて特に大きな價値が認められなければならない。今や、ヒューマ  
ニズムの聲漸く盛んであるが、氏こそは、その獨自の文學に於いて獨自の立場  
よりヒューマニズムを實踐されるものである。





## 戸川秋骨著 自然・きまぐれ・紀行

四六頁五八五頁  
定價一圓二十錢

著者の感想、紀行、隨筆集!!

縦に日本の隨筆文學の傳統を繼ぎ、横にイギリスのエッセイ文學に造詣深き、新居格氏評「わたしは戸川さんの「自然・きまぐれ・紀行」を非常な喜びを堪へてよんだ。今、それらの一篇一篇に就いての讀後感を詳細に書くことは出来ないが、すつきりした氣持になることは事實だ。感想に、回顧に、紀行に、何れも戸川さんらしい色と匂とが貫流して居て面白い。最後の部分の紀行でも尋常一様の紀行と思つてはならない。「滿蒙紀行」の如きは漱石の「滿韓」どころ」と對立さるべきものである。」

### 戸川秋骨著 自

### 畫

### 像

四六頁三七六頁  
定價一圓五十錢

隨筆の生命は、ペンがどこまで延びても、筆者のユニツクなエスプリが稀薄にならないことだ。のみならず、延びれば延びる程、自由闊達となり、しかも専門家ですら氣のつかない領域でどしどし收獲する。

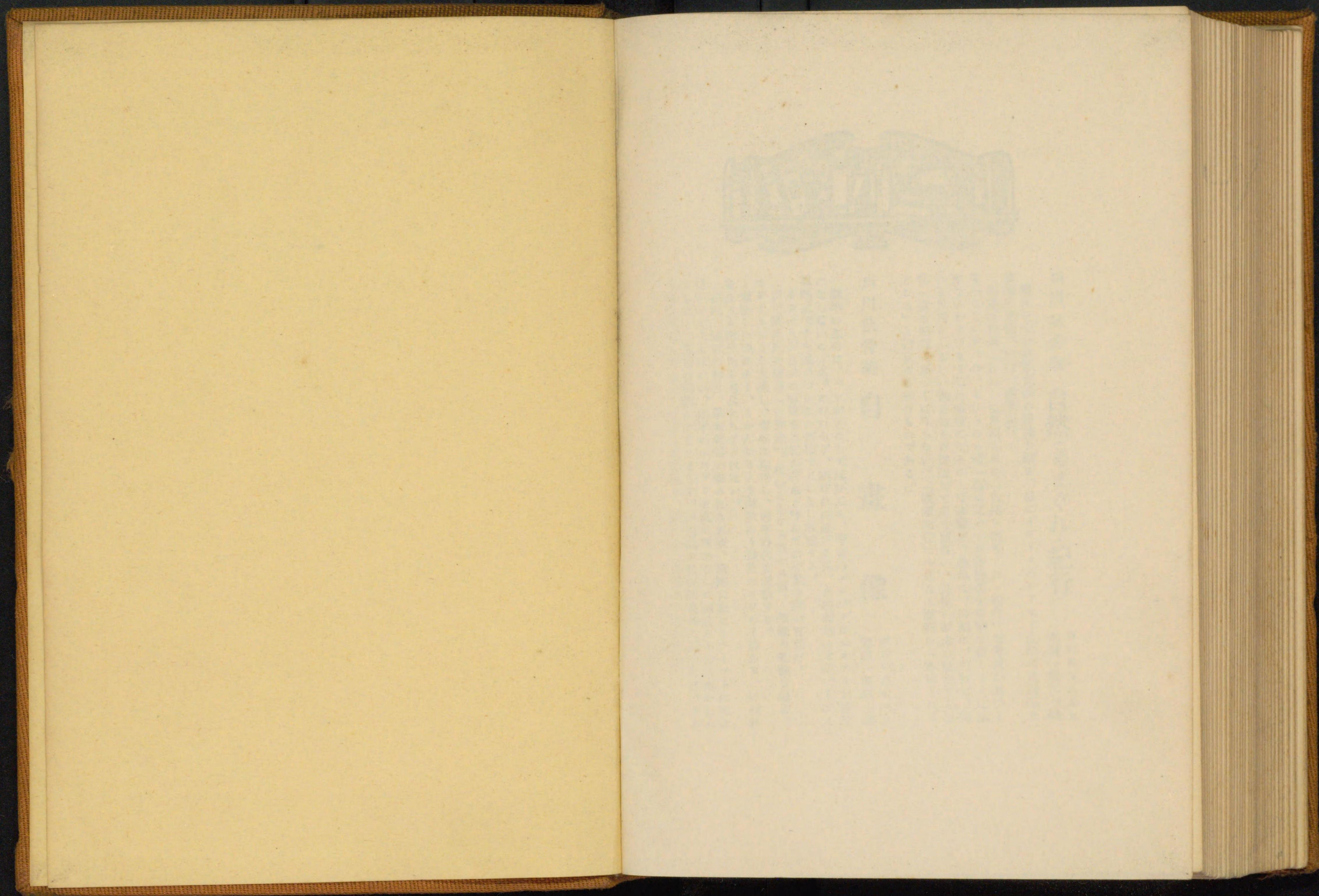
モラエスが日本の隨筆を思想の花束と呼んだのは意味深い言葉だ。

戸川秋骨氏の新著「自畫像」。收むるところ五十八篇、傳統の音韻を極め、モダーニズムを賞美し、老年に期待し、青年時代を愛惜する。

老熟した諷刺あり、さかんなる人生謳歌あり得意のエッセイ論あり、いづれをとるも渾然たる名品たらざるはない。

由來、隨筆の妙は、筆者獨得の切々たる氣概、飛躍自在なるウイットにあるはいふまでもないが、隨筆のエスプリを更に重からしめ讀者を十分首肯せしめるものは、筆者の學識にとどめをさす。戸川氏の文學的教養に到つては、その文藻の博雅なるとともに正に當代隨一、行くところ可ならざるはない。

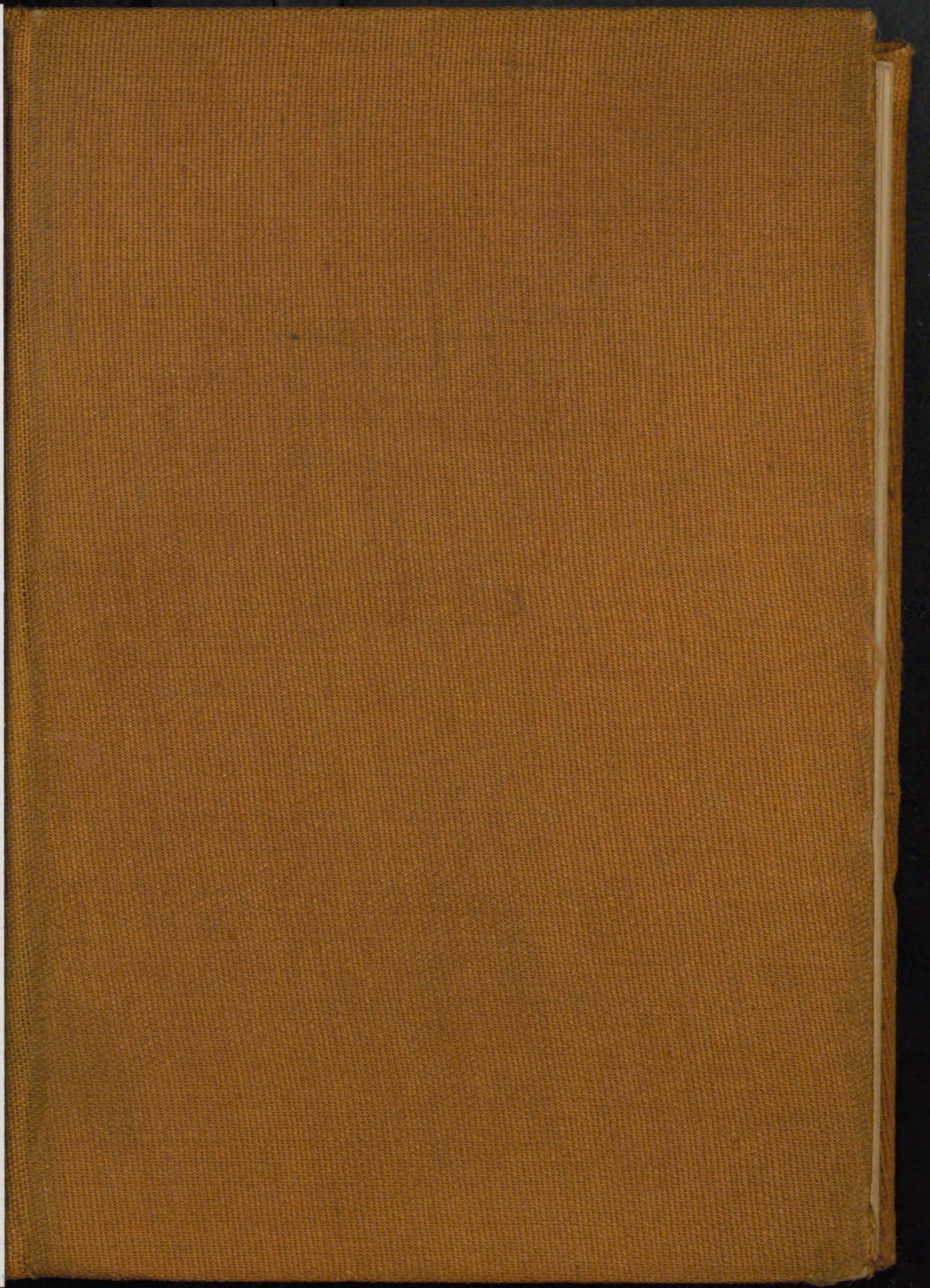
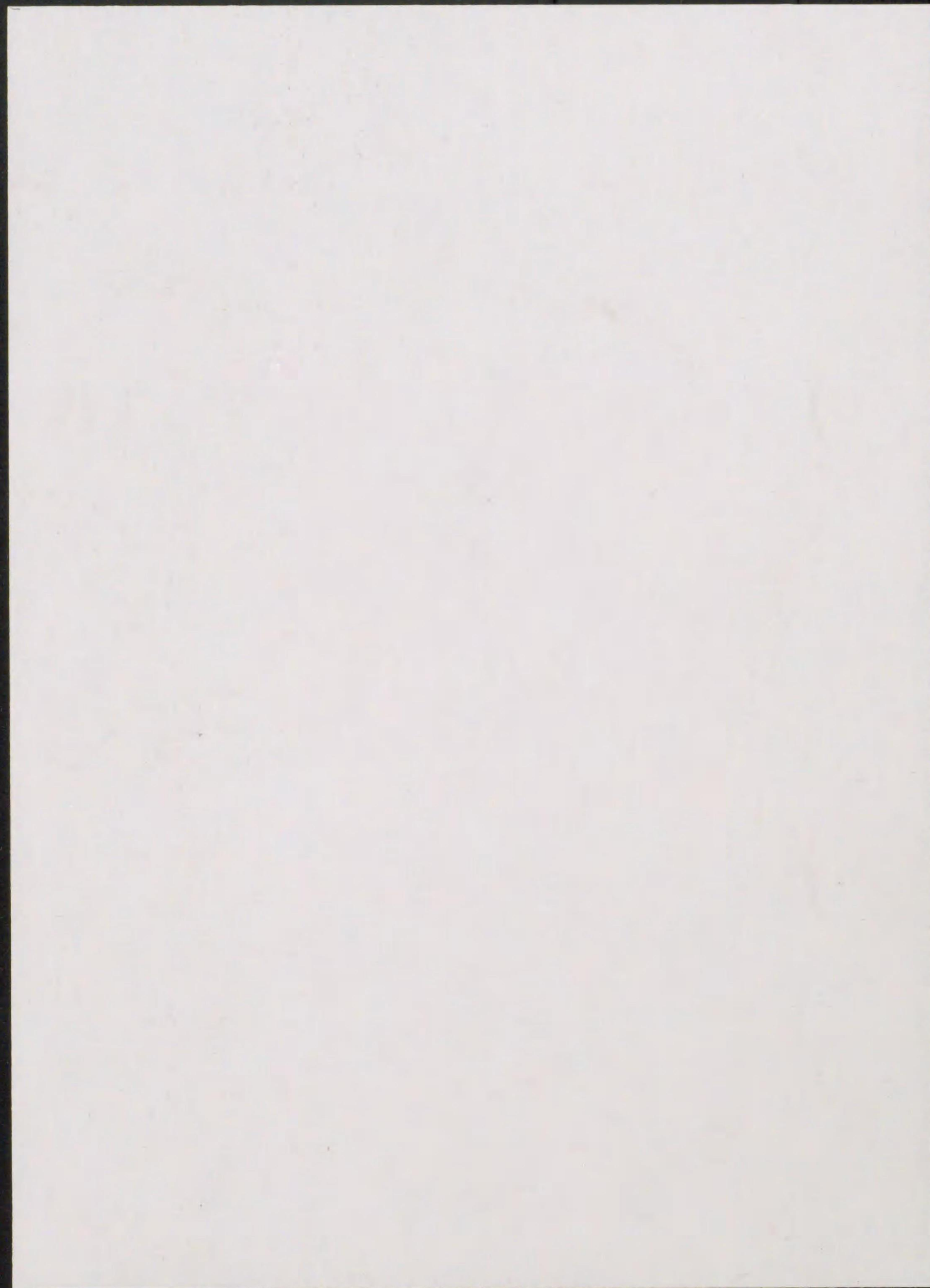












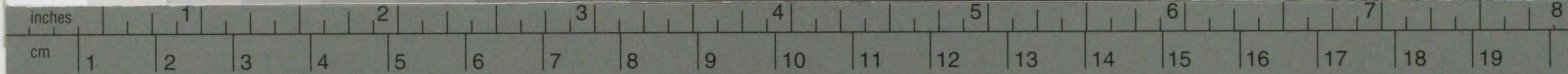


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

